

凡例	凡例	凡例	凡例	凡例
符号	名称	参考数量	単位	仕様・備考
[Symbol]	アスファルト舗装	外 3642.5	m	
[Symbol]	カラーアスファルト舗装	外 674.2	m	
[Symbol]	カラーアスファルト舗装	外 164.3	m	既存コンクリート土間上
[Symbol]	コンクリート土間	接 5.0	m	
[Symbol]	緑地	外 598.7	m	ノシバ 半土付き、100%湧り 客土150t、目地砂共
[Symbol]	改良土	外 440.4	m	改良土 t=150
[Symbol]	グラウンド舗装	外 1483.0	m	仮設校舎撤去部他、第二グラウンド復旧部分
[Symbol]	B01 歩道境界ブロック B型	外 234.3	m	
[Symbol]	B02 歩道境界ブロック 東入	外 42.9	m	
[Symbol]	B03 地先境界ブロック C型	外 188.4	m	
[Symbol]	B04 視覚障壁誘導用ブロック	外 49	枚	警告 誘導
[Symbol]	E01 固定式ポラード	外 20	ヶ所	
[Symbol]	E01-a 固定式ポラード(チェーン)	外 2	ヶ所	チェーン仕様
[Symbol]	E02 脱着式ポラード	外 3	ヶ所	
[Symbol]	E03 固定式コーナバリカー	外 3	ヶ所	
[Symbol]	E04 駐車場区画線	外 図示	ヶ所	幅100
[Symbol]	E06 身障者駐車場マーク	外 2	ヶ所	
[Symbol]	E07 路面標示	外 図示	ヶ所	
[Symbol]	E08 保護クッション巻き	外 9	ヶ所	
[Symbol]	F01 水飲み・足洗	長 1	ヶ所	※H650
[Symbol]	F02 水飲み・足洗	子 1	ヶ所	※H500
[Symbol]	F03 地洗い	長 2	ヶ所	
[Symbol]	F04	子 1		
[Symbol]	F05 たい肥置場	外 1	ヶ所	廃番
[Symbol]	F09 バックネット	接 1	ヶ所	移設品
[Symbol]	G01 トラックライン	外 1	ヶ所	ポリエチレンロープ8φ スチール杭共 120mトラック・50m直線 6レーン
[Symbol]	G02 トラックポイント	外 1	ヶ所	スチール杭 マーカーリボン共 200mトラック・100m直線 6レーン
[Symbol]	G03 走り幅跳びピット(本設)	外 1	ヶ所	
[Symbol]	G03' 走り幅跳びピット(仮設)	接 1		撤去後グラウンド舗装同仕様で埋め戻し
[Symbol]	G04	長		廃番
[Symbol]	G05 ネットフェンス	外 40	m	H=3.0m
[Symbol]	G06 玄関階段	接 1	ヶ所	
[Symbol]	G07 プール階段	外 1	ヶ所	
[Symbol]	G08 特別教室機階段	外 1	ヶ所	既存改修
[Symbol]	G09 目隠しフェンス	外 1	ヶ所	門扉(両開き)共
[Symbol]	K01~08 機械基礎	長 8	ヶ所	サイズは外構詳細図による
[Symbol]	C01 防火水槽	外 1	基	埋設型、耐震性、40m
[Symbol]	H01 外部物置-1	外 1	基	スチール製外部物置、既存のまま
[Symbol]	H02 外部物置-2	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
[Symbol]	H03 外部物置-3(防災倉庫)	外 1	基	スチール製外部物置、既存のまま
[Symbol]	H04 外部物置-4	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
[Symbol]	H05 外部物置-5	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
[Symbol]	H06 外部物置-6	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
[Symbol]	H07 外部物置-7	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
[Symbol]	H08 シェルター	接 1	基	
[Symbol]	S01 校名サイン壁	外 1	ヶ所	サインの仕様はサイン図による
[Symbol]	S02 川岸村碑	長 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
[Symbol]	S03 校舎改築記念(小学校名石碑)	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
[Symbol]	S04 創立90周年記念(鏡面鏡碑)	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
[Symbol]	S05 卒業記念 校歌石碑	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
[Symbol]	W01 クワの木	外 5	株	φ0.1m W1.0m H1.7m 改良土H150 既存移植
[Symbol]	W02			廃番
[Symbol]	W03 ソメイヨシノ (T202)	外 1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植
[Symbol]	W04 ソメイヨシノ (T204)	外 1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植

代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期

(幼保連携型認定こども園建設)

建築主体工事

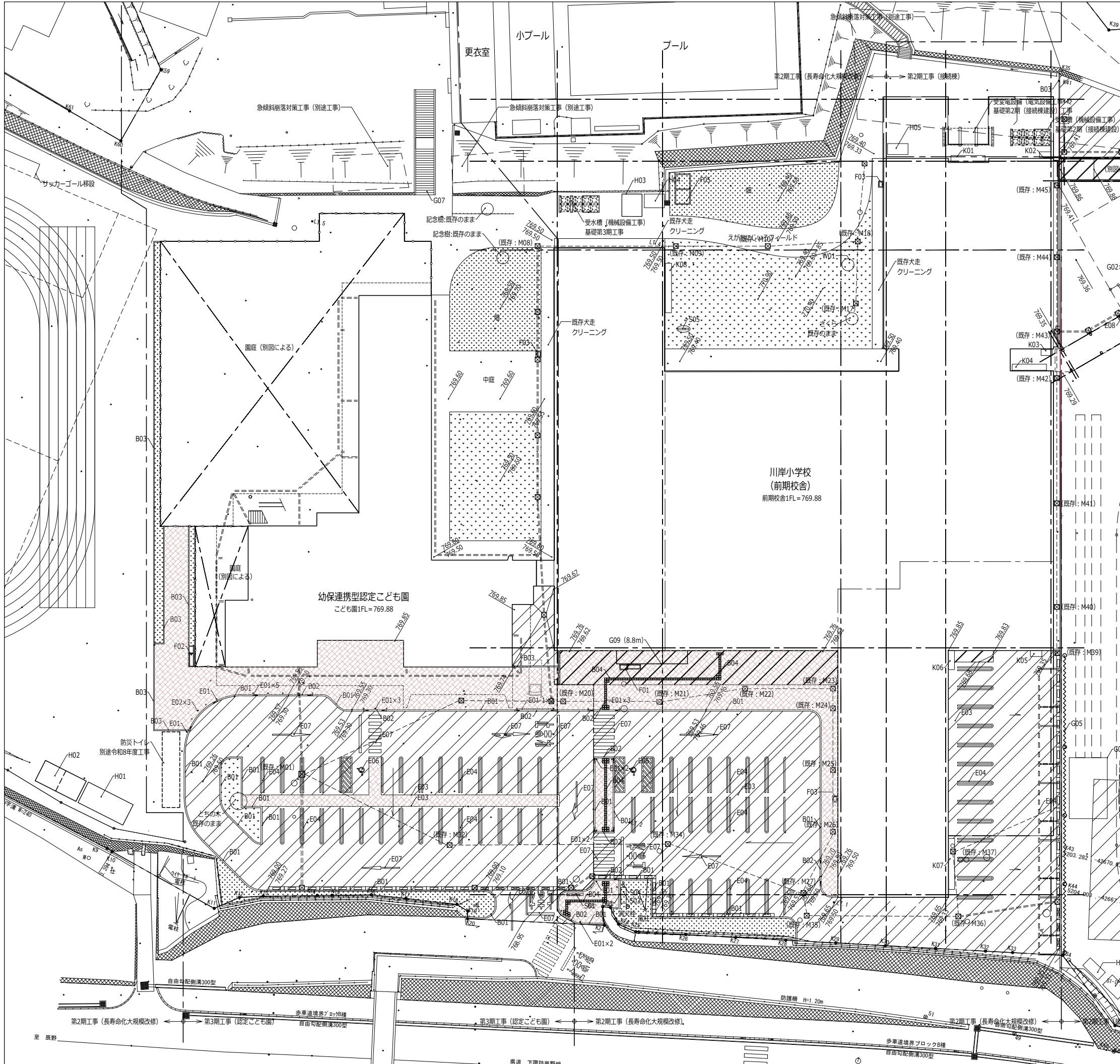
発行日 2026.03.31

図面名称 外構平面図 (1)

縮尺 A1:1/250,A3:1/500

A-128

最終図
2026.03.31



凡例	符号	名称	参考数量	単位	仕様・備考	備考
		アスファルト舗装	外 3642.5	m		
		カラーアスファルト舗装	外 674.2	m		
		カラーアスファルト舗装	外 164.3	m	既存コンクリート土間上	
		コンクリート土間	接 5.0	m		
		緑地	外 598.7	m	ノシバ 半土付き、100%湧り 客土150t、目地砂共	
		改良土	外 440.4	m	良質土 t=150	
		グラウンド舗装	外 1483.0	m	仮設倉庫撤去部他、第2期グラウンド復旧部分	
	B01	歩道境界ブロック B型	外 234.3	m		
	B02	歩道境界ブロック 奥入	外 42.9	m		
	B03	地先境界ブロック C型	外 188.4	m		
	B04	視覚障害者誘導用ブロック	外 49	枚	警告誘導	
	E01	固定式ボラード	外 20	ヶ所		
	E01-a	固定式ボラード(チェーン)	外 2	ヶ所	チェーン仕様	
	E02	脱着式ボラード	外 3	ヶ所		
	E03	固定式コーナーバリカー	外 3	ヶ所		
	E04	駐車場区画線	外 図示	ヶ所	幅100	
	E06	身障者駐車場マーク	外 2	ヶ所		
	E07	路面標示	外 図示	ヶ所		
	E08	保護クッション巻き	外 9	ヶ所		
	F01	水飲み・足洗	長 1	ヶ所	※H650	
	F02	水飲み・足洗	子 1	ヶ所	※H500	
	F03	地洗い	長 2	ヶ所		
	F04		子 1			
	F05	たい肥置場	外 1	ヶ所		廃番
	F09	バックネット	接 1	ヶ所	移設品	
	G01	トラックライン	外 1	ヶ所	ポリエチレンロープ8φ スチール杭共 120mトラック・50m直線 6レーン	
	G02	トラックポイント	外 1	ヶ所	スチール杭 マーカーリボン共 200mトラック・100m直線 6レーン	
	G03	走り幅踏みピット(本設)	外 1	ヶ所		
	G03'	走り幅踏みピット(仮設)	接 1		撤去後グラウンド舗装同仕様で埋め戻し	
	G04		長 1			廃番
	G05	ネットフェンス	外 40	m	H=3.0m	
	G06	玄関階段	接 1	ヶ所		
	G07	プール階段	外 1	ヶ所		
	G08	特別教室棟階段	外 1	ヶ所	既存改修	
	G09	目隠しフェンス	外 1	ヶ所	門扉(両開き)共	
	K01~08	機械基礎	長 8	ヶ所	サイズは外構詳細図による	
	C01	防火水槽	外 1	基	埋設型、耐震性、40m	
	H01	外部物置-1	外 1	基	スチール製外部物置、既存のまま	
	H02	外部物置-2	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設	
	H03	外部物置-3(防災倉庫)	外 1	基	スチール製外部物置、既存のまま	
	H04	外部物置-4	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設	
	H05	外部物置-5	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設	
	H06	外部物置-6	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設	
	H07	外部物置-7	外 1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設	
	H08	シALTER	接 1	基		
	S01	校名サイン壁	外 1	ヶ所	サインの仕様はサイン図による	
	S02	川岸村碑	長 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設	
	S03	校舎改築記念(小学校名石碑)	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設	
	S04	創立90周年記念(鏡面鏡碑)	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設	
	S05	卒業記念 校歌石碑	外 1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設	
	W01	クワの木	外 5	株	φ0.1m W1.0m H1.7m 改良土H150 既存移植	
	W02					廃番
	W03	ソメイヨシノ (T202)	外 1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植	
	W04	ソメイヨシノ (T204)	外 1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植	

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第22107号 湯本桂司

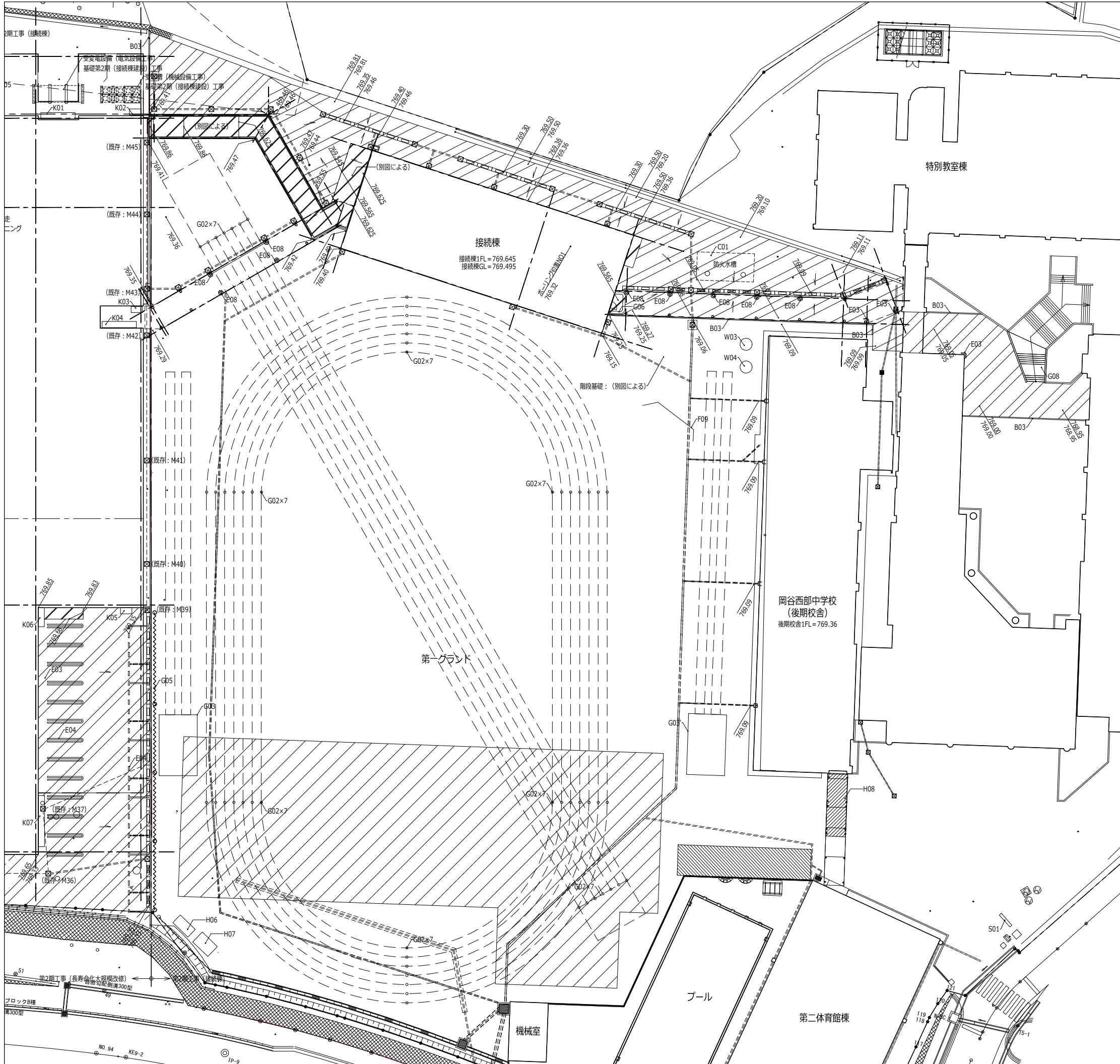
設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司
担当 浜大氣

Job No. 24078
工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称 外構平面図 (2)

縮尺 A1:1/250, A3:1/500
A-129



凡例	符号	名称	参考数量	単位	仕様・備考	備考	
		アスファルト舗装	外	3642.5	m		
		カラーアスファルト舗装	外	674.2	m		
		カラーアスファルト舗装	外	164.3	m	既存コンクリート土間上	
		コンクリート土間	接	5.0	m		
		緑地	外	598.7	m	ノシバ 半土付き、100%湧り 客土150L、目地砂共	
		改良土	外	440.4	m	良質土 t=150	
		グラウンド舗装	外	1483.0	m	仮設校舎撤去部他、第二グラウンド復旧部分	
		B01	歩道境界ブロック B型	外	234.3	m	
		B02	歩道境界ブロック 東入	外	42.9	m	
		B03	地先境界ブロック C型	外	188.4	m	
		B04	視覚障害者誘導用ブロック	外	49	枚	警告誘導
					116		
		E01	固定式ボラード	外	20	ヶ所	
		E01-a	固定式ボラード(チェーン)	外	2	ヶ所	チェーン仕様
		E02	脱着式ボラード	外	3	ヶ所	
		E03	固定式コーナバリカー	外	3	ヶ所	
		E04	駐車場区画線	外	図示	ヶ所	幅100
		E06	身障者駐車場マーク	外	2	ヶ所	
		E07	路面標示	外	図示	ヶ所	
		E08	保護クッション巻き	外	9	ヶ所	
		F01	水飲み・足洗	長	1	ヶ所	※H650
		F02	水飲み・足洗	子	1	ヶ所	※H500
		F03	地流し	長	2	ヶ所	
				子	1		
		F04					廃番
		F05	たい肥置場	外	1	ヶ所	
		F09	バックネット	接	1	ヶ所	移設品
		G01	トラックライン	外	1	ヶ所	ポリエチレンロープ8φ スチール杭共 120mトラック・50m直線 6レーン
		G02	トラックポイント	外	1	ヶ所	スチール杭 マーカーリボン共 200mトラック・100m直線 6レーン
		G03	走り幅踏みピット(本設)	外	1	ヶ所	
		G03'	走り幅踏みピット(仮設)	接	1	ヶ所	撤去後グラウンド舗装同様で埋め戻し
		G04		長			廃番
		G05	ネットフェンス	外	40	m	H=3.0m
		G06	玄関階段	接	1	ヶ所	
		G07	プール階段	外	1	ヶ所	
		G08	特別教室棟階段	外	1	ヶ所	既存改修
		G09	目隠しフェンス	外	1	ヶ所	門扉(両開き)共
		K01~08	機械基礎	長	8	ヶ所	サイズは外構詳細図による
		C01	防火水槽	外	1	基	埋設型、耐震性、40m
		H01	外部物置-1	外	1	基	スチール製外部物置、既存のまま
		H02	外部物置-2	外	1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
		H03	外部物置-3 (防災倉庫)	外	1	基	スチール製外部物置、既存のまま
		H04	外部物置-4	外	1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
		H05	外部物置-5	外	1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
		H06	外部物置-6	外	1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
		H07	外部物置-7	外	1	基	スチール製外部物置、既存品移設・基礎新設
		H08	シエルト	接	1	基	
		S01	校名サイン壁	外	1	ヶ所	サインの仕様はサイン図による
		S02	川岸村碑	外	1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
		S03	校舎改築記念(小学校名石碑)	外	1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
		S04	創立90周年記念(横断線碑)	外	1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
		S05	卒業記念 校歌石碑	外	1	ヶ所	詳細は別図による 既存移設
		W01	クワの木	外	5	株	φ0.1m W1.0m H1.7m 改良土H150 既存移植
		W02					廃番
		W03	ソメイヨシノ (T202)	外	1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植
		W04	ソメイヨシノ (T204)	外	1	株	詳細は別図による 改良土H150 既存移植

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31

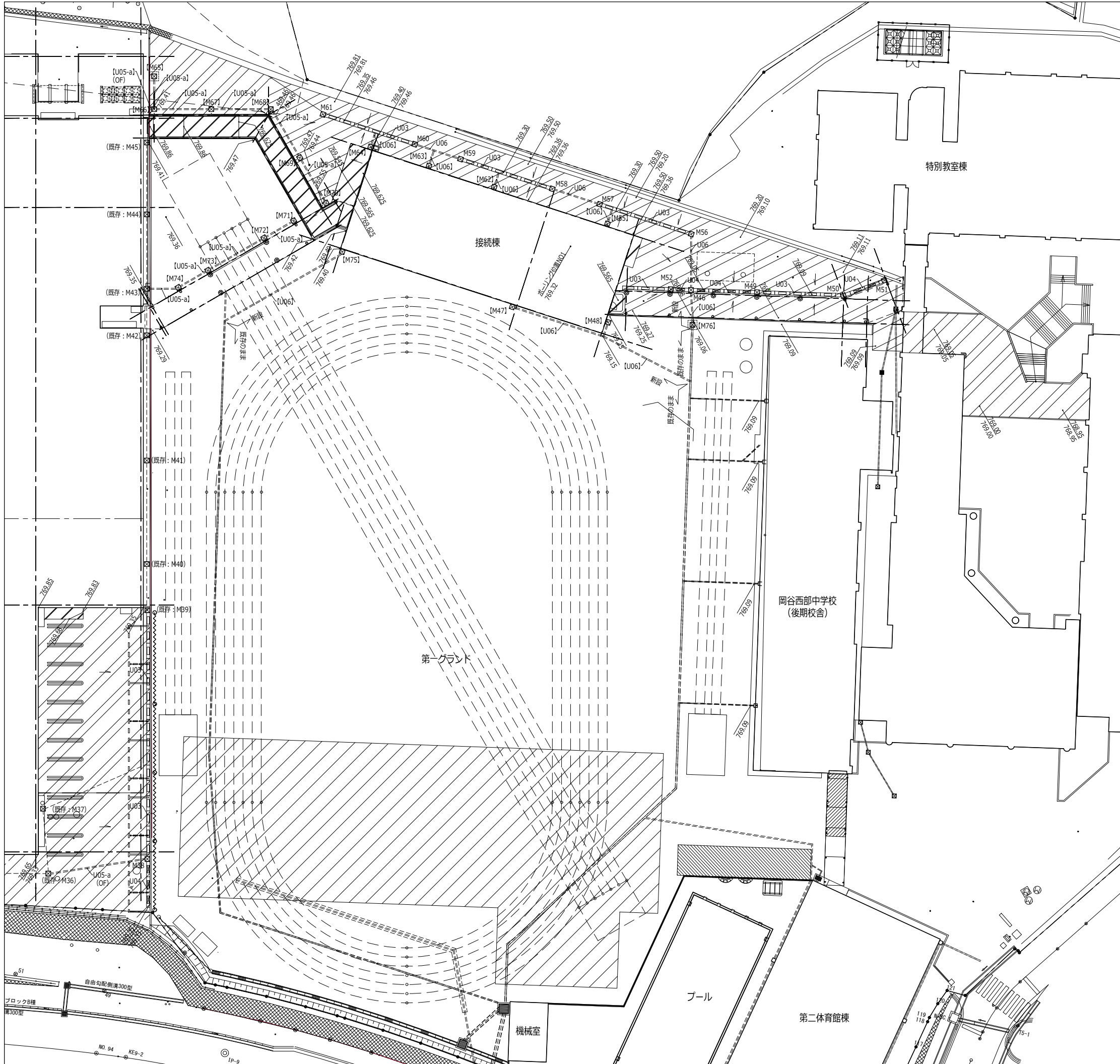
図面名称

外構平面図 (3)

縮尺 A1:1/250,A3:1/500

A-130





■雨水排水設備凡例

符号	名称	区分	後期校舎F.L.=769.36からの高さ			仕様・備考	詳細番号
			側溝天端	流入管底	流出管底		
M46	集水溝	接	-310	-500	-530	□600×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M47	集水溝	【接】	-110	-	-590	□450×H600, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M48	集水溝	【接】	-110	-	-590	□300×H600, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M49	集水溝	接	-290	-	-110	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M50	集水溝	接	-260	-	-80	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M51	集水溝	接	-250	-	-50	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M52	集水溝	接	-290	-	-590	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M53	廃番						
M54	廃番						
M55	集水溝	【接】	+40	-	-260	□600×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M56	集水溝	接	-110	-	-440	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M57	集水溝	接	-60	-	-410	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M58	集水溝	接	-60	-	-380	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M59	集水溝	接	-60	-	-350	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M60	集水溝	接	-60	-	-320	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M61	集水溝	接	+40	-	-260	□450×H600, STグレーチング: T-6	U-01
M62	集水溝	【接】	+40	-	-260	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M63	集水溝	【接】	+40	-	-260	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M64	集水溝	【接】	+40	-	-290	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M65	浸透溝	【接】	+10	-	-	□1200, STグレーチング: T-2	U-07
M66	集水溝	【接】	+50	-590	-620	□720×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M67	集水溝	【接】	+80	-500	-530	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M68	集水溝	【接】	+100	-410	-440	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M69	集水溝	【接】	+110	-320	-350	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M70	集水溝	【接】	+190	-	-260	□450×H600, STグレーチング: T-2	U-01
M71	集水溝	【接】	+60	-	-390	□450×H600, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M72	集水溝	【接】	+40	-430	-460	□450×H600, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M73	集水溝	【接】	+20	-540	-570	□450×H700, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M74	集水溝	【接】	+10	-610	-640	□450×H780, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M75	集水溝	【接】	+40	-	-260	□450×H600, STグレーチング: 5kN/m ²	U-01
M76	浸透溝	【接】	-300	-600	-350	□1200, STグレーチング: T-6	U-07

■凡例

符号	名称	参考数量	単位	仕様・備考	詳細番号	
U03	浸透型自由勾配側溝	接	57.8	m	コンクリート蓋: 皿型	U-03
U04	横断用自由勾配側溝	接	10.0	m	コンクリート蓋: 皿型 T-25	U-04
U05-a)	暗渠VP管 (一般部)	【接】	48.1	m		U-05
U06	暗渠有孔VP管	【接】	20.9	m		U-06
U06)		【接】	49.7			

※参考数量の区分については下記の通りとする
 接: 第2期 (接続棟建設) 工事
 長: 第2期 (長寿命化大規模改修) 工事
 子: 第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 工事
 外構: 第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 工事
 既存: 既存樹 高さ調整を見込む
 【符号】: 機械設備工事

代表: 株式会社エーシー設計
 一級建築士事務所登録
 (長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
 第222107号 湯本桂司

設計者
 一級建築士登録
 第 307544 号 海瀬務
 一級建築士登録
 第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

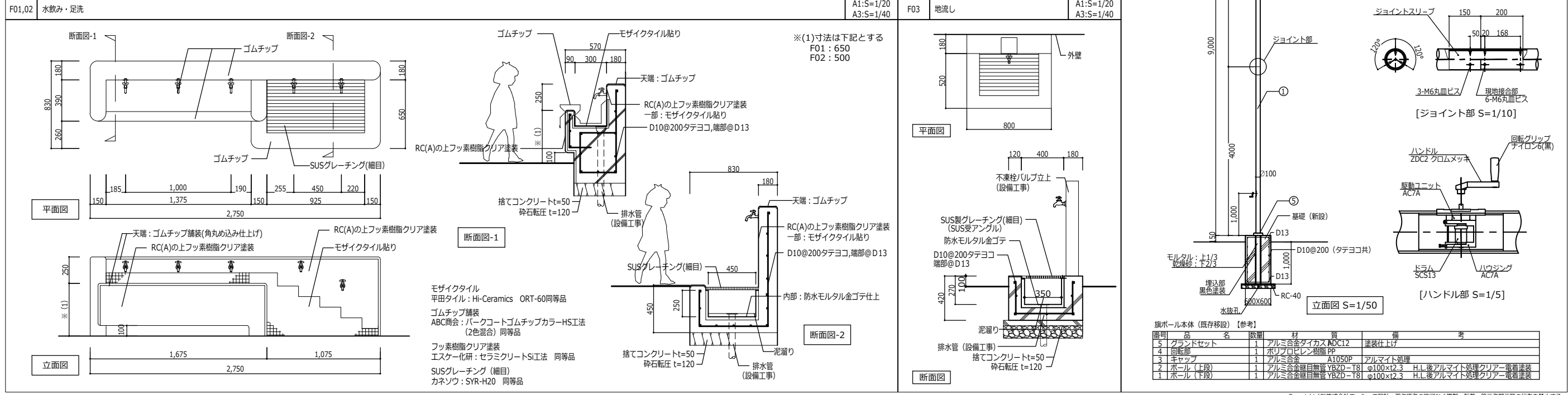
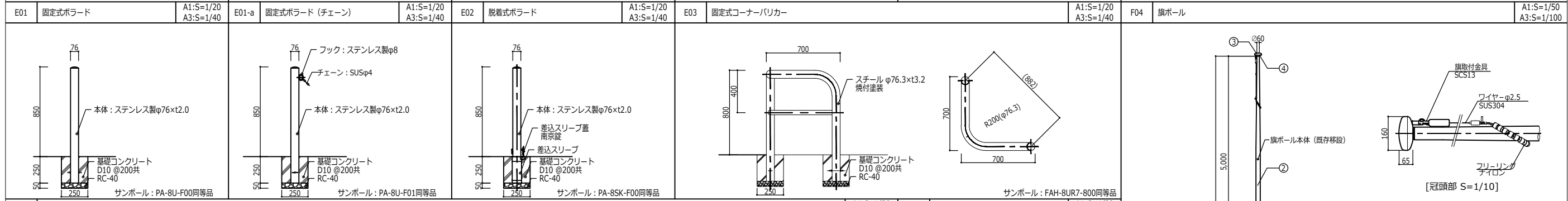
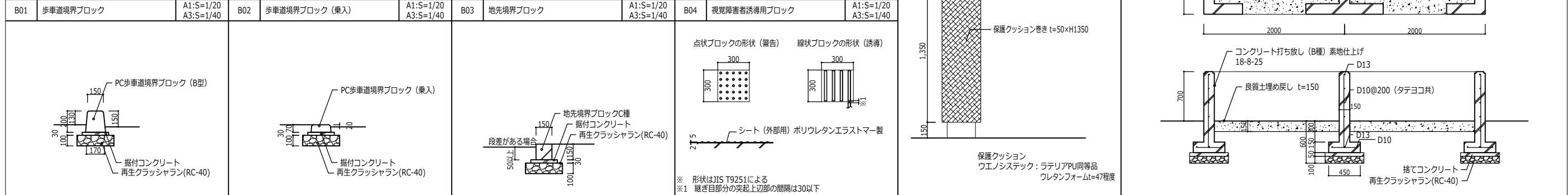
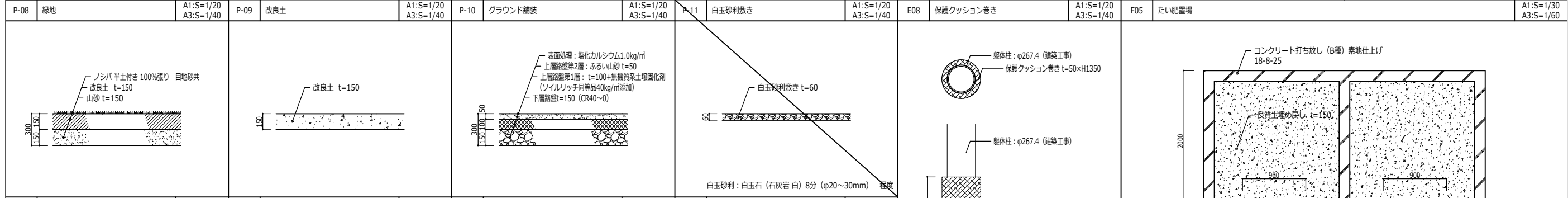
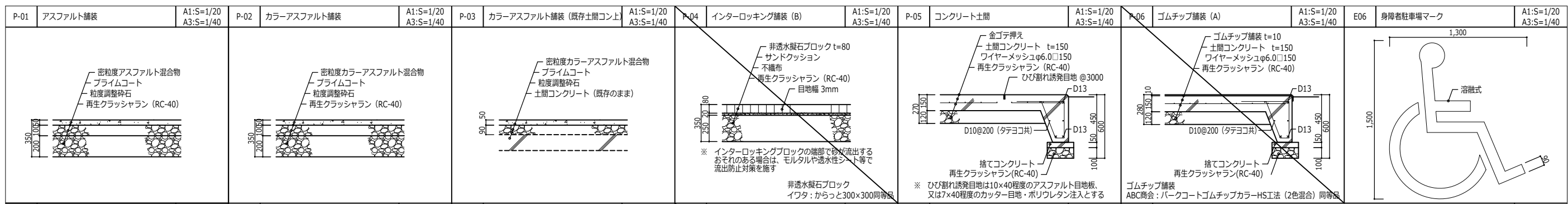
岡谷市川岸学園整備 第3期
 (幼保連携型認定こども園建設)
 建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

雨水排水平面図 (2)

縮尺 A1:1/250, A3:1/500



代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

外構詳細図 (1)

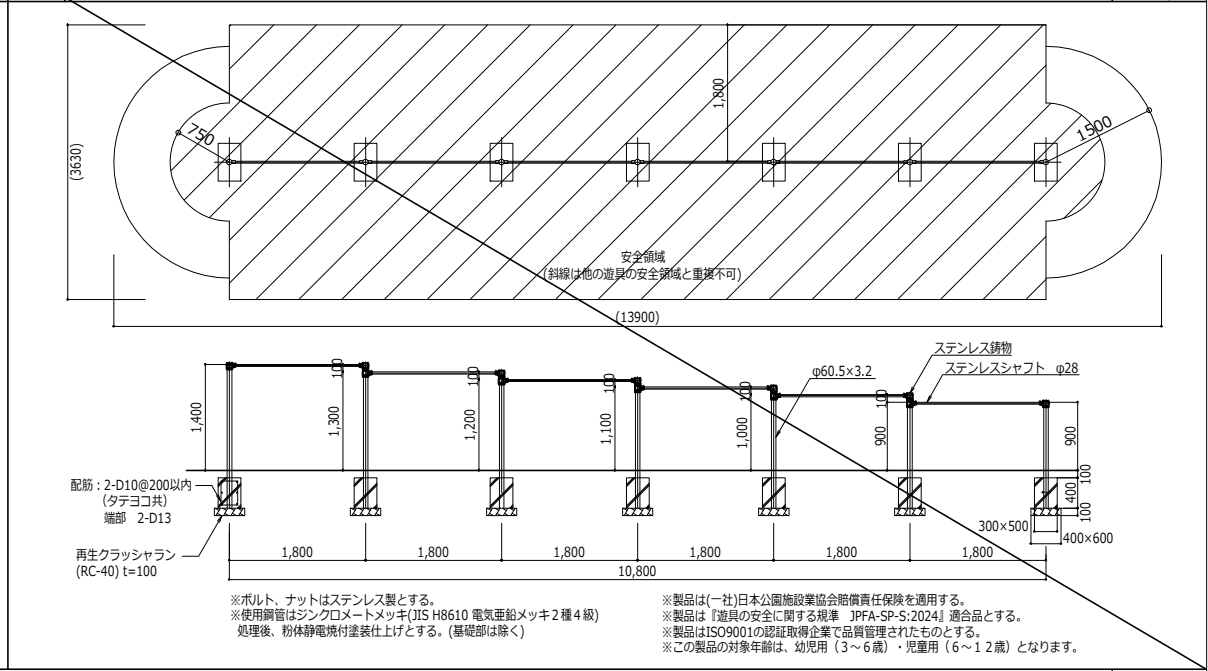
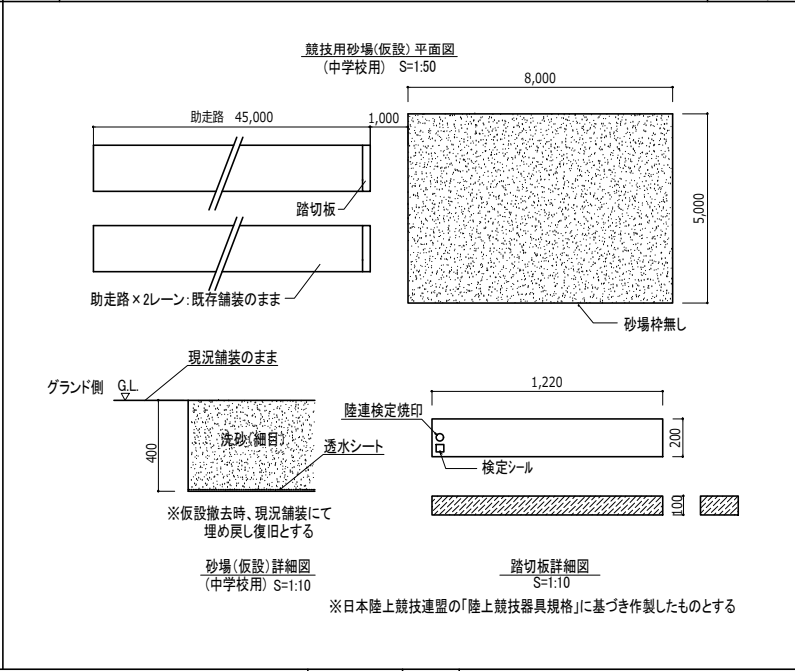
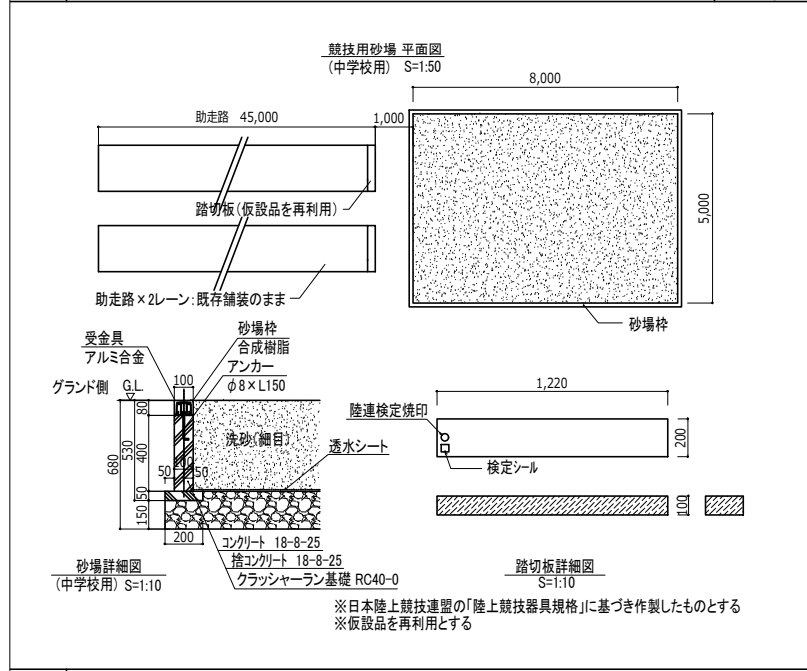
縮尺 A1:1/20, A3:1/40

A-133
最終図
2026.03.31

G-03 走り幅跳びピット (本設) A1:S=1/10 A3:S=1/20

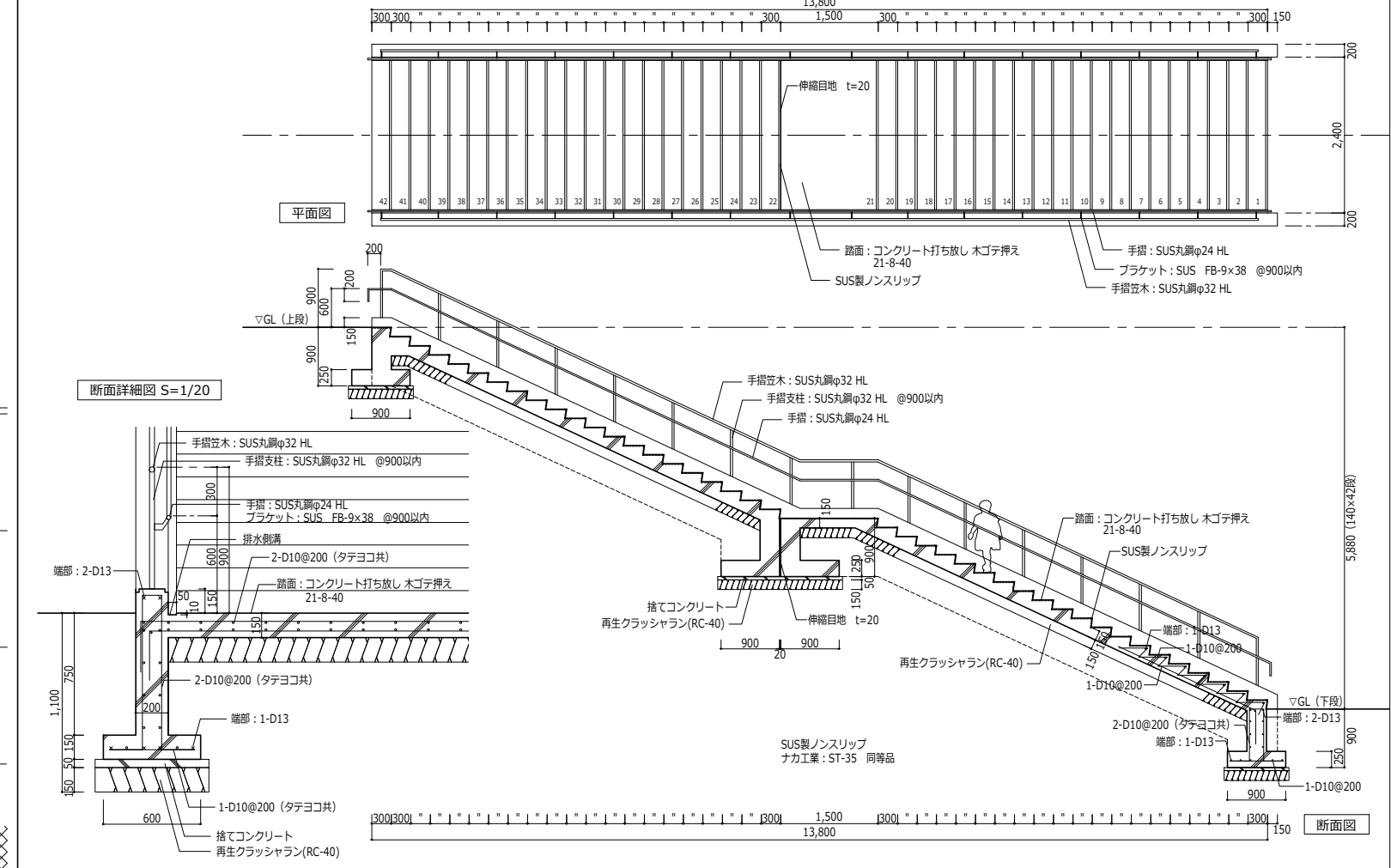
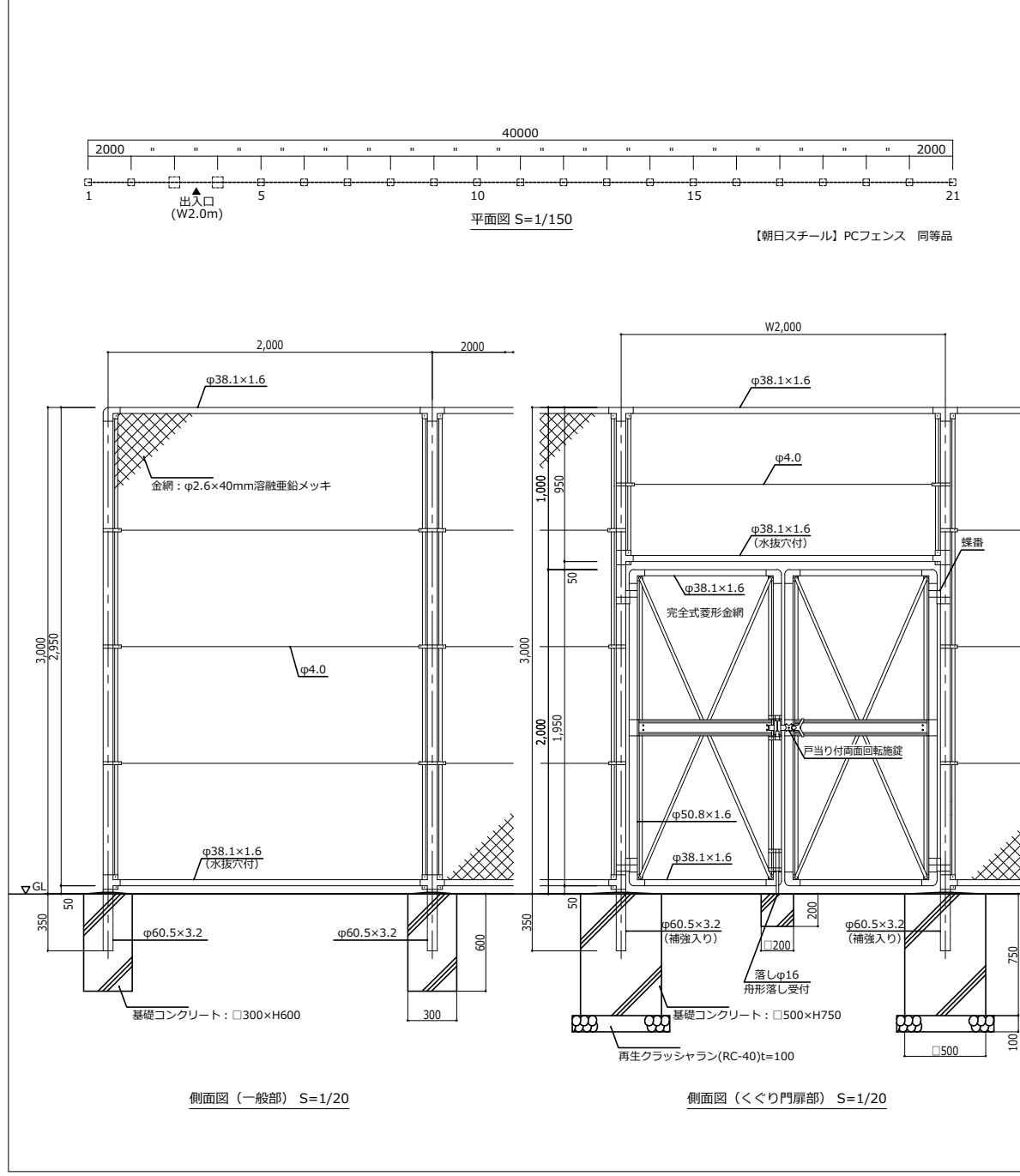
G-03' 走り幅跳びピット (仮設) A1:S=1/10 A3:S=1/20

G-04 鉄棒 A1:S=1/50 A3:S=1/100



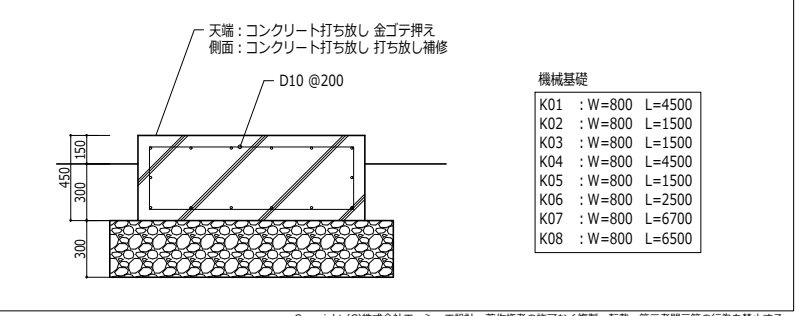
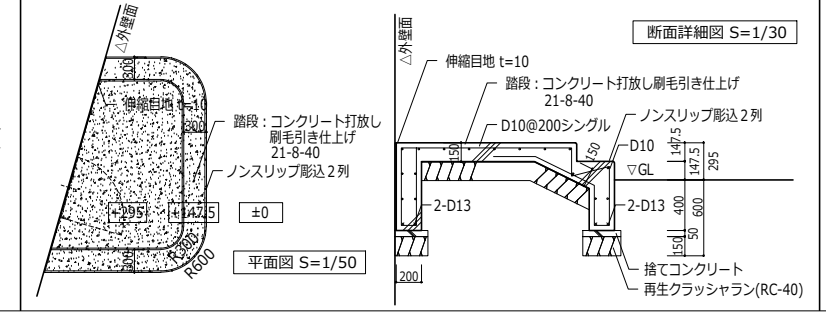
G-05 ネットフェンス A1:S=1/20 A3:S=1/40

G-07 プール階段 A1:S=1/50 A3:S=1/100



G-06 玄関階段 A1:S=図示 A3:S=図示/2

K-01~09 機械基礎 A1:S=1/20 A3:S=1/40



代表: 株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
(長野) M77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第307544号 海瀬務
一級建築士登録 第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名

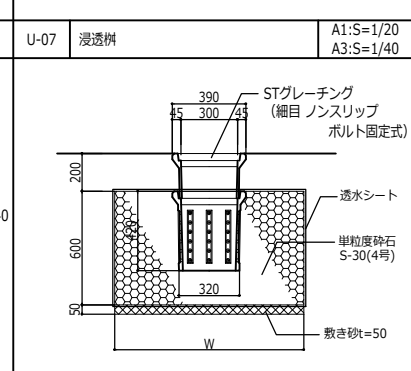
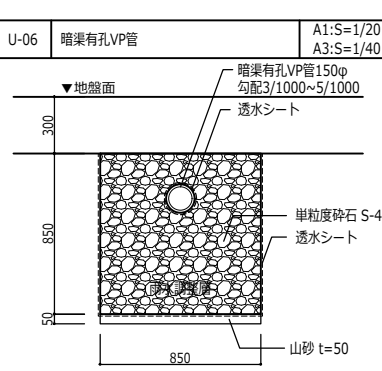
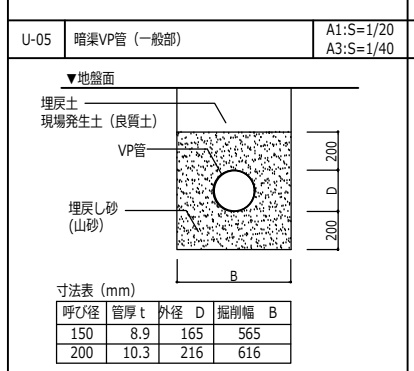
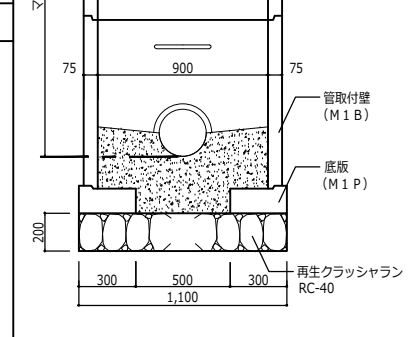
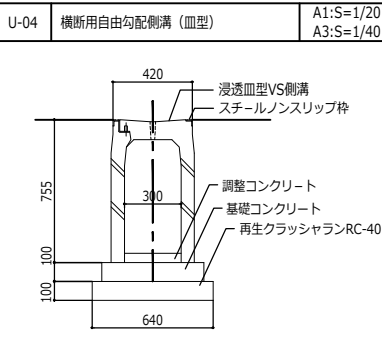
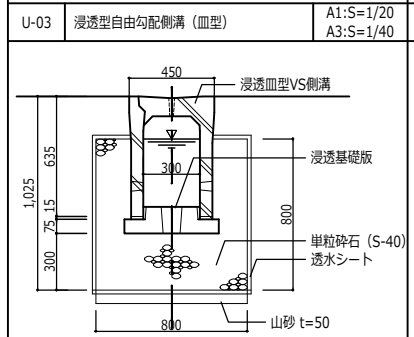
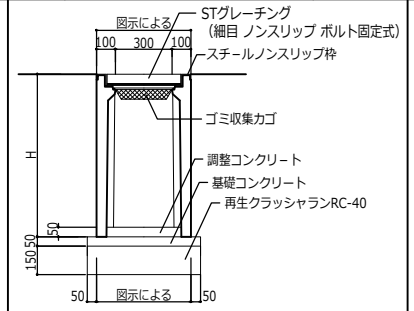
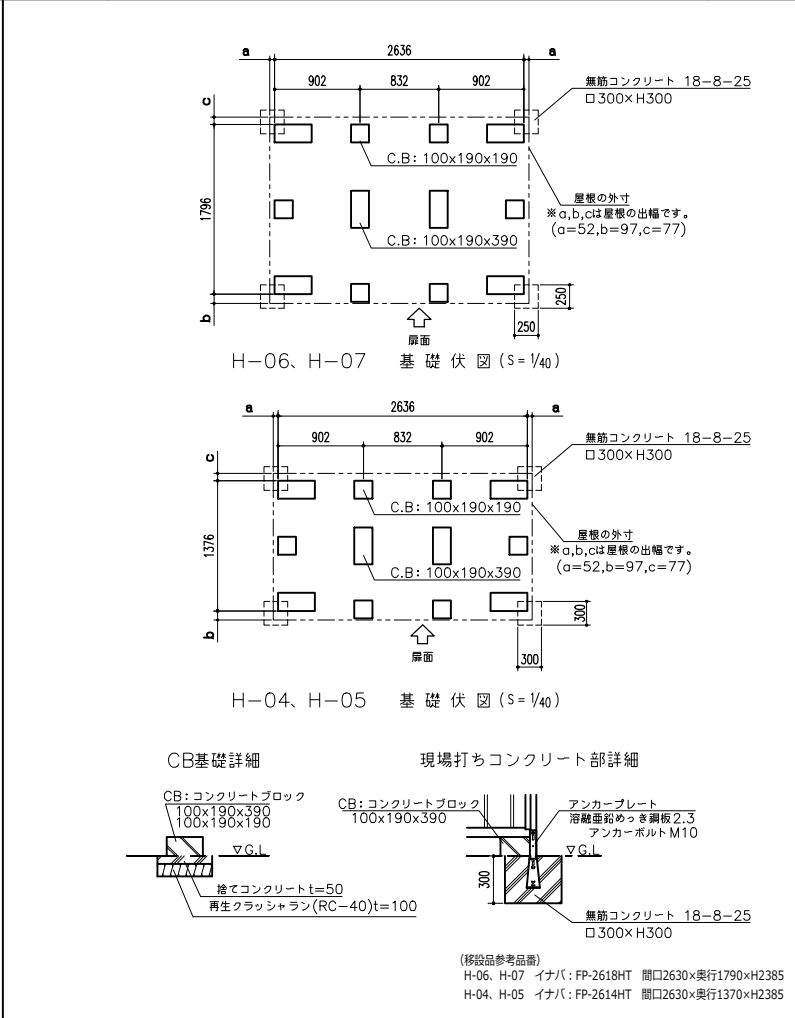
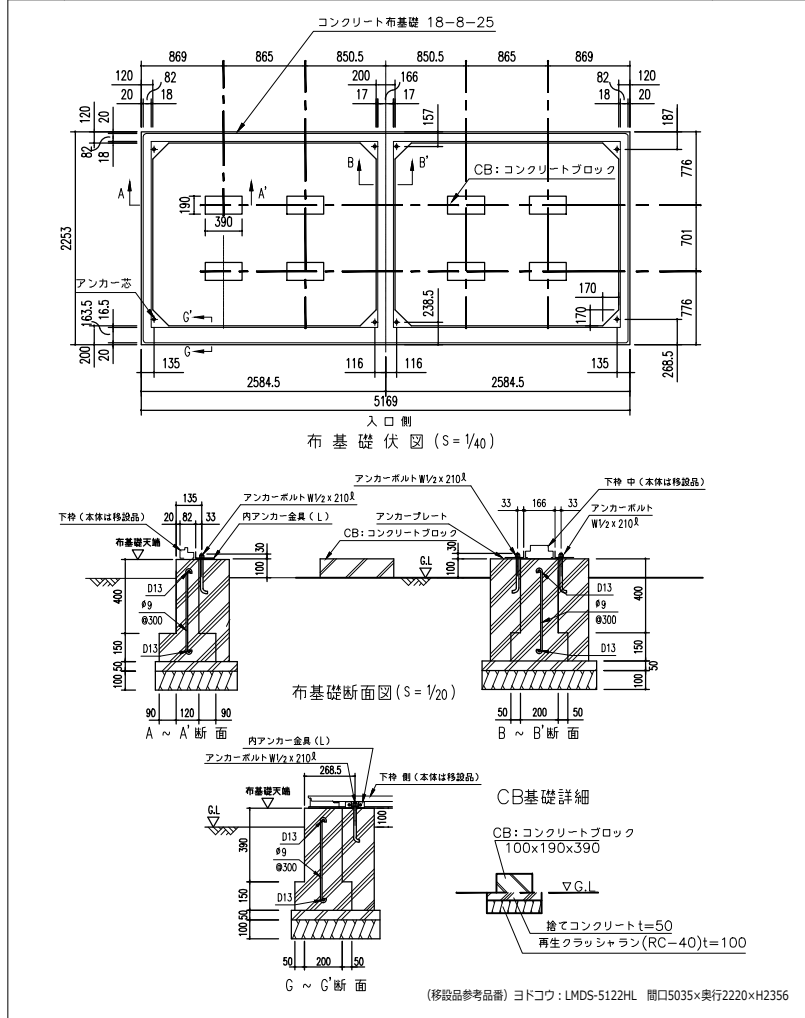
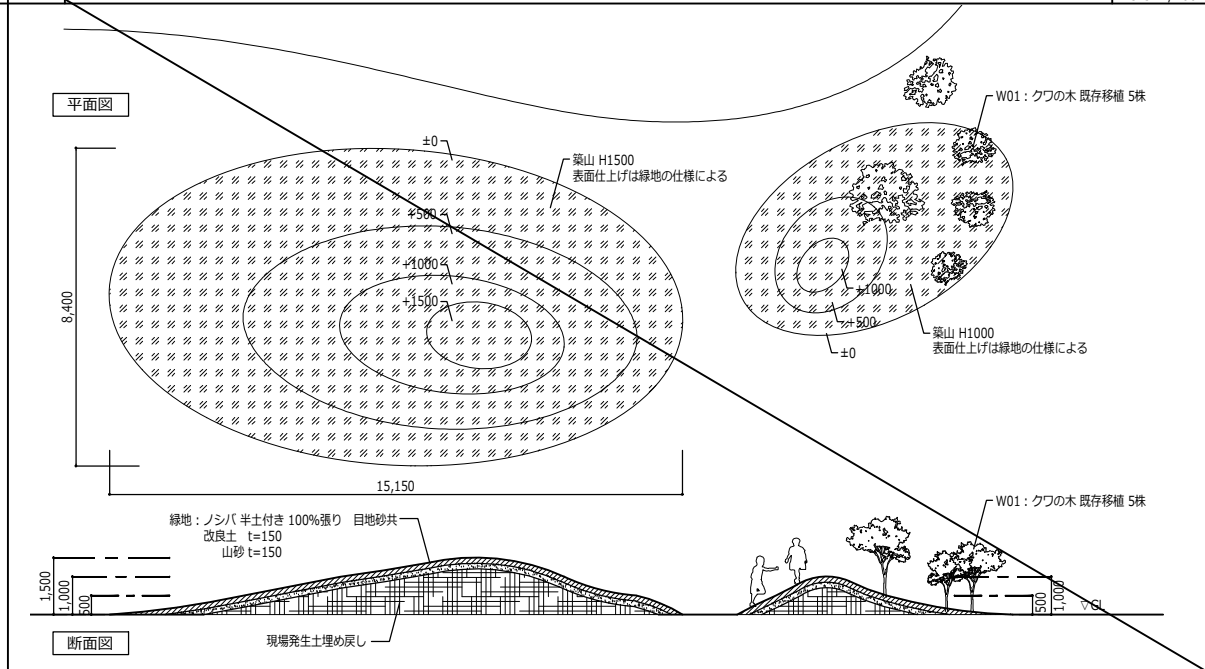
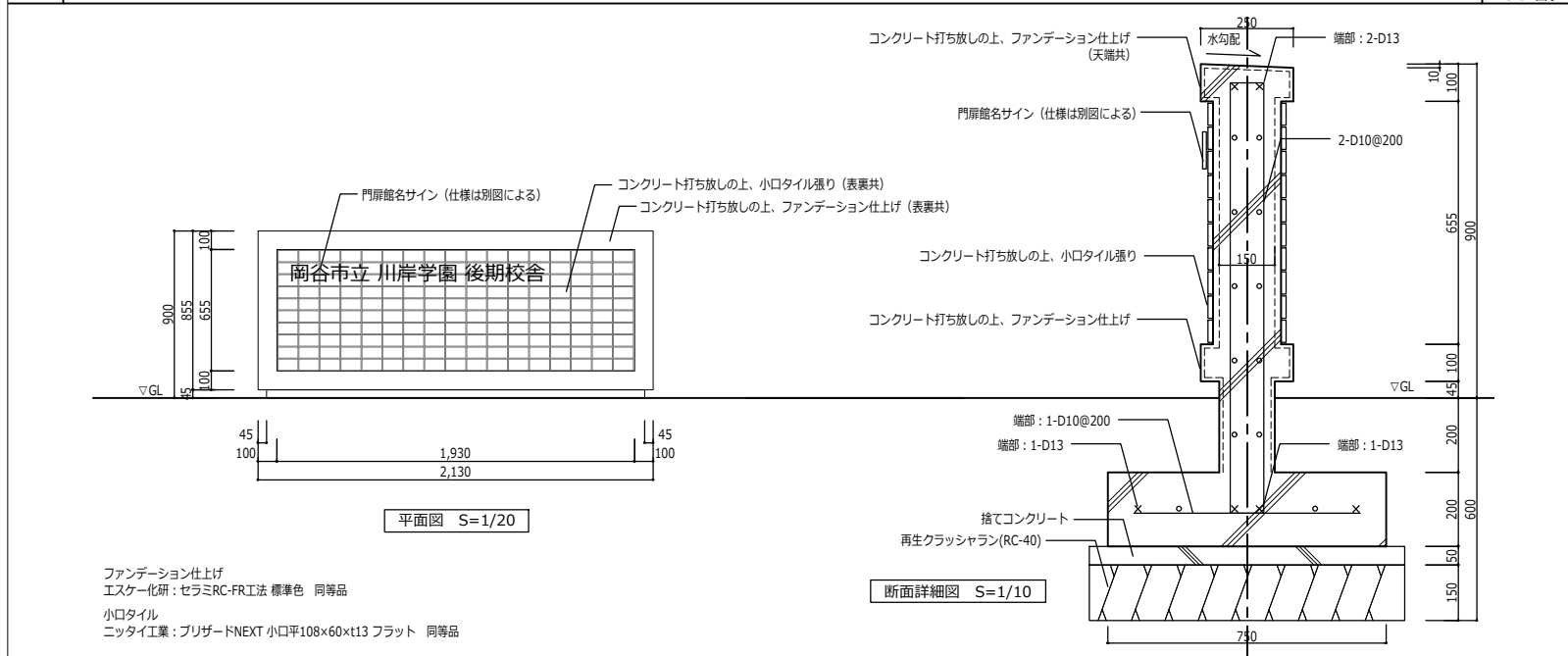
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

外構詳細図 (2)

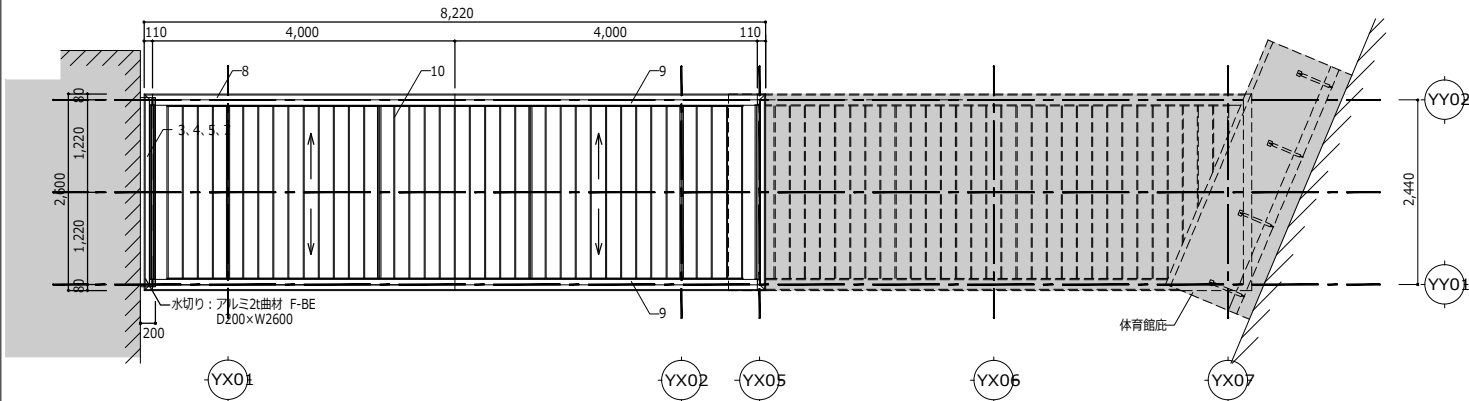
縮尺 A1:1/20, A3:1/40

A-134 最終図 2026.03.31

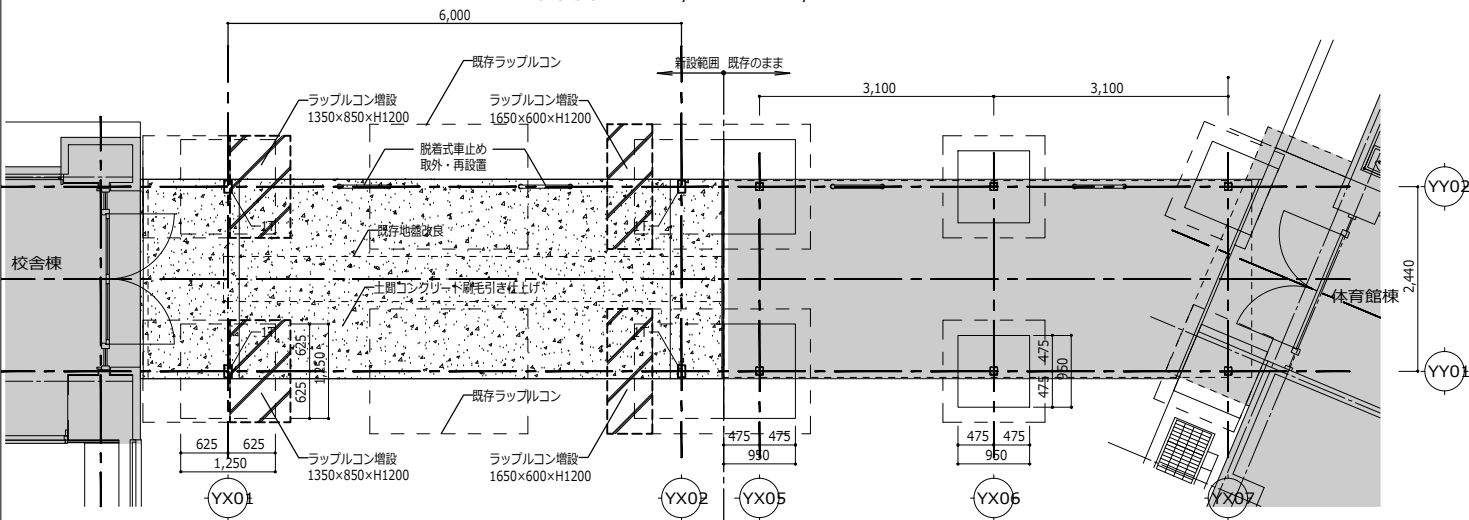


代表: 株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録 (長野) M第 77312 号
管理建築士 一級建築士登録 第222107号 湯本桂司
設計者 一級建築士登録 第307544号 海瀬務
一級建築士登録 第294614号 矢崎和夫
検査者 湯本桂司
担当 浜大氣

Job No. 24078
工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 建築主体工事
発行日 2026.03.31
図面名称 外構詳細図 (4)
縮尺 A1:1/20, A3:1/40

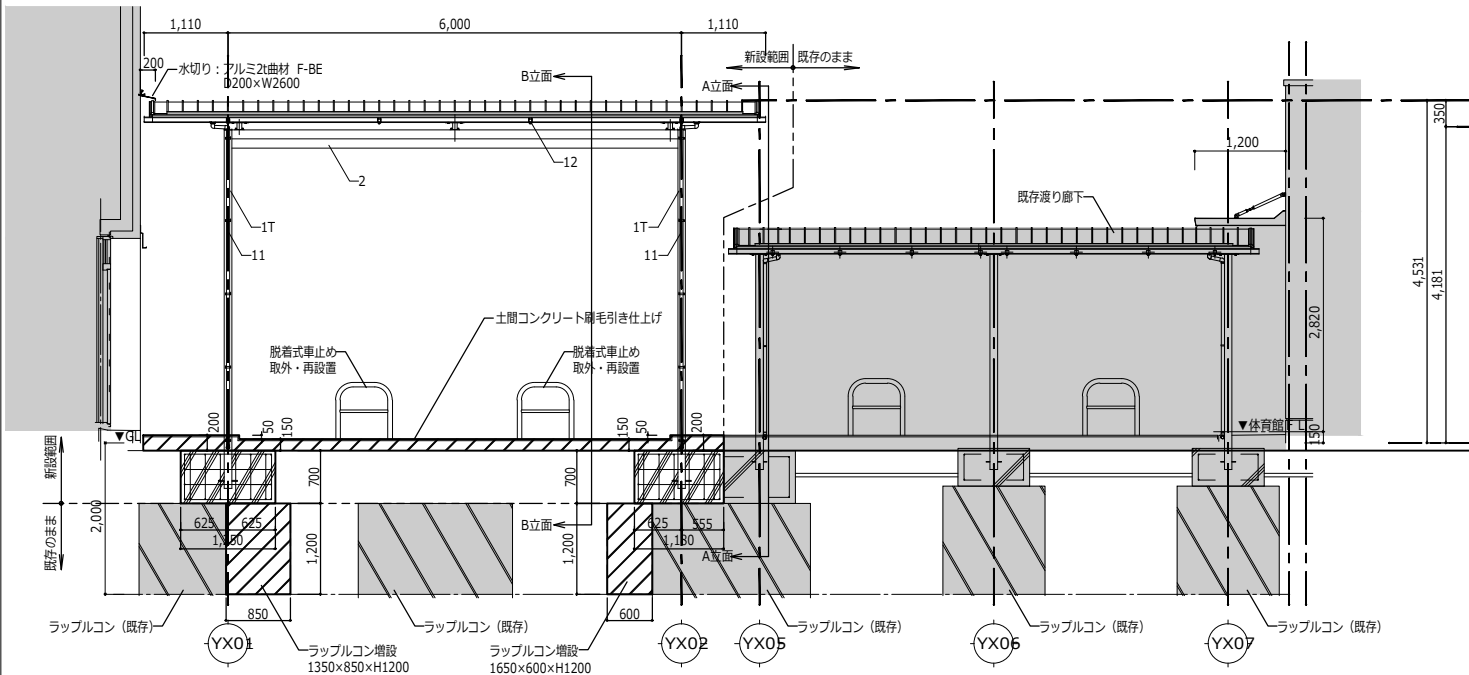


屋根伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100



平面図・基礎伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

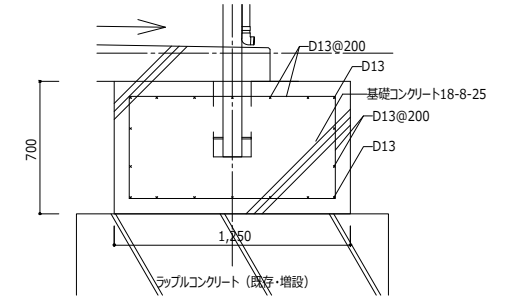
---ラップコン増設を示す
---土間コンクリート新設を示す。



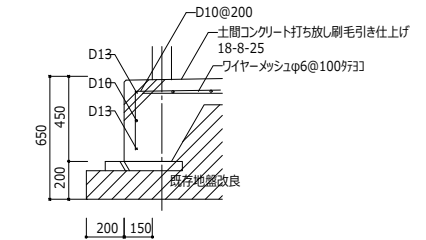
立面図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

主要部材	寸法	仕様 (材質・塗装)
① STU支柱	W100* D_{160} 補強パイプ (STKR $\square 75 \times 150 \times 3.5$)	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
② STU梁・STU補強梁	W70*H240	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
③ A正面梁W	補強材 (桁スリーブ)	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
④ 正面水切		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑤ フロント化粧材		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑥ A正面梁S		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑦ 屋根押え		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑧ 桁側面カバー		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑨ 屋根側面カバー		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑩ 形材屋根中間		陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑪ 縦種	$\phi 42$	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材
⑫ 補強梁	W45* D_{45}	陽極酸化・塗装複合皮膜 アルミ押出形材

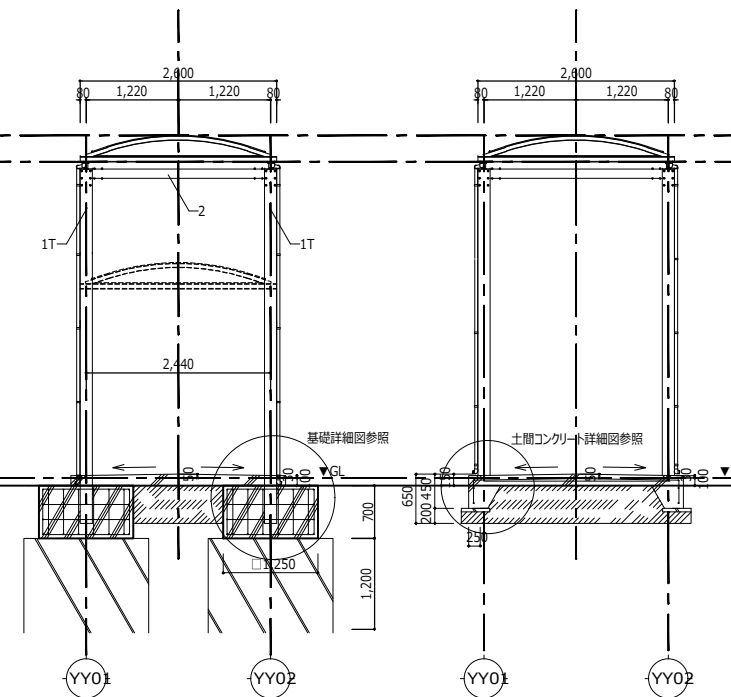
※【四国化成】リクルーフA通路用ユニット (積雪3000N/m仕様、フロントパネル付) 同等品



基礎詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40



土間コンクリート詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40

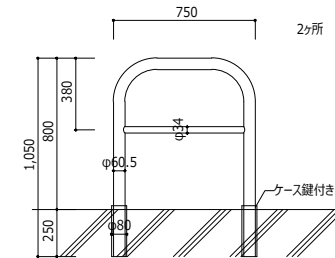


A立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

B立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---既存地盤改良 (Fc=150KN/m²) を示す。
固化工材添加量: 100kg/m³

---地盤改良 (Fc=150KN/m²) を示す。
固化工材添加量: 100kg/m³



脱着式車止め詳細図 (取外・再設置) A1:S=1/20 A3:S=1/40

代表: 株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

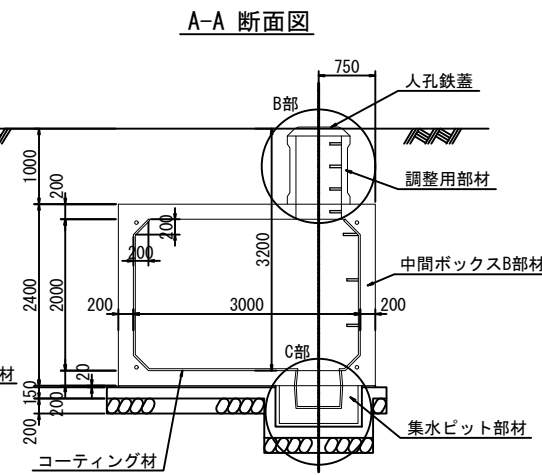
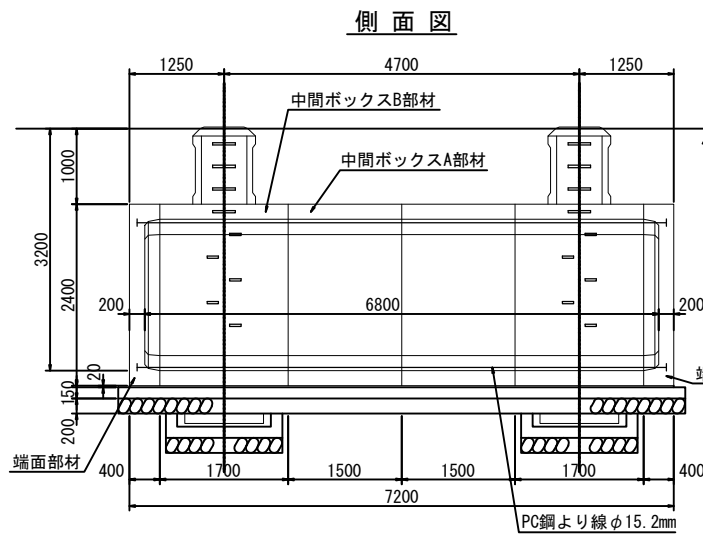
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

外構詳細図 (5)
(参考図)

細尺 A1:図示,A3:図示/2

A-137
最終図
2026.03.31



止水仕様(防水工)材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times (6.40 + 2 \times 0.20) + (3.00 \times 2.00 - 4 \times 0.20^2) \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.50 \times 2 + (2.60 + 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times 5 \times (0.0454 - 0.015) + 0.60 \times \pi \times 2 \times (0.0454 - 0.015)$	62.0 m ²
コーキング材 1	$(2 \times 2.60 + 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{2} \times 0.20) \times 5 + 0.64 \times \pi \times 2$	51.7 m
中間ボックス、端面部材	$(2 \times 2.80 + 2 \times 1.70 + 2 \times \pi \times 0.2) \times 5$	51.3 m
シール材	$(4 \times 0.84 + 0.2) \times 2$	7.1 m
調整用部材	$(2 \times \pi \times 0.34 + 0.2) \times 2 \times 2$	9.3 m
コーキング材 1	$0.04/3 \times \pi \times 0.07^2/4 + \pi \times 0.06^2/4 + \sqrt{\pi \times 0.07^2/4 \times \pi \times 0.06^2/4} \times 8$	0.001 m ³
パッキン材	—	8ヶ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(7.50 \times 3.70 + 2 \times (1.24 + 1.14 + 2 \times 0.15) \times 0.52) \times 0.15$	4.999 m ³	$\sigma_{ck} = 18.0 \text{ N/mm}^2$
基礎型枠	$2 \times (7.50 + 3.70) \times 0.15 + 2 \times (4 \times (1.24 + 1.14) + 8 \times 0.15) \times 0.52$	14.509 m ²	
基礎砕石	7.50×3.70	27.750 m ²	$t = 0.20 \text{ m}$
敷モルタル	$(7.20 \times 3.40 - 2 \times 1.24 \times 1.14) \times 0.02$	0.433 m ³	

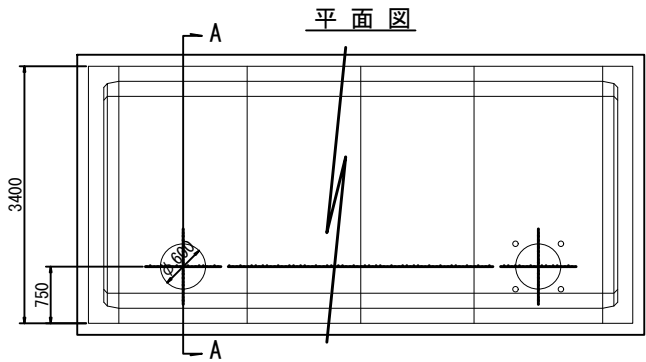
※基礎コンクリート：18-8-25
配筋：1-D10@150、端部D13

フックプレート(L)

耐震性貯水槽明細書

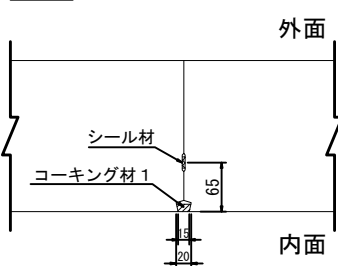
型式番号	耐-00002-2号		
型式記号	T40-II-A-0.0/1.0		
容量	40.16 m ³		
設計荷重	T-20		
設置場所	II型		
土被り厚	1.000 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	2個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2個	
集水ピット部材	PH500(1.04m x 1.04m x 0.50m)	2個	
調整用部材	φ0.83m, RH900	2個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L=7.8m	4本	SWPR7B
定着具	アンカープレート, グリップ	8組	端面部材用
グラウト	$0.12/3 \times \pi \times (0.08^2 + 0.08 \times 0.07 + 0.07^2) \times 8 + 0.02 \times \pi \times 0.08^2 \times 8 + 6.920 \times \pi / 4 \times 0.035^2 \times 4$	0.047 m ³	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
緊結ボルト	M16, L=1.000m(ナット, 座金付)	6組	
人孔鉄蓋	φ600	2組	
六角ボルト	M20, L=200mm(ワッシャー付)	8組	
GキャップE	-	8組	

※内面防水は、コーティング仕様とする
※日本消防設備安全センターの認定品とする

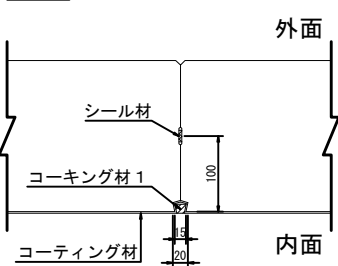


継手部詳細図 S=1:5

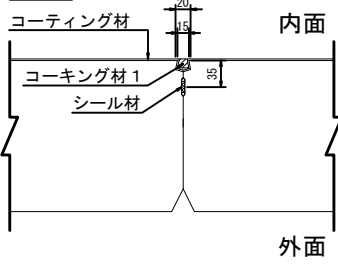
頂版



側壁



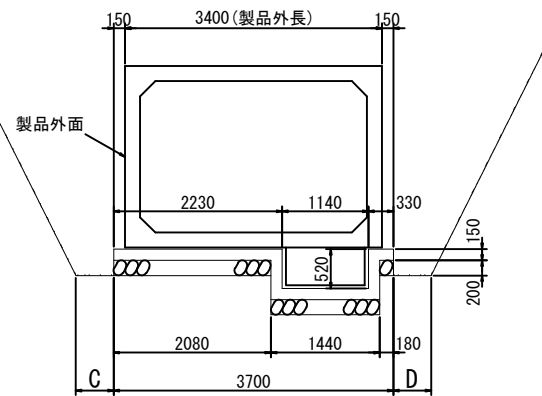
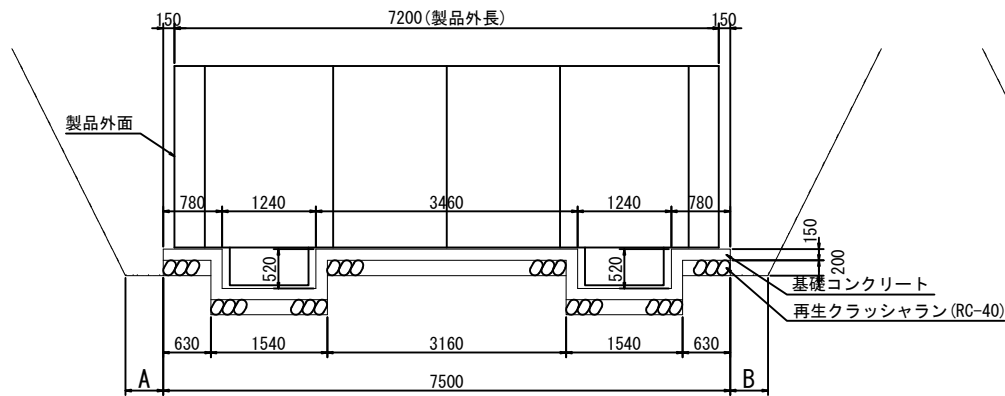
底版



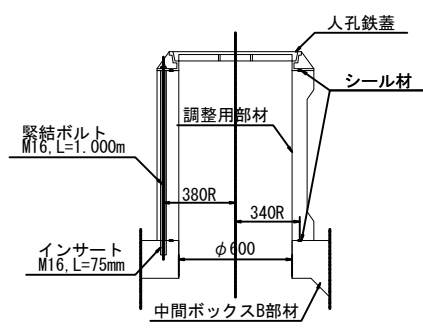
A-A 断面図

基礎図

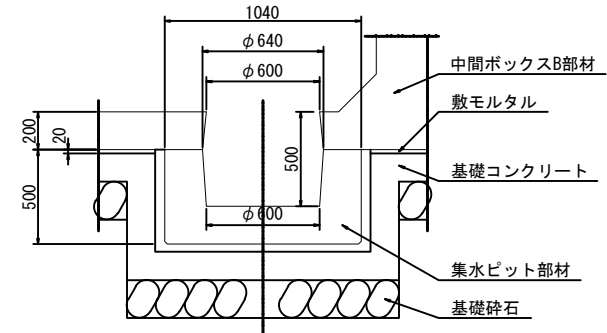
B-B 断面図



B部詳細図 S=1:20



C部詳細図 S=1:20

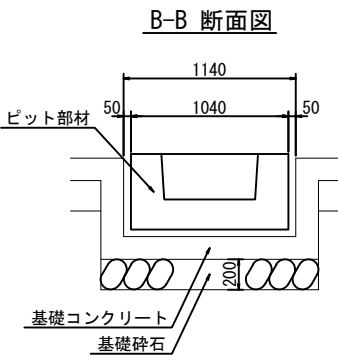
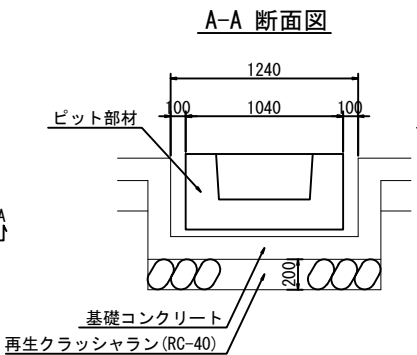
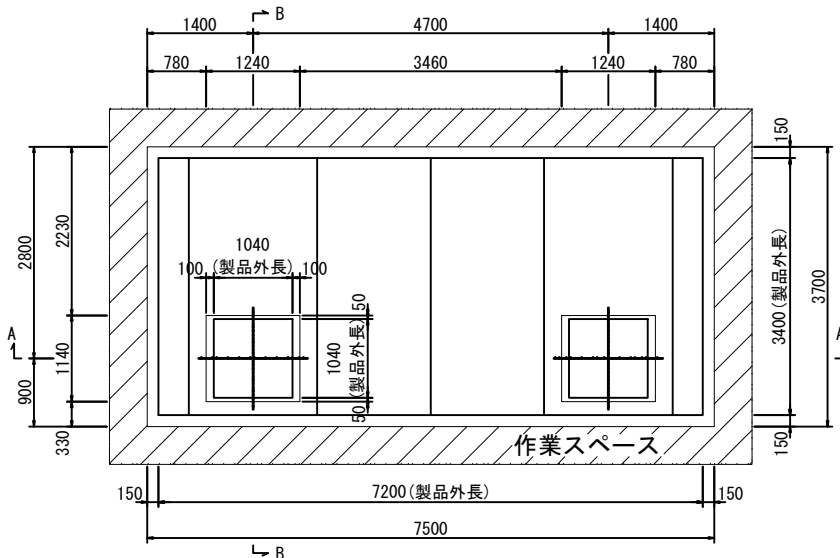


基礎平面図

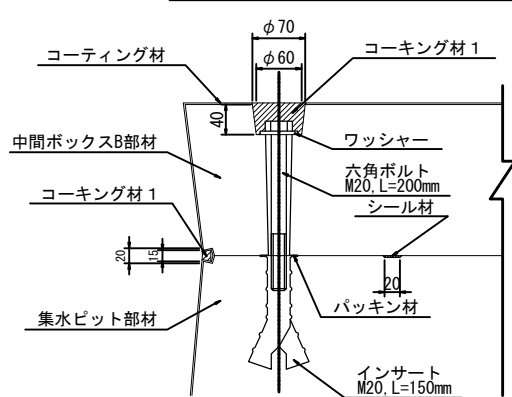
ピット周辺拡大図

A-A 断面図

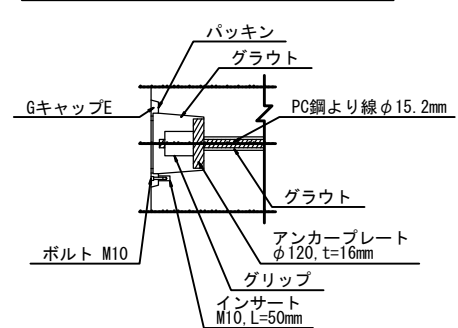
B-B 断面図



集水ピット連結部詳細図 S=1:5



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10



代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第307544号 海瀬務
一級建築士登録
第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078
工事名

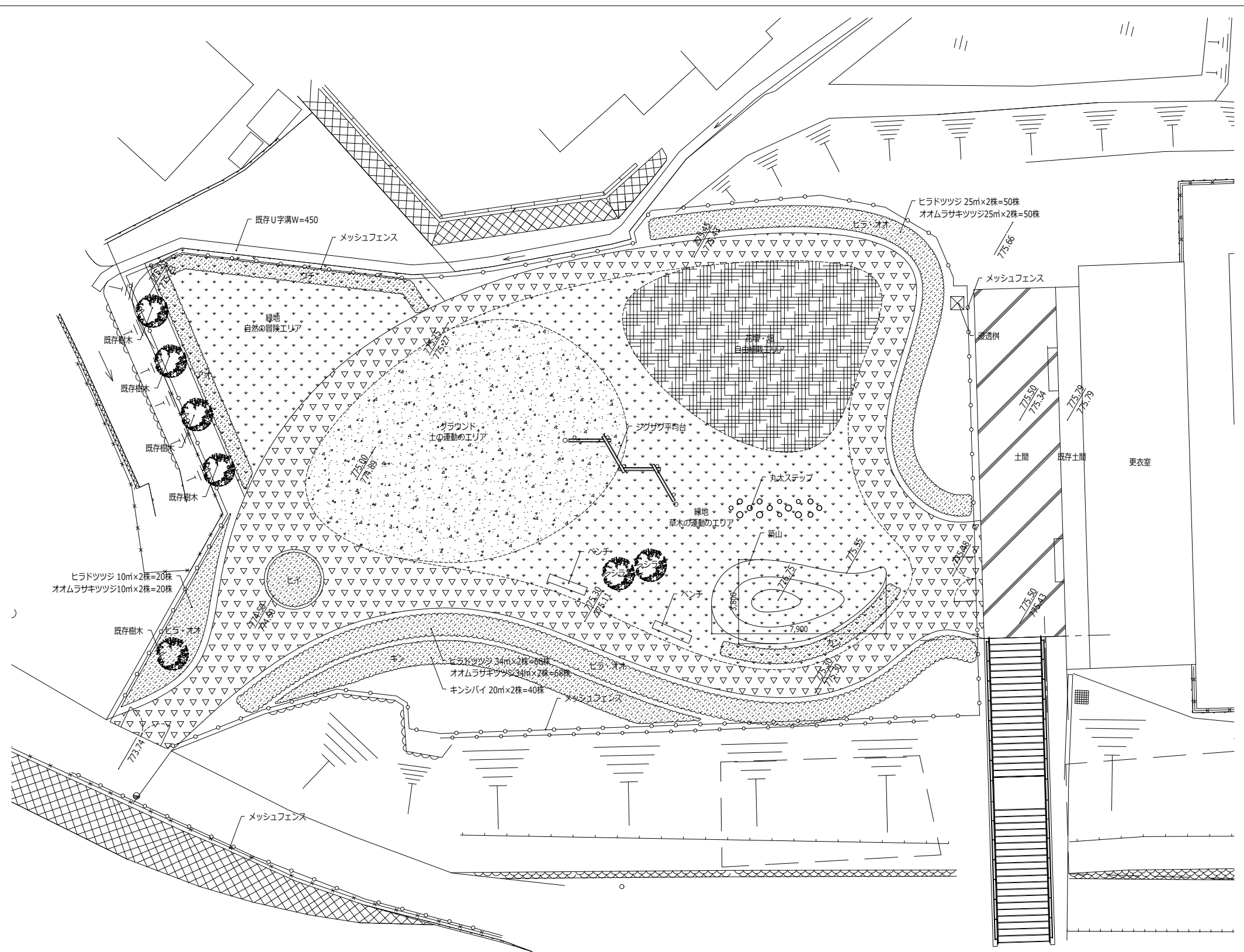
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

外構詳細図(6)
(参考図)

細尺 A1:1/20, A3:1/40

A-138
最終図
2026.03.31



凡例	符号	名称	参考数量	単位	仕様・備考	備考
	▽▽▽	木チップ園路	172.94	m	楕円チップ 10~40mm程度 t=100 路盤:現場発生土転圧	P-01
	▽▽▽	シロツメクサ播種	226.02	m	10g/m ² 客土t=150共	P-02
	●	真砂土	117.21	m	ふるい真砂土t=50 路盤:現場発生土転圧 (大きな石は取り除くこと)	P-03
	■	改良土	75.90	m	t=300	P-04
	■	コンクリート土間	58.48	m	t=70 ワイヤメッシュ共 砕石転圧t=100	P-05
	---	ランドスケープエッジ	118.50	m	樹脂製H=127 凍上抑制タイプ 住友林業緑化園工ツギキング同等	B-01
	—○—	メッシュフェンス	142.04	m	H=900 衝石共 JFE建材:Jメッシュフェンス同等	B-02
	⌒	門扉	2	ヶ所	H=900 衝石共 JFE建材:Jメッシュ門扉同等	B-03
	■	築山	1	ヶ所	H=1,200 現場発生土又は盛土B種程度	
	■	木製ベンチ	2	ヶ所	コトブキ:EX-13420H同等	F-01
	■	丸木ステップ	1	ヶ所	木製	F-02
	■	シグザグ平台	1	ヶ所	木製	F-03
	⊠	浸透柵	1	ヶ所	水栓用 SUSグレーチング共	M-01
	ア	アオキ	20	株	H:0.4 C: W:0.3 3株/m 客土共	
	カ	カンツバキ	15	株	H:0.4 C: W:0.4 2株/m 客土共	
	キ	キンシバイ	40	株	H:0.5 3本立 2株/m 客土共	
	ク	クチナシ	20	株	H:0.4 C: W:0.25 3株/m 客土共	
	ヒ	ヒラギナンテン	10	株	H:0.4 2本立 2株/m 客土共	
	ヒラ	ヒラドツジ	138	株	H:0.3 W:0.3 2株/m 客土共	
	オ	オオムラサキツジ	138	株	H:0.3 W:0.3 2株/m 客土共	
	シ	シラカシ	2	本	H:3.0 C:0.15 W:0.8 客土・鳥居支柱共	

代表:株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

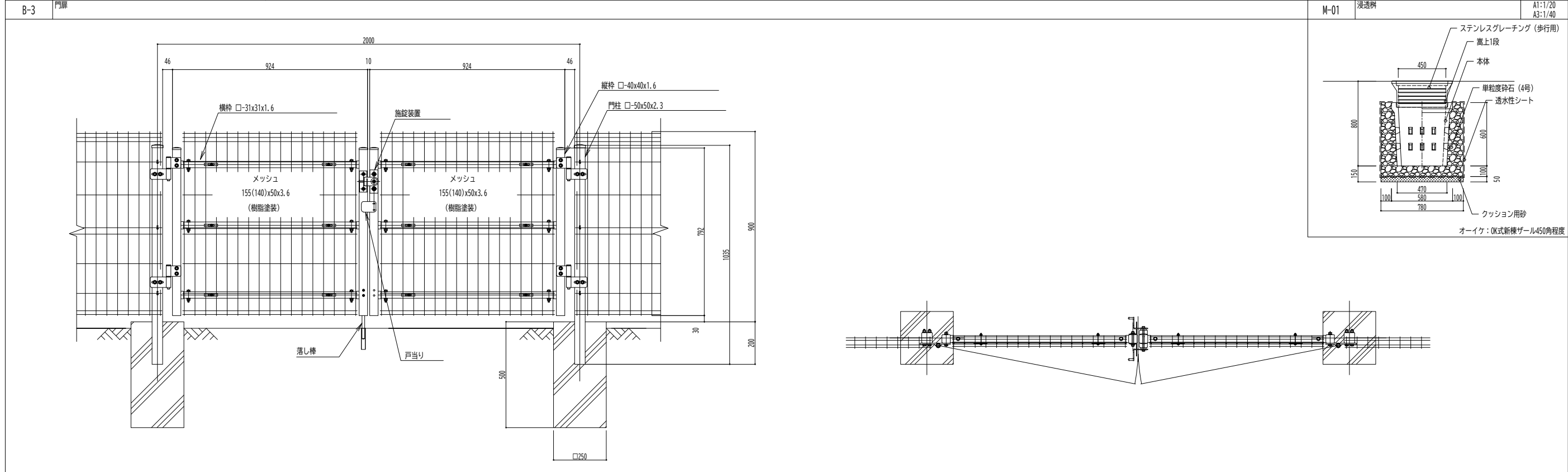
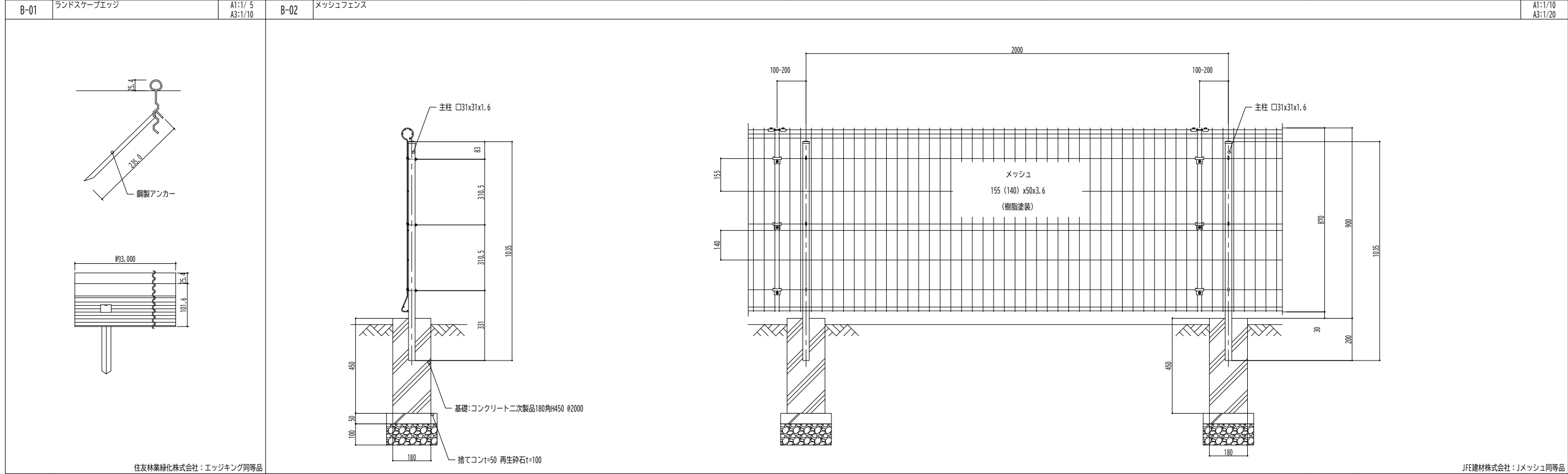
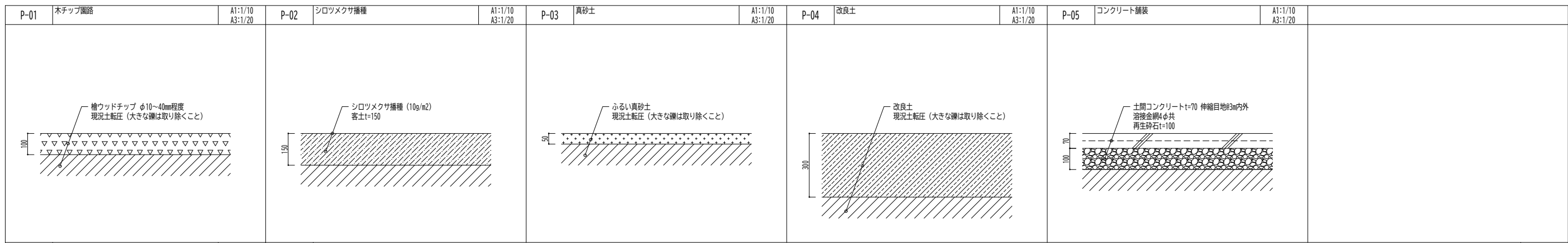
発行日 2025.03.31
図面名称

上段外構図

縮尺 A1:1/100,A3:1/200

A-139
最終図
2025.03.31





代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

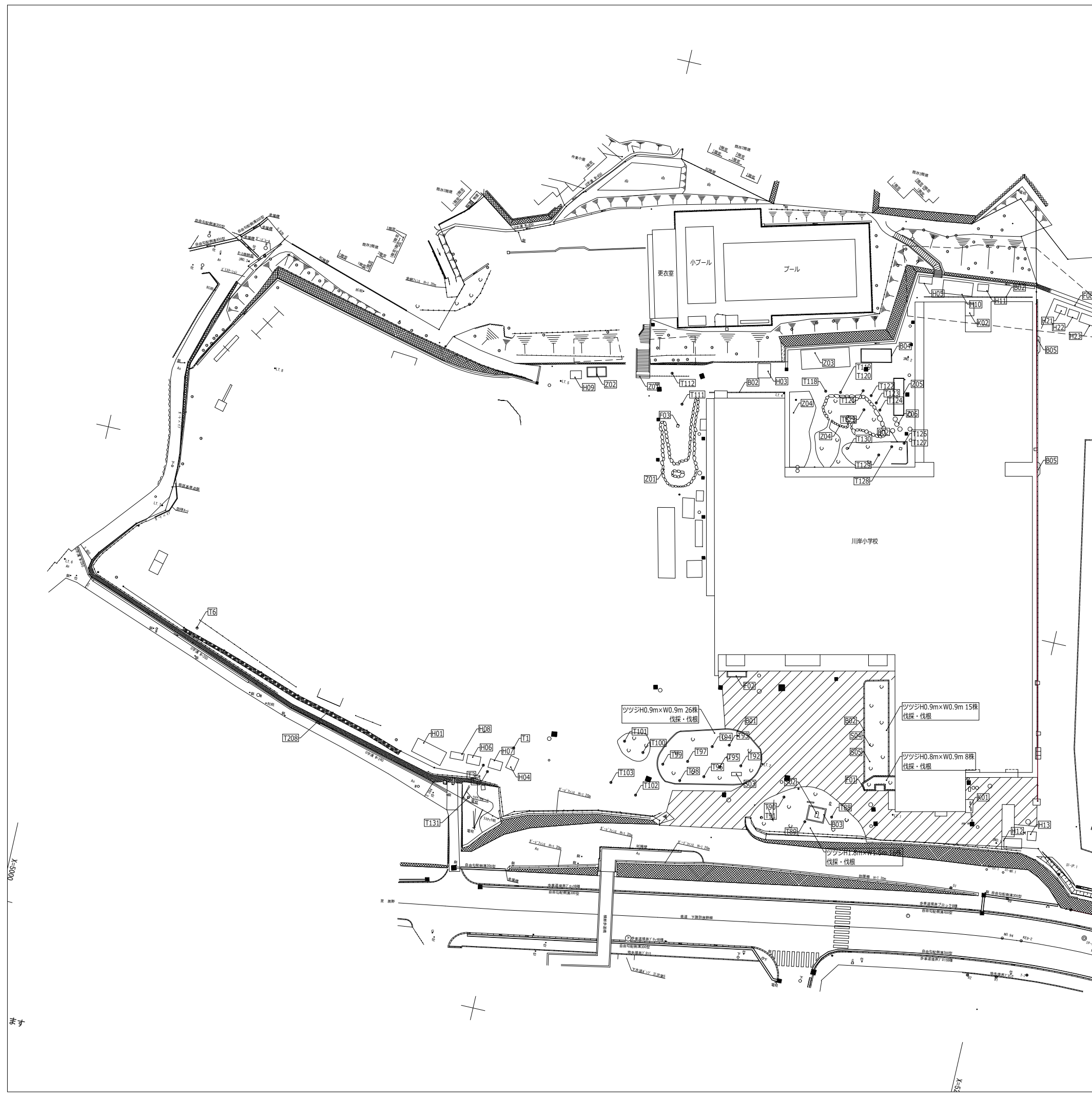
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司
担当 浜大氣
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事
発行日 2025.03.31
図面名称

上段外構詳細図(1)
縮尺 図示
A-140
最終図
2025.03.31



記号	名称	参考数量		仕様・備考
		長寿	外構	
///	アスファルト舗装	1132m		密粒アスファルト t=40
B01	歩車道境界ブロック	70m		撤去 B型 (180(230)x250)
B02	地先境界ブロック	100m		撤去 A型 (120x120)
B03	コンクリート壁	17m		撤去 W200 H300 石積200φ~350φ1段共
B04	花壇見切り	18m		撤去 (詳細図参照)
B05	コンクリート擁壁	8m		撤去 (詳細図参照)
F01	水飲み	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F02	水飲み	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F03	日時計	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F04				廃番
F05				廃番
F06				廃番
F07				廃番
F08	防球ネット	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F09	バックネット	1ヶ所		移設 (詳細図参照)
K01	オイルタンク基礎	1ヶ所		撤去 RCW2600xD1600xH600
K02	オイルタンク基礎	1ヶ所		撤去 RCW2600xD1600xH600
Z01	池	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z02	たい肥置場	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z03	藤棚	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z04	庭石	80個		撤去 300φ~1500φ
Z05	水槽	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z06	コンクリートプランター	4ヶ所		撤去 t=120 900φ H=600
Z07	コンクリート階段		1ヶ所	撤去 (詳細図参照)
Z08	防火水槽	1ヶ所		撤去 コンクリート製40m3
Z09	コンクリート階段		1ヶ所	撤去 (詳細図参照)
H01	プレハブ物置	1ヶ所		残置
H02	プレハブ物置	1ヶ所		移設 (基礎撤去)
H03	防災倉庫	1ヶ所		残置
H04	プレハブ物置		1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H05	プレハブ物置	1ヶ所		移設 (基礎撤去)
H06	プレハブ物置		1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H07	プレハブ物置		1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H08	プレハブ物置		1ヶ所	撤去 (基礎撤去)
H09	プレハブトイレ	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H10	鉄骨物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H11	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H12	木造物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H13	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H21	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H22	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H23	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H24	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H25	シエルター	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
S02	川岸村碑	1ヶ所		移設
S03	税金改定記念 (板石碑)	1ヶ所		移設
S04	創立90周年記念 (鏡面鏡像碑)	1ヶ所		移設
S05	卒業記念 (板石碑)	1ヶ所		移設
T1	雑木 (トチの木)	1本		残置 (目通り径111cm)
T2	雑木 (イチヨウ)	1本		伐採・伐根 (目通り径72cm・樹高14m)
T3	スギ	1本		伐採・伐根 (目通り径32cm・樹高14m)
T6	雑木 (ソメイヨシノ)		1本	伐採 (目通り径106cm・樹高8m)
T88	雑木 (エノキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径83cm・樹高16m)
T89	雑木 (ウメ)	1本		伐採・伐根 (目通り径29cm・樹高4m)
T90	雑木 (イロハモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径25cm・樹高4m)
T91	雑木 (ヤクシク)	1本		伐採・伐根 (目通り径78cm・樹高14m)
T92	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径20cm・樹高7m)
T93	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径14cm・樹高3m)
T94	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径64cm・樹高8m)
T95	雑木 (オオモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径70cm・樹高11m)
T96	雑木 (シナノキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径46cm・樹高8m)
T97	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径39cm・樹高7m)
T98	雑木 (ヒイラギ)	1本		伐採・伐根 (目通り径17cm・樹高5m)
T99	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径32cm・樹高8m)
T100	雑木 (ヤクシク)	1本		伐採・伐根 (目通り径62cm・樹高16m)
T101	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径33cm・樹高10m)
T102	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径29cm・樹高9m)
T103	雑木 (ヤクシク)	1本		伐採・伐根 (目通り径51cm・樹高12m)
T111	雑木 (モミ)	1本		残置 (目通り径14cm・樹高5m)
T112	雑木 (モミ)	1本		残置 (目通り径17cm・樹高6m)
T118	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径27cm・樹高9m)
T119	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径38cm・樹高7m)
T120	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径47cm・樹高7m)
T121	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径30cm・樹高9m)
T122	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径24cm・樹高9m)
T123	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径26cm・樹高9m)
T124	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径33cm・樹高9m)
T125	雑木 (クロマツ)	1本		伐採・伐根 (目通り径23cm・樹高9m)
T126	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		残置 (目通り径29cm・樹高7m)
T127	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		残置 (目通り径14cm・樹高3m)
T128	雑木 (クヌギ)	1本		伐採・伐根 (目通り径8cm・樹高3m)
T129	雑木 (カリン)	1本		伐採・伐根 (目通り径18cm・樹高4m)
T130	雑木 (イロハモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径20cm・樹高4m)
T131	雑木 (モミ)		1本	伐採 (目通り径64cm・樹高14m)
T201	雑木 (モミ)	1本		伐採 (目通り径100cm・樹高18m)
T202	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		移植 (目通り径6cm・樹高1.5m)
T203	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径18cm・樹高5m)
T204	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		移植 (目通り径5cm・樹高2m)
T205	雑木	5本		伐採 (目通り径50cm・樹高12m)
T206	雑木	25本		伐採 (目通り径35cm・樹高10m)
T207	雑木	30本		伐採 (目通り径15cm・樹高10m)
T208	雑木		40本	伐採 (目通り径6cm・樹高2~4m)

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

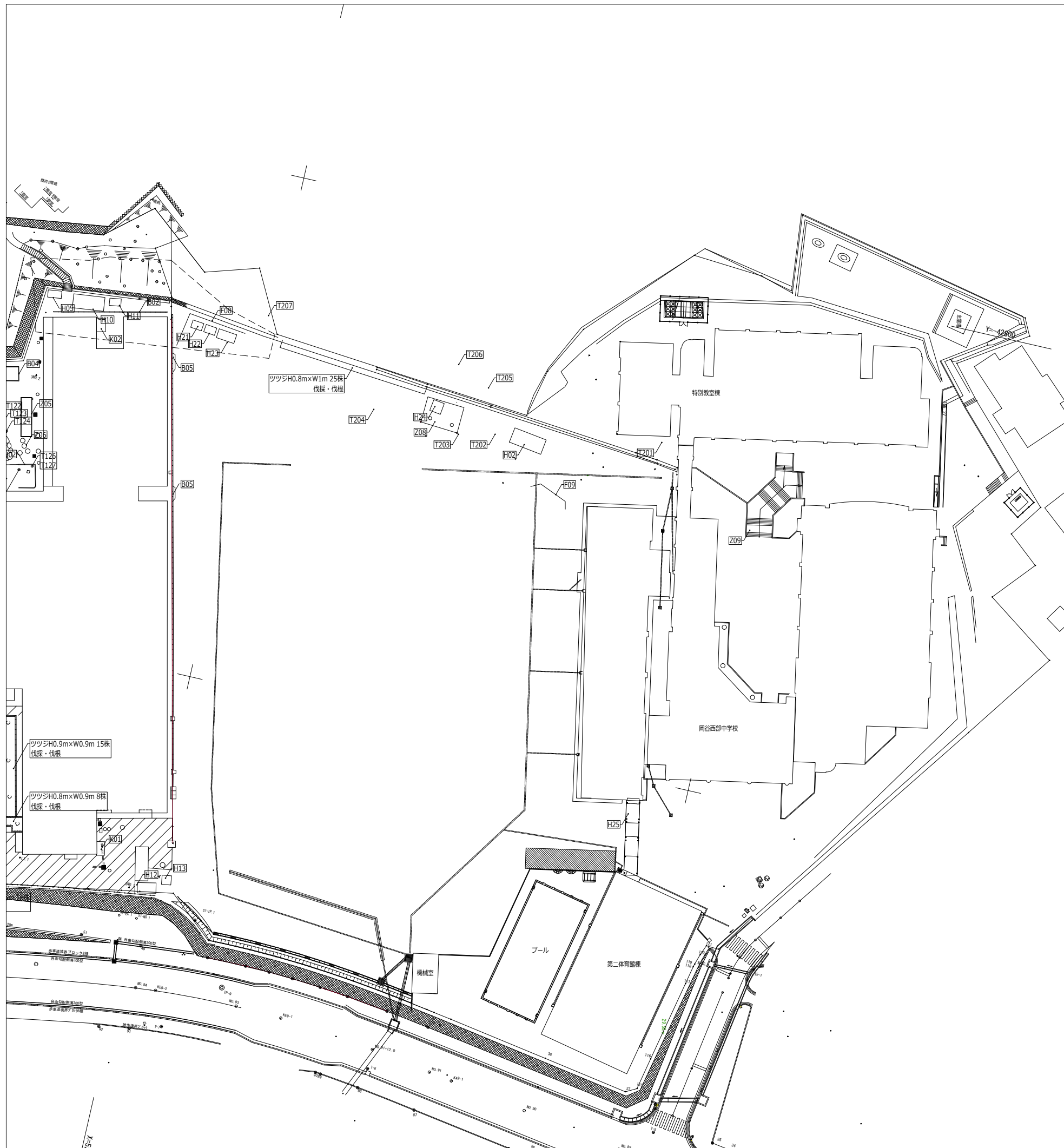
発行日 2026.03.31
図面名称

外構撤去図 (1)

縮尺 A1:1/400, A3:1/800

A-142 最終図
2026.03.31

※参考数量の区分については下記の通りとする
接続：第2期 (接続棟建設) 工事
長寿：第2期 (長寿命化大規模改修) 工事
外構：第3期 (幼保連携型認定こども園建設) 工事



記号	名称	参考数量		仕様・備考
		長寿	外構	
///	アスファルト舗装	1132m	接続	密粒アスファルト t=40
B01	歩車道境界ブロック	70m		撤去 B型 (180(230)x250)
B02	地先境界ブロック	100m		撤去 A型 (120x120)
B03	コンクリート壁	17m		撤去 W200 H300 石積200φ~350φ1段共
B04	花壇見切り	18m		撤去 (詳細図参照)
B05	コンクリート擁壁	8m		撤去 (詳細図参照)
F01	水飲み	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F02	水飲み	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F03	日時計	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F04				廃番
F05				廃番
F06				廃番
F07				廃番
F08	防球ネット	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
F09	バックネット	1ヶ所		移設 (詳細図参照)
K01	オイルタンク基礎	1ヶ所		撤去 RCW2600xD1600xH600
K02	オイルタンク基礎	1ヶ所		撤去 RCW2600xD1600xH600
Z01	池	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z02	たい肥置場	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z03	藤棚	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z04	底石	80個		撤去 300φ~1500φ
Z05	水槽	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
Z06	コンクリートプランター	4ヶ所		撤去 t=120 900φ H=600
Z07	コンクリート階段		1ヶ所	撤去 (詳細図参照)
Z08	防火水槽	1ヶ所		撤去 コンクリート製40m3
Z09	コンクリート階段		1ヶ所	撤去 (詳細図参照)
H01	プレハブ物置	1ヶ所		残置
H02	プレハブ物置	1ヶ所		移設 (基礎撤去)
H03	防災倉庫	1ヶ所		残置
H04	プレハブ物置	1ヶ所	1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H05	プレハブ物置	1ヶ所		移設 (基礎撤去)
H06	プレハブ物置		1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H07	プレハブ物置		1ヶ所	移設 (基礎撤去)
H08	プレハブ物置		1ヶ所	撤去 (基礎撤去)
H09	プレハブトイレ	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H10	鉄骨物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H11	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H12	木造物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H13	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H21	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H22	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H23	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H24	プレハブ物置	1ヶ所		撤去 (基礎撤去)
H25	シエルター	1ヶ所		撤去 (詳細図参照)
S02	川岸村碑	1ヶ所		移設
S03	税金改定記念 (板石碑)	1ヶ所		移設
S04	創立90周年記念 (鎮座経緯碑)	1ヶ所		移設
S05	卒業記念 (板石碑)	1ヶ所		移設
T1	雑木 (トチの木)	1本		残置 (目通り径111cm)
T2	雑木 (イチヨウ)	1本		伐採・伐根 (目通り径72cm・樹高14m)
T3	スギ	1本		伐採・伐根 (目通り径32cm・樹高14m)
T6	雑木 (ソメイヨシノ)		1本	伐採 (目通り径106cm・樹高8m)
T88	雑木 (エノキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径83cm・樹高16m)
T89	雑木 (ウメ)	1本		伐採・伐根 (目通り径29cm・樹高4m)
T90	雑木 (イロハモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径25cm・樹高4m)
T91	雑木 (ヤクシキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径78cm・樹高14m)
T92	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径20cm・樹高7m)
T93	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径14cm・樹高3m)
T94	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径64cm・樹高8m)
T95	雑木 (オオモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径70cm・樹高11m)
T96	雑木 (シナノキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径46cm・樹高8m)
T97	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径39cm・樹高7m)
T98	雑木 (ヒイラギ)	1本		伐採・伐根 (目通り径17cm・樹高5m)
T99	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径32cm・樹高8m)
T100	雑木 (ヤクシキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径62cm・樹高16m)
T101	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径33cm・樹高10m)
T102	雑木 (イチイ)	1本		伐採・伐根 (目通り径29cm・樹高9m)
T103	雑木 (ヤクシキ)	1本		伐採・伐根 (目通り径51cm・樹高12m)
T111	雑木 (モミ)	1本		残置 (目通り径14cm・樹高5m)
T112	雑木 (モミ)	1本		残置 (目通り径17cm・樹高6m)
T118	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径27cm・樹高9m)
T119	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径38cm・樹高7m)
T120	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		伐採・伐根 (目通り径47cm・樹高7m)
T121	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径30cm・樹高9m)
T122	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径24cm・樹高9m)
T123	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径26cm・樹高9m)
T124	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径33cm・樹高9m)
T125	雑木 (クロマツ)	1本		伐採・伐根 (目通り径23cm・樹高9m)
T126	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		残置 (目通り径29cm・樹高7m)
T127	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		残置 (目通り径14cm・樹高3m)
T128	雑木 (クヌギ)	1本		伐採・伐根 (目通り径8cm・樹高3m)
T129	雑木 (カリン)	1本		伐採・伐根 (目通り径18cm・樹高4m)
T130	雑木 (イロハモミジ)	1本		伐採・伐根 (目通り径20cm・樹高4m)
T131	雑木 (モミ)		1本	伐採 (目通り径64cm・樹高14m)
T201	雑木 (モミ)	1本		伐採 (目通り径100cm・樹高18m)
T202	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		移植 (目通り径6cm・樹高1.5m)
T203	雑木 (サクラ)	1本		伐採・伐根 (目通り径18cm・樹高5m)
T204	雑木 (ソメイヨシノ)	1本		移植 (目通り径5cm・樹高2m)
T205	雑木	5本		伐採 (目通り径50cm・樹高12m)
T206	雑木	25本		伐採 (目通り径35cm・樹高10m)
T207	雑木	30本		伐採 (目通り径15cm・樹高10m)
T208	雑木		40本	伐採 (目通り径6cm・樹高2~4m)



代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

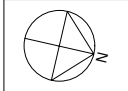
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

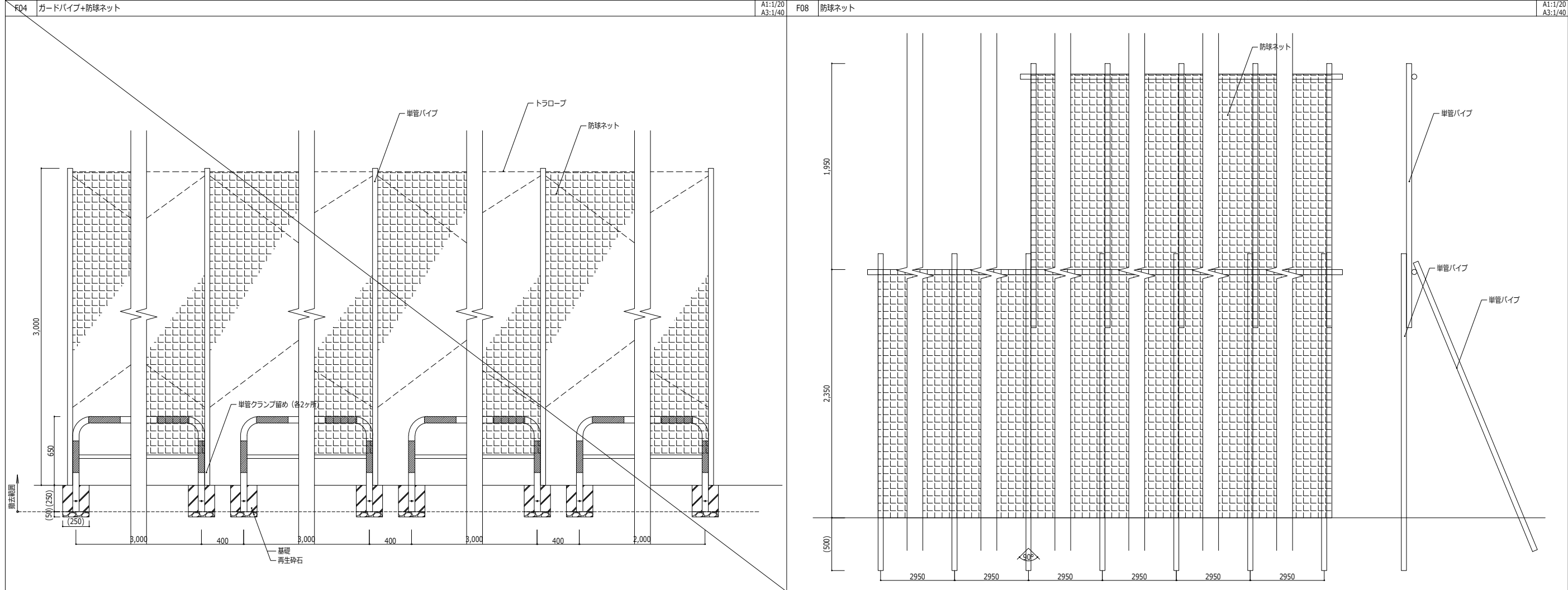
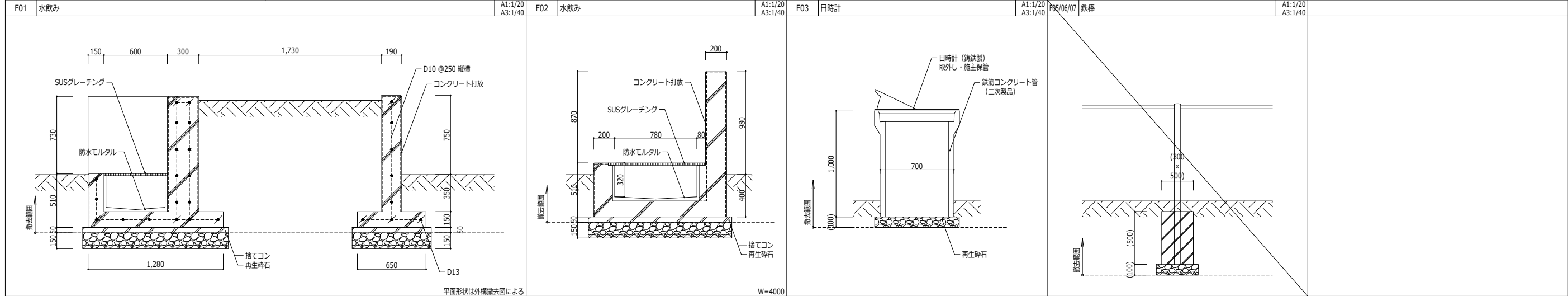
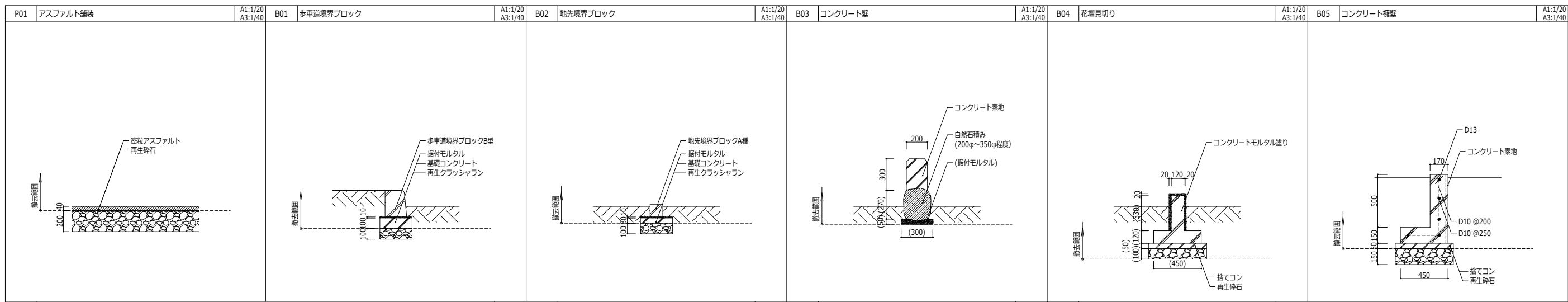
発行日 2026.03.31
図面名称

外構撤去図 (2)

縮尺 A1:1/400, A3:1/800

A-143
最終図
2026.03.31





代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

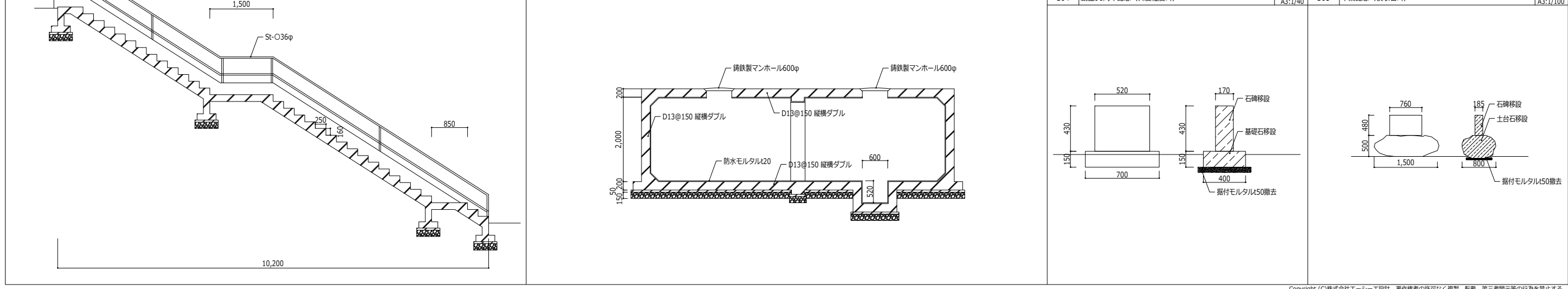
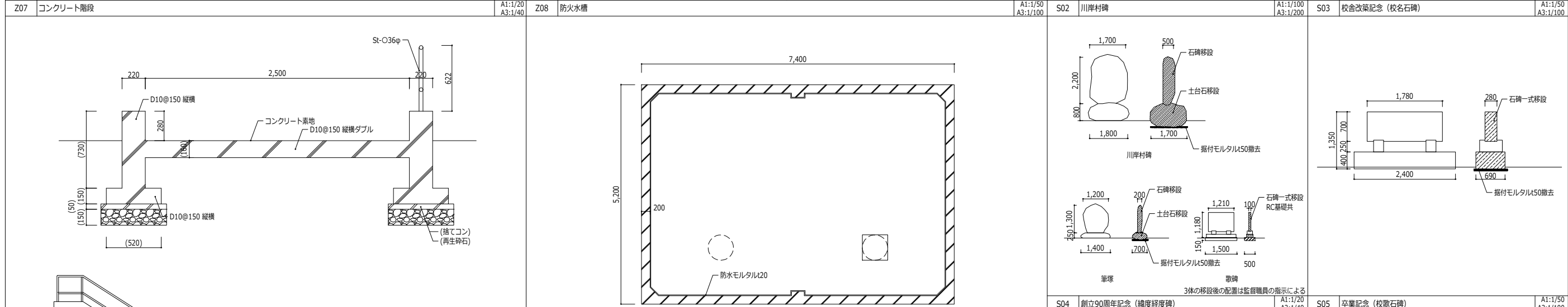
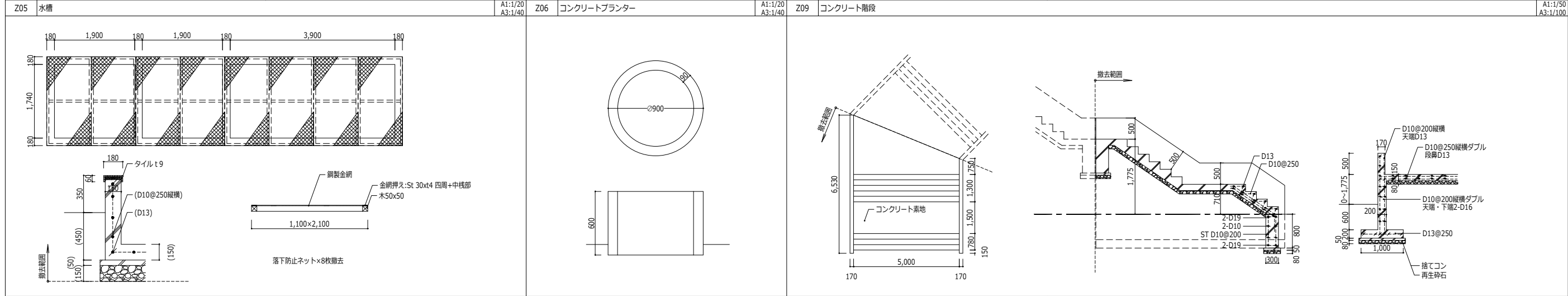
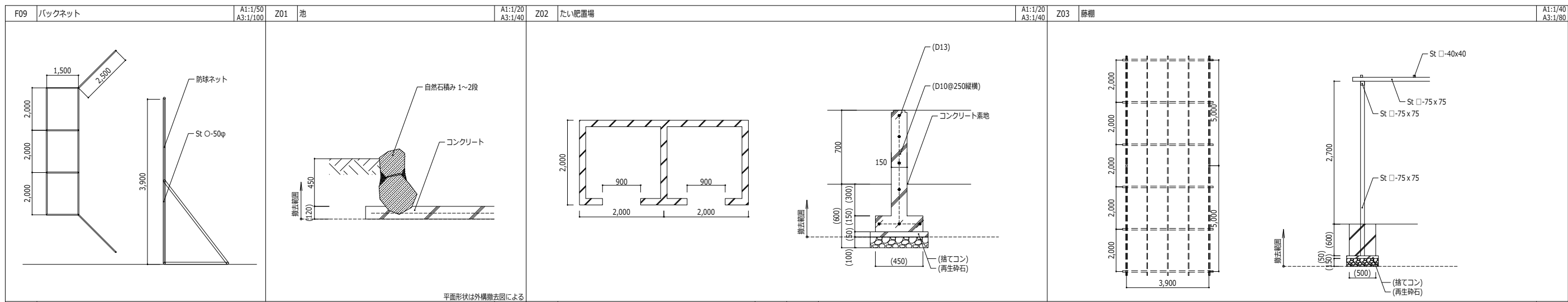
Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称
外構撤去詳細図 (1)

縮尺 図示

A-144

最終図
2026.03.31



代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第307544号 海瀬務
一級建築士登録 第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

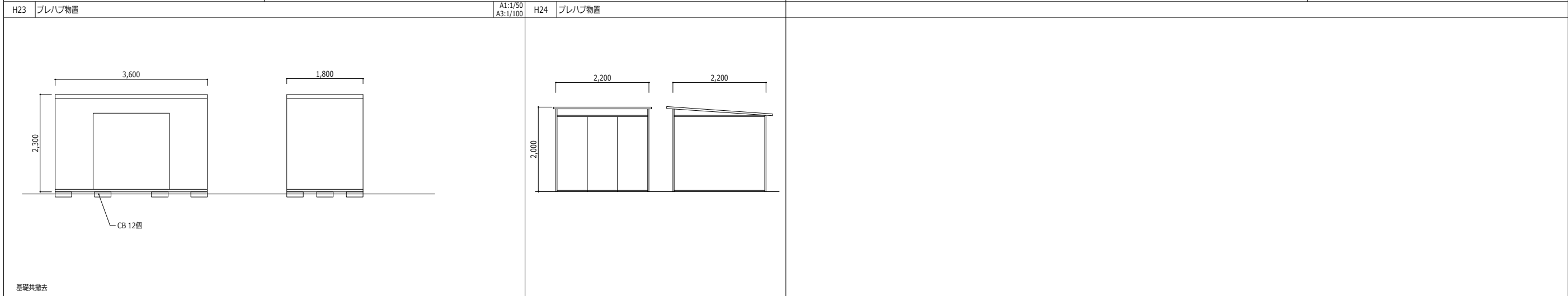
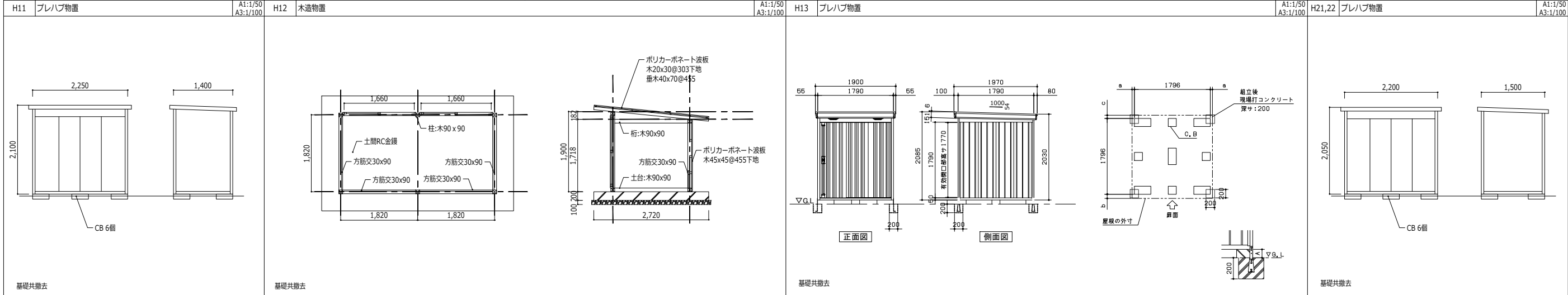
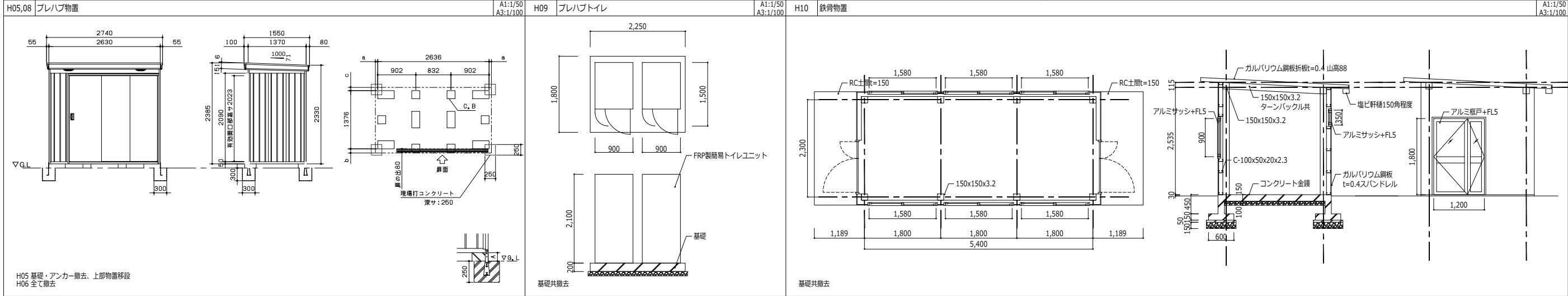
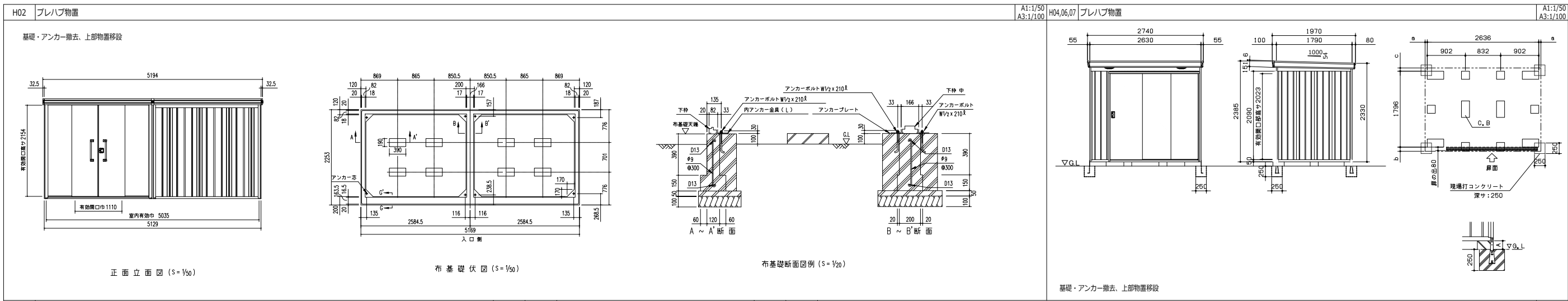
Job No. 24078
工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称 外構撤去詳細図 (2)

縮尺 図示

A-145

最終図
2026.03.31



代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

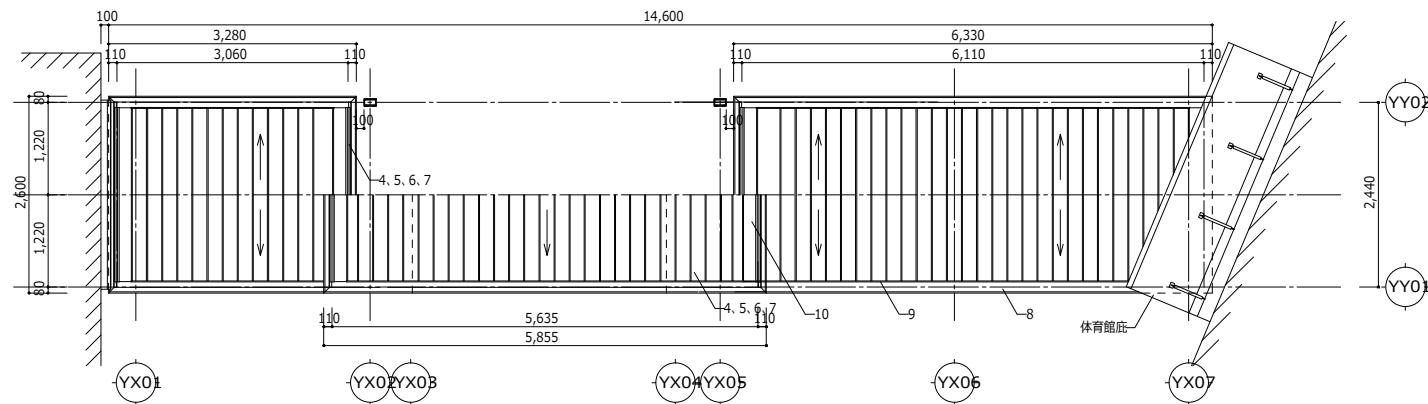
検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

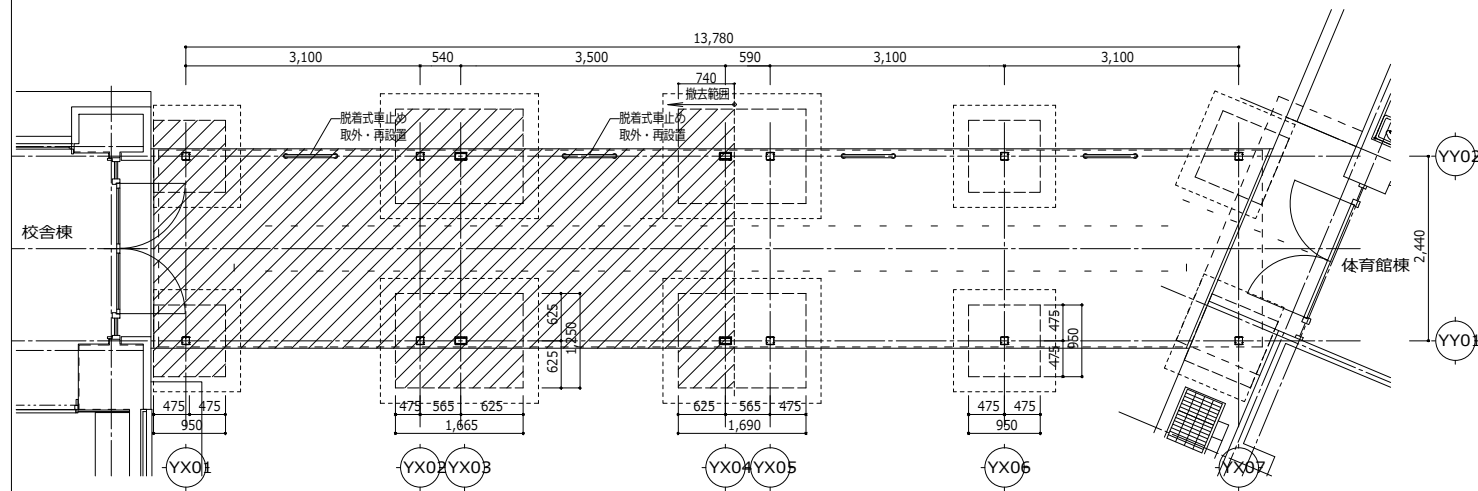
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称
外構撤去詳細図 (3)

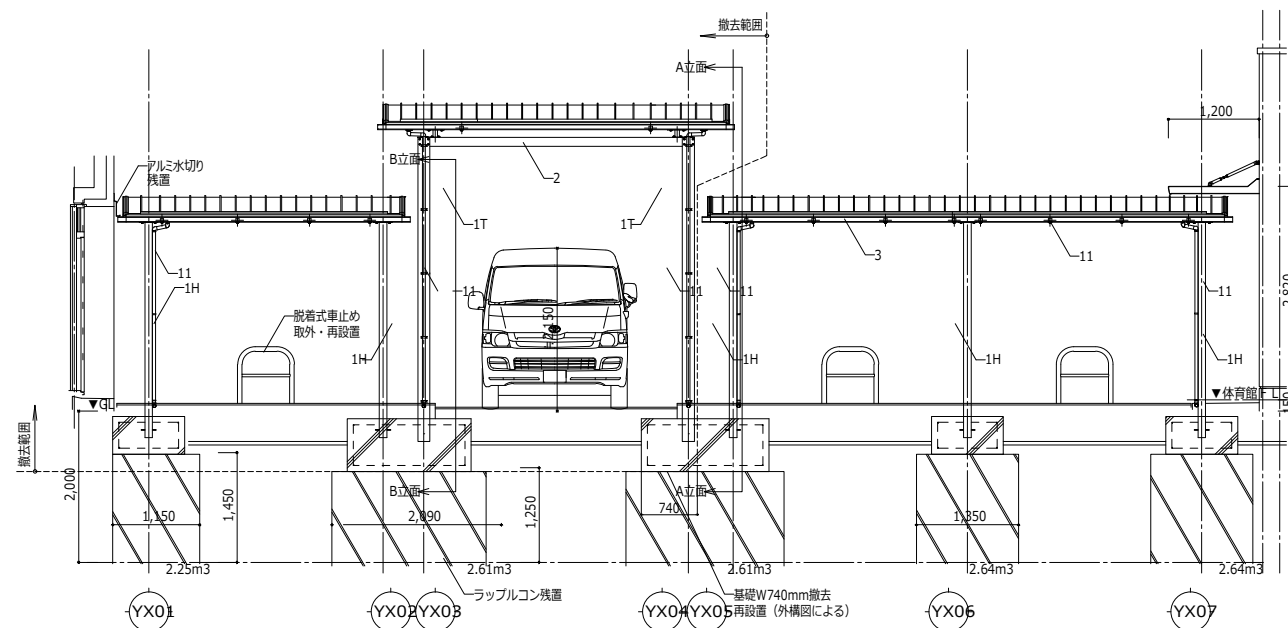


屋根伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100



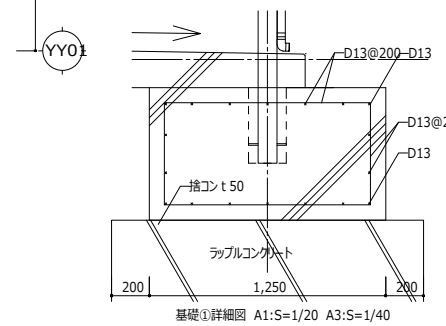
平面図・基礎伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---基礎を示す。
---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。

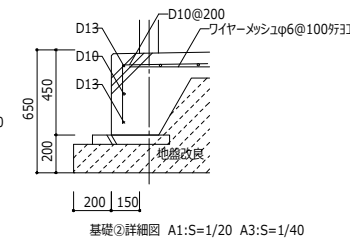


立面図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

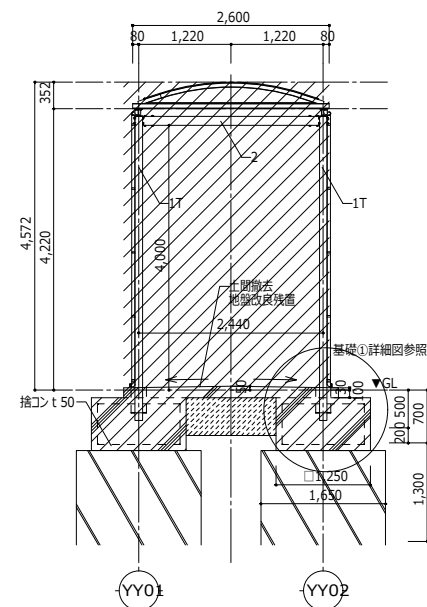
---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3



基礎①詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40

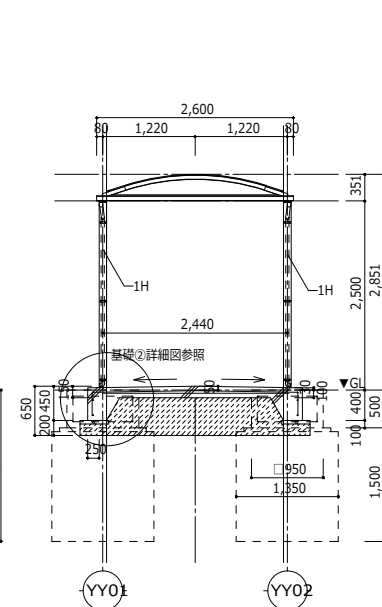


基礎②詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40



A立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3



B立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3

主要部材	寸法	仕様 (材質・塗装)
①H 支柱W	W100*D100 (t1.5)	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
①T U 支柱	W100*D160 補強パイプ (STKR□75*150*t1.5)	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
② T U 梁・T U 補強梁	W70*H120	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
③ A 正面梁W	補強材 (桁スリーブ)	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
④ 正面水切		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑤ フロント化粧材		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑥ A 正面梁 S		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑦ 屋根押え		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑧ 桁側面カバー		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑨ 屋根側面カバー		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑩ 形材屋根中間		陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑪ 縦樋	φ42	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー
⑫ 補強梁	W45*D45	陽極酸化・塗装複合皮膜アルミ押出形材 ステンカラー

※H支柱は桁下2500h・TU支柱は梁下4000hを出荷、現場対応にて長さ調整のこと。
※リカトループAH+道路用ユニット (積層1500N/m仕様) 同等品
※国土交通省告示408-409-410号

代表: 株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第307544号 海瀬務
一級建築士登録
第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

外構撤去詳細図 (3)

縮尺 図示

A-147

最終図
2026.03.31

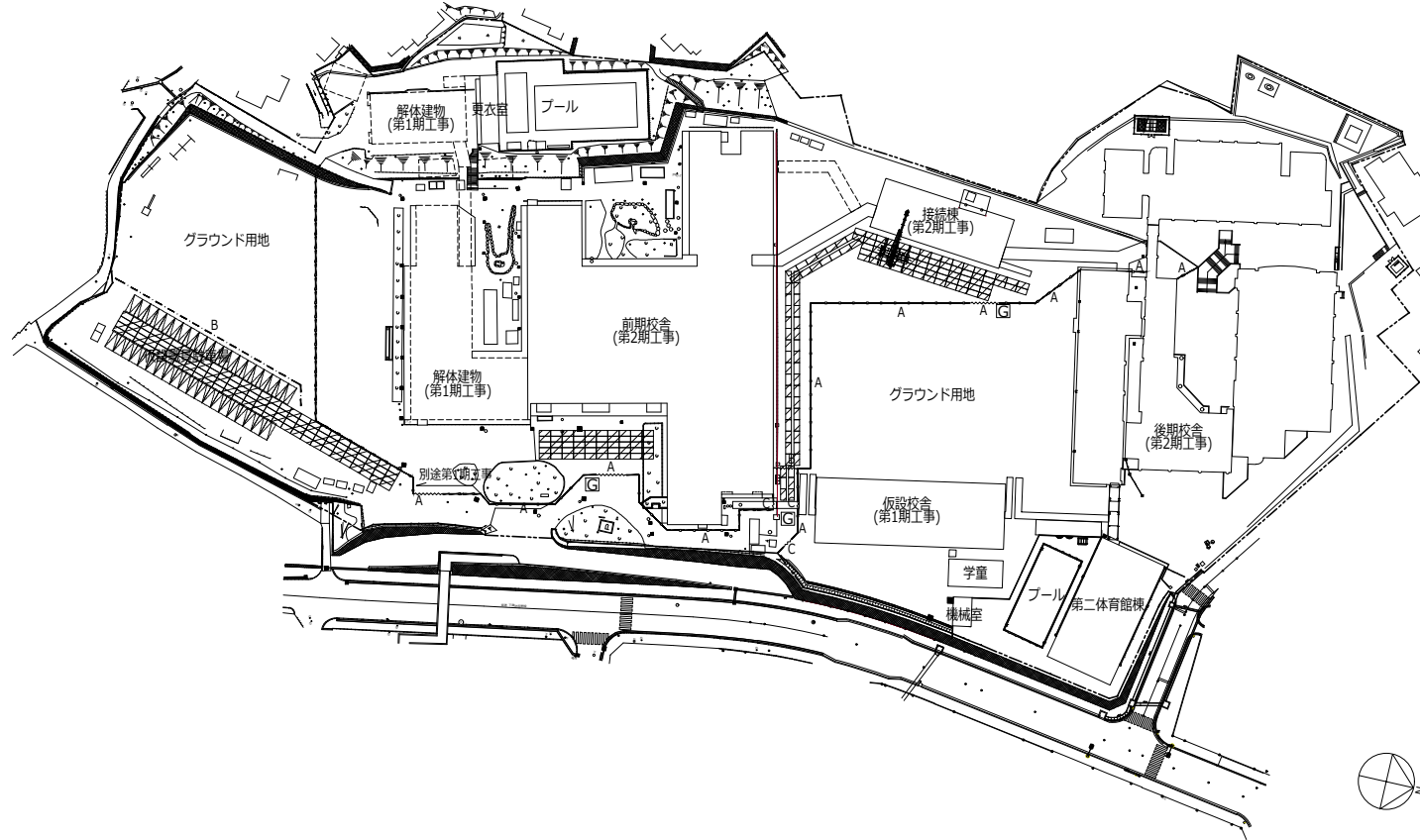
概略工程表

期	種別	R7.12												R9.1											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第2期 (長寿命化大規模改修)	建築主体工事	調査・準備工事	仮設校舎 引越	外壁洗浄・アスベスト処理	内部解体・アスベスト処理	建具撤去	サッシ取付・外部仕上	外構工事	給食室解体・外部仕上																
	電気設備工事																								
	機械設備工事																								
第2期 (接続棟建設)	建築主体工事		調査・準備工事	根切・地盤・基礎躯体	前期中校舎 解体	床躯体・屋上防水	外壁	建具・断熱	内部仕上	既存接続部 仕上	検査	引越													
	電気設備工事																								
	機械設備工事																								
第3期 (幼保連携型認定こども園建設)	建築主体工事																								
	電気設備工事																								
	機械設備工事																								

フェーズ①

2026年1月～2026年7月 (7ヶ月)

- 第1期 (既存校舎解体)
既存校舎解体
- 第2期 (長寿命化大規模改修)
外構撤去・長寿命化改修
- 第2期 (接続棟建設)
外構撤去・接続棟建設
- 第3期 (認定こども園建設)
着工前



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
A	仮囲いA	148m	95m		カラー万能鋼板(白) H3000
B	仮囲いB		63m		A型バリケード 単管2m共
A	キャスターゲートA	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=8m
B	キャスターゲートB	1ヶ所			パネルキャスターゲートH2000 W=6m
C	キャスターゲートC	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板	122枚	162枚		t=22 1524x3048
G	交通誘導員	165人日	190人日		交通誘導員(B)

- 特記事項
- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
 - 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬入時間は監督職員と協議の上決定する。
 - 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
 - やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
 - 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。
 - 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
 - また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
 - 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。

代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

仮設計画図 (1)

縮尺 A1:1/1000,A3:1/2000

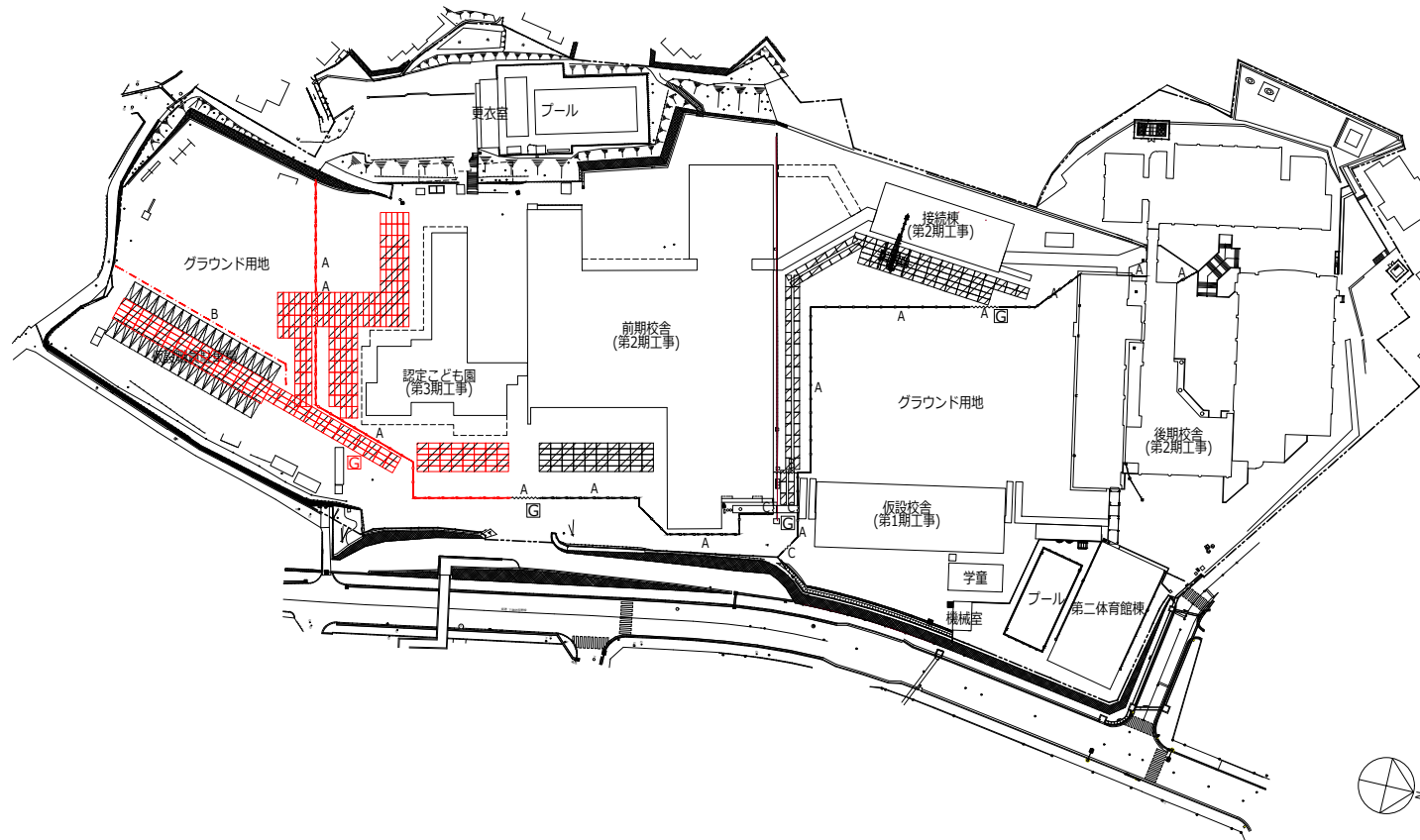
A-148

最終図
2026.03.31

フェーズ②

2026年8月～2027年2月 (7ヶ月)

- 第1期 (既存校舎解体)
休工
- 第2期 (長寿命化大規模改修)
長寿命化改修・外構工事
- 第2期 (接続棟建設)
接続棟建設・外構工事
- 第3期 (認定こども園建設)
園舎建設

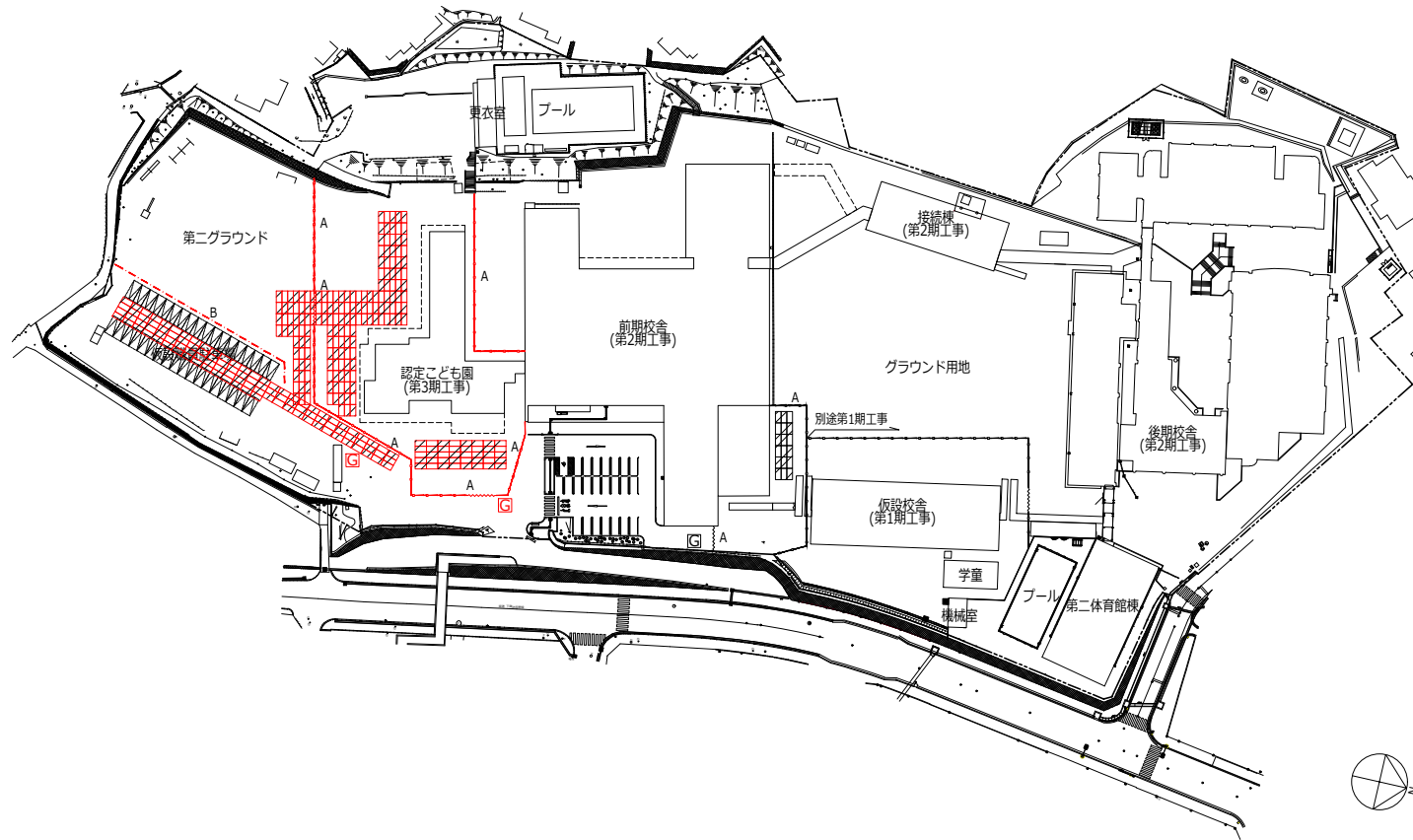


凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
A	仮囲いA	148m	75m	120m	カラー万能鋼板(白) H3000
B	仮囲いB			60m	A型バリケード 単管2m共
A	キャスターゲートA	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	パネルキャスターゲートH2000 W=8m
B	キャスターゲートB	1ヶ所			パネルキャスターゲートH2000 W=6m
C	キャスターゲートC	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板	122枚	162枚	305枚	t=22 1524x3048
G	交通誘導員	165人日	140人日	140人日	交通誘導員(B)

- 特記事項
- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
 - 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬入時間は監督職員と協議の上決定する。
 - 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
 - やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
 - 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。
 - 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
 - また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
 - 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。

フェーズ③
2027年3月～2027年6月 (4ヶ月)

- 第1期 (既存校舎解体)
仮設校舎解体
- 第2期 (長寿命化大規模改修)
給食室解体・解体部分改修工事・外構工事
- 第2期 (接続棟建設)
給食室解体・駐車場整備
- 第3期 (認定こども園建設)
園舎建設・外構工事



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
A	仮囲いA	60m	200m		カラー万能鋼板 (白) H3000
B	仮囲いB	63m	60m		A型バリケード 単管2m共
A	キャストゲートA	1ヶ所	2ヶ所		パネルキャストゲートH2000 W=8m
B	キャストゲートB				パネルキャストゲートH2000 W=6m
C	キャストゲートC				パネルキャストゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板	130枚	305枚		t=22 1524x3048
G	交通誘導員	40人日	160人日		交通誘導員 (B)

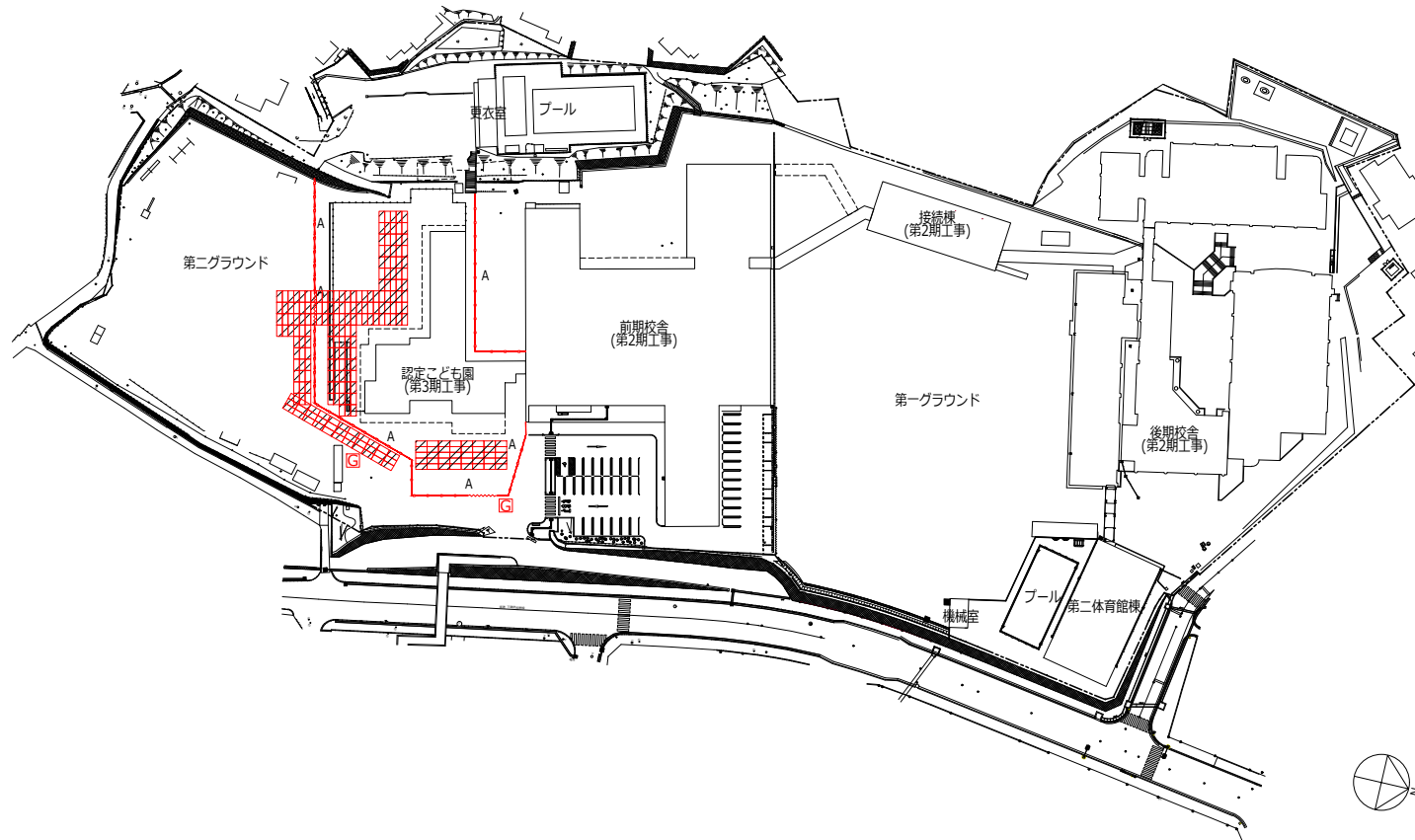
■特記事項

- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
- 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。
- 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
- やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
- 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配産事項については別途監督職員と協議の上決定する。
- 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
- また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
- 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。



フェーズ④
2027年7月～2027年8月 (2ヶ月)

- 第1期 (既存校舎解体)
竣工・引き渡し後
- 第2期 (長寿命化大規模改修)
竣工・引き渡し後
- 第2期 (接続棟建設)
竣工・引き渡し後
- 第3期 (認定こども園建設)
園舎建設・外構工事



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
A	仮囲いA			200m	カラー万能鋼板 (白) H3000
B	仮囲いB				A型バリケード 単管2m共
A	キャストゲートA			2ヶ所	パネルキャストゲートH2000 W=8m
B	キャストゲートB				パネルキャストゲートH2000 W=6m
C	キャストゲートC				パネルキャストゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板			239枚	t=22 1524x3048
G	交通誘導員			80人日	交通誘導員 (B)

■特記事項

- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
- 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。
- 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
- やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
- 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配産事項については別途監督職員と協議の上決定する。
- 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
- また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
- 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

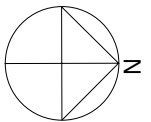
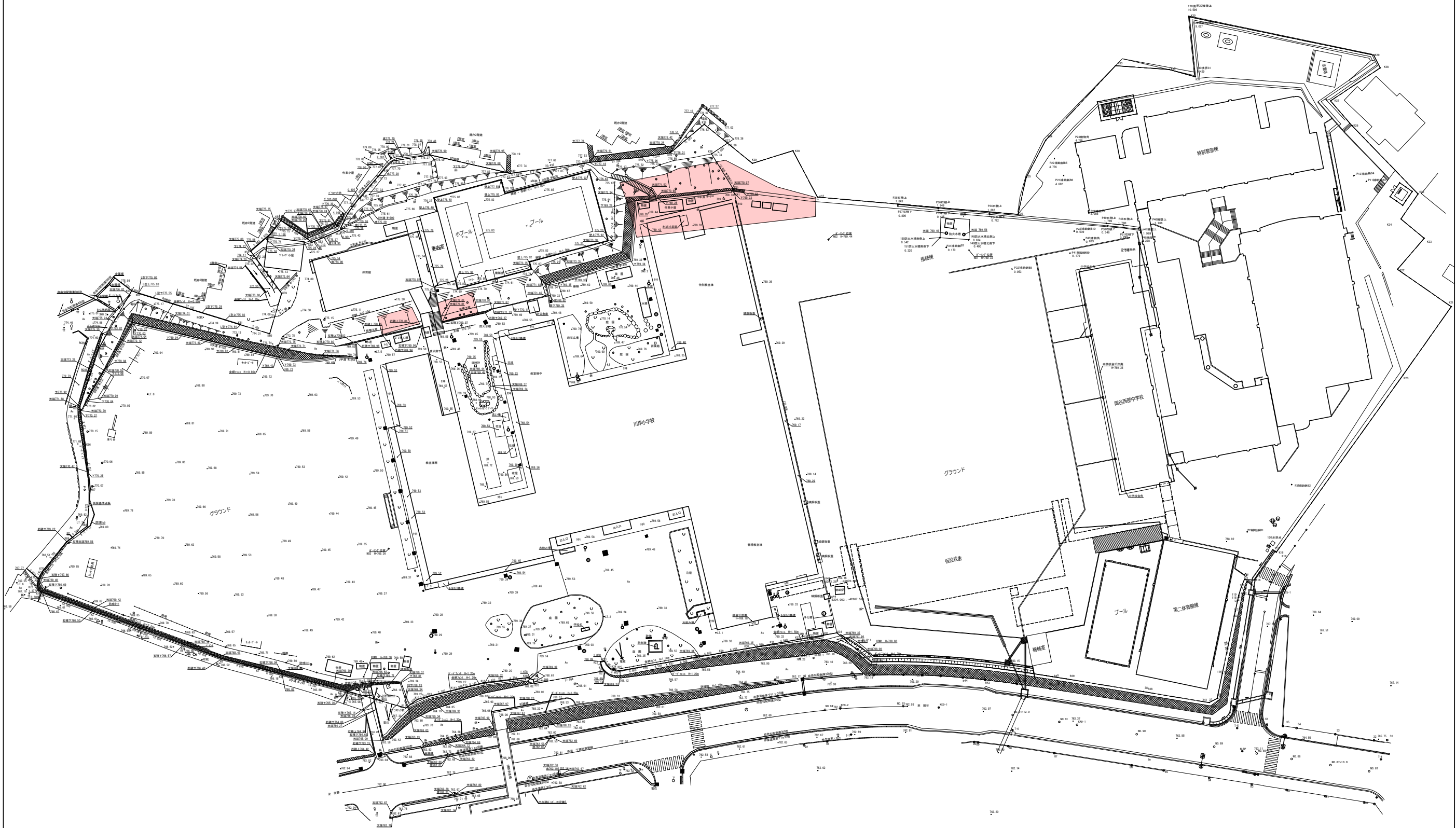
発行日 2026.03.31
図面名称

仮設計画図 (2)

縮尺 A1:1/1000,A3:1/2000

A-149





代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

敷地現況図

縮尺A1:1/500,A3:1/1000

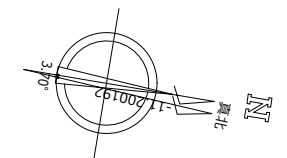
A-150



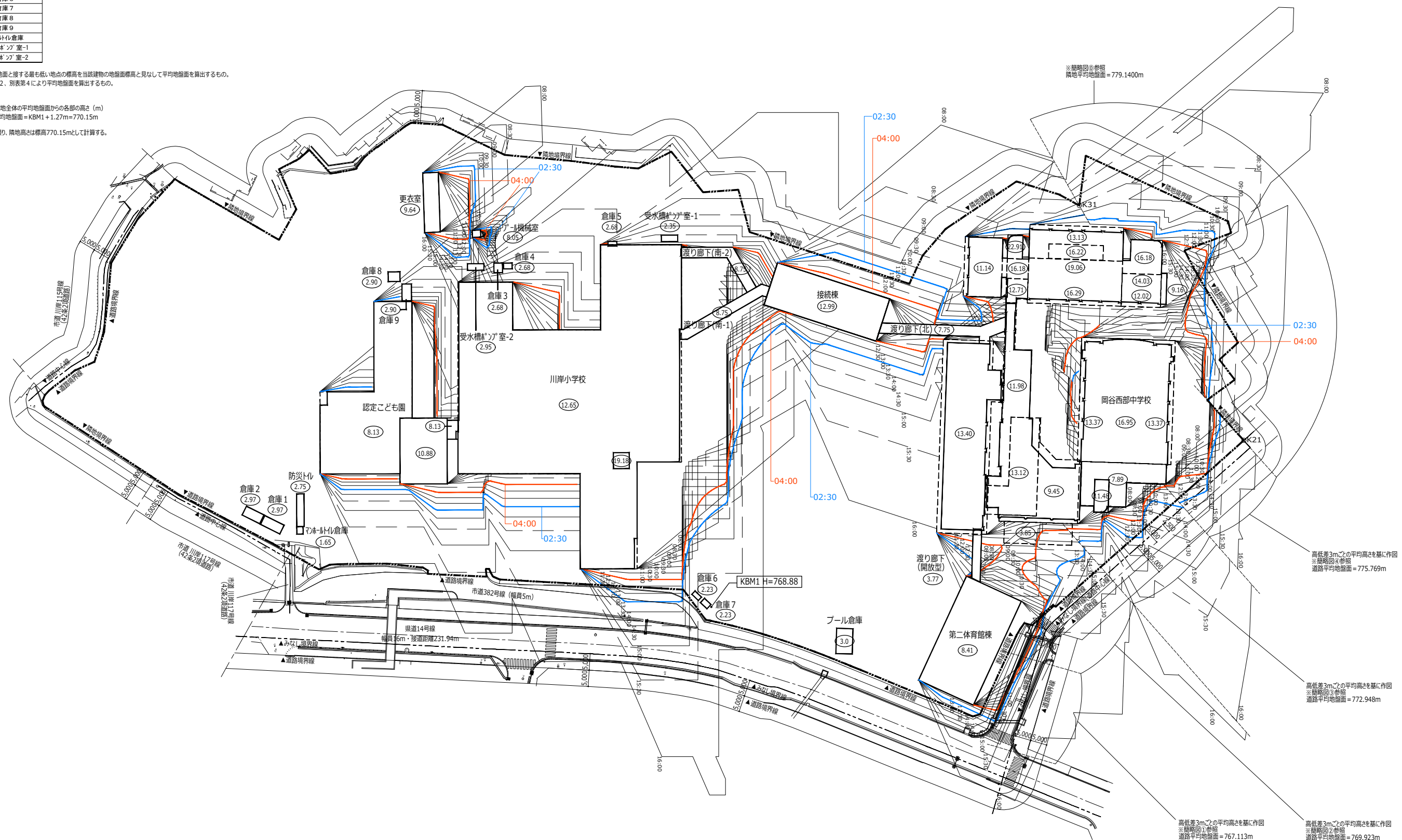
棟名
川岸小学校
幼保連携型認定こども園
接続棟
渡り廊下(北)
渡り廊下(南-1)
渡り廊下(南-2)
岡谷西部中学校
第二体育館棟
機械室
渡り廊下(開放型)
ア-1更衣室
ア-1機械室
防災トイレ
倉庫1
倉庫2
倉庫3
倉庫4
倉庫5
倉庫6
倉庫7
倉庫8
倉庫9
マホ-トル倉庫
受水槽*ア*室-1
受水槽*ア*室-2

時刻	方位角[度]	倍率	X	Y
8:00	-53.3242	7.2461	-4.6977	5.5170
8:30	-48.2158	4.4901	-2.5950	3.6643
9:00	-42.6802	3.2959	-1.6365	2.8609
9:30	-36.6714	2.6393	-1.0634	2.4155
10:00	-30.1639	2.2363	-0.6633	2.1356
10:30	-23.1650	1.9783	-0.3521	1.9467
11:00	-15.7270	1.8162	-0.0892	1.8140
11:30	-7.9544	1.7263	0.1491	1.7198
12:00	0.0000	1.6974	0.3792	1.6545
12:30	7.9544	1.7263	0.6148	1.6131
13:00	15.7270	1.8162	0.8704	1.5940
13:30	23.1650	1.9783	1.1649	1.5989
14:00	30.1639	2.2363	1.5272	1.6335
14:30	36.6714	2.6393	2.0093	1.7112
15:00	42.6802	3.2959	2.7192	1.8625
15:30	48.2158	4.4901	3.9319	2.1682
16:00	53.3242	7.2461	6.6316	2.9201

節気/日付	冬至[12月22日頃]
時刻法	真太陽時
緯度	36度02分48秒
経度	138度01分46秒
赤緯	-23度27分00秒
測定開始時間	8時00分
測定終了時間	16時00分



I : 各建物が地面と接する最も低い地点の標高を当該建物の地盤面標高と見なして平均地盤面を算出するもの。
 II : 法56条の2、別表第4により平均地盤面を算出するもの。
 凡例
 (S.00) ... 敷地全体の平均地盤面からの各部の高さ (m)
 平均地盤面 = KBM1 + 1.27m = 770.15m
 ※特記なき限り、隣地高さは標高770.15mとして計算する。



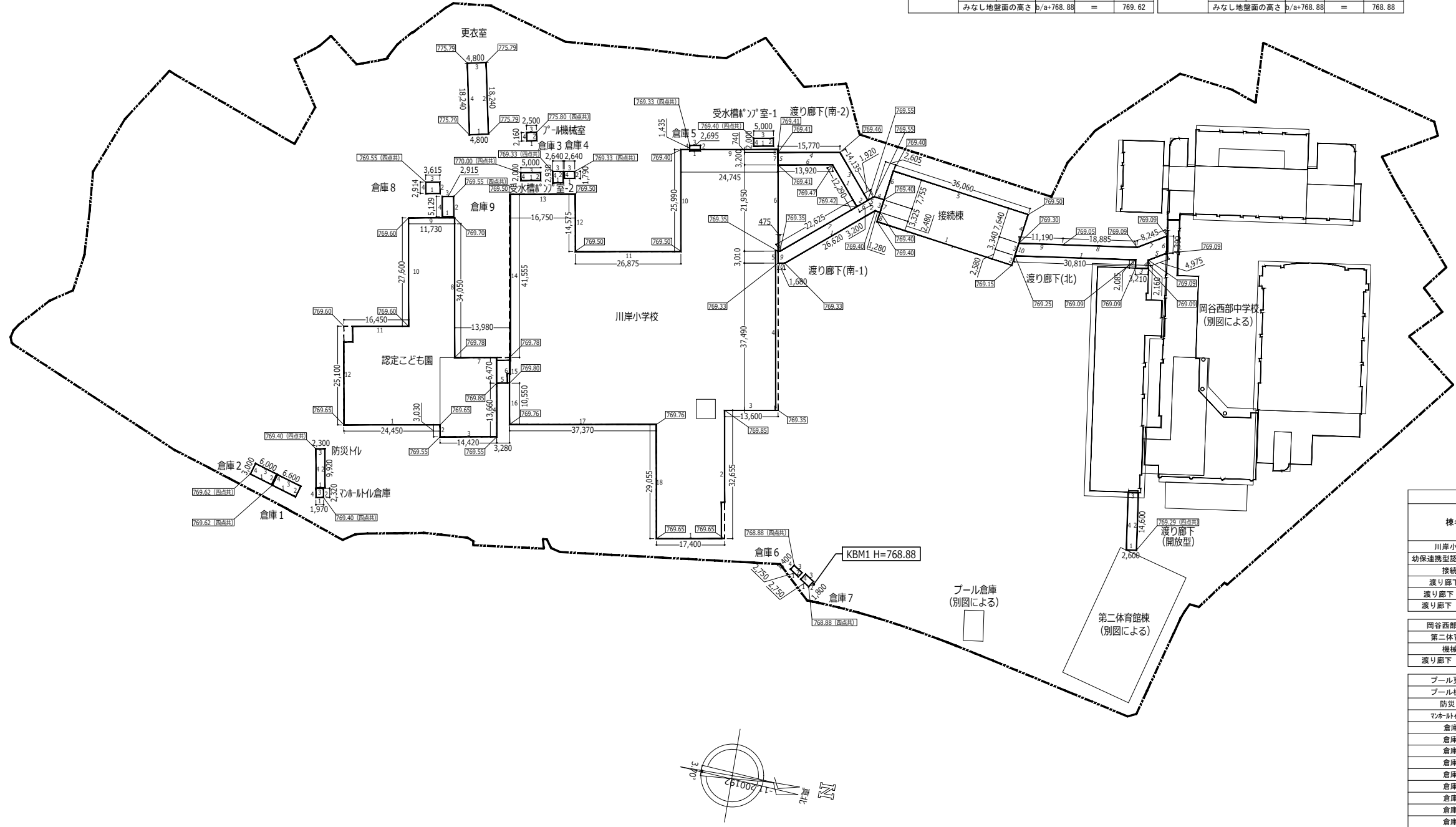
代表：株式会社エーシーエ設計
 一級建築士事務所登録
 (長野) M第 77312 号
 管理建築士 一級建築士登録
 第222107号 湯本桂司
 設計者
 一級建築士登録
 第 307544 号 海瀬 秀
 一級建築士登録
 第 294614 号 矢崎 和夫
 検査者 湯本桂司
 担当 浜大氣
 担当

Job No. 24078
 工事名
 岡谷市川岸学園整備 第3期
 (幼保連携型認定こども園建設)
 建築主体工事
 発行日 2026.03.31
 図面名称

日影図 (1)
 縮尺 A1:1/300, A3:1/600
 A-151
 最終図
 2026.03.31

各棟の地盤面算定表					各棟の地盤面算定表					各棟の地盤面算定表					各棟の地盤面算定表					各棟の地盤面算定表					各棟の地盤面算定表																
棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]	棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]	棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]	棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]	棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]	棟名	辺番号	建物周長 [m]	KBM1からの始点・高さ [m]	KBM1からの終点高さ [m]	面積 [㎡]						
川岸小学校	1	17.400	(0.45)	(0.45)	7.830000	幼保連携型認定こども園	1	24.450	(0.67)	(0.67)	16.38150	渡り廊下(北)	1	30.810	(0.18)	(0.18)	5.54580	プール機械室	1	12.290	(0.53)	(0.53)	6.51370	プール更衣室	1	2.5	6.92	6.92	17.30000	倉庫3	1	2.640	0.45	0.45	1.18800	倉庫8	1	3.615	0.67	0.67	2.42205

凡例
(0.00) : 各建物の地盤面・敷地全体の平均地盤面の算定のため、実際の標高ではなく当該建物が地面と接する最も低い地点の標高を採用する点。



敷地全体における平均地盤面算定表			
棟名	建物周長 [m]	KBM1からの高さ [m]	面積 [㎡]
川岸小学校	363.980	0.45	163.79100
幼保連携型認定こども園	194.220	0.67	130.12740
接続棟	99.240	0.27	26.79480
渡り廊下(北)	89.290	0.18	16.07220
渡り廊下(南-1)	66.740	0.45	30.03300
渡り廊下(南-2)	62.515	0.53	33.13295
岡谷西部中学校	555.219	2.49	1382.49531
第二体育館棟	112.840	0.41	46.26440
機械室	32.930	0.47	15.47710
渡り廊下(開放型)	34.400	0.41	14.10400
プール更衣室	46.080	6.91	318.41280
プール機械室	9.320	6.92	64.49440
防炎トイレ	24.440	0.52	12.70880
ヴォーティカル倉庫	8.580	0.52	4.46160
倉庫1	19.200	0.74	14.20800
倉庫2	18.000	0.74	13.32000
倉庫3	11.140	0.45	5.01300
倉庫4	8.860	0.45	3.98700
倉庫5	8.260	0.45	3.71700
倉庫6	8.300	0	0.00000
倉庫7	9.100	0	0.00000
倉庫8	13.060	0.67	8.75020
倉庫9	16.090	0.67	10.78030
受水槽ポンプ室-1	14.000	0.52	7.28000
受水槽ポンプ室-2	14.000	1.12	15.68000
合計	1839.804		2341.10526
全面積÷全周長			1.272
=KBM1からの平均地盤面高さ [m]			1.27

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬 秀
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎 和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

Job No. 24078
工事名 岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称 日影図 (2)

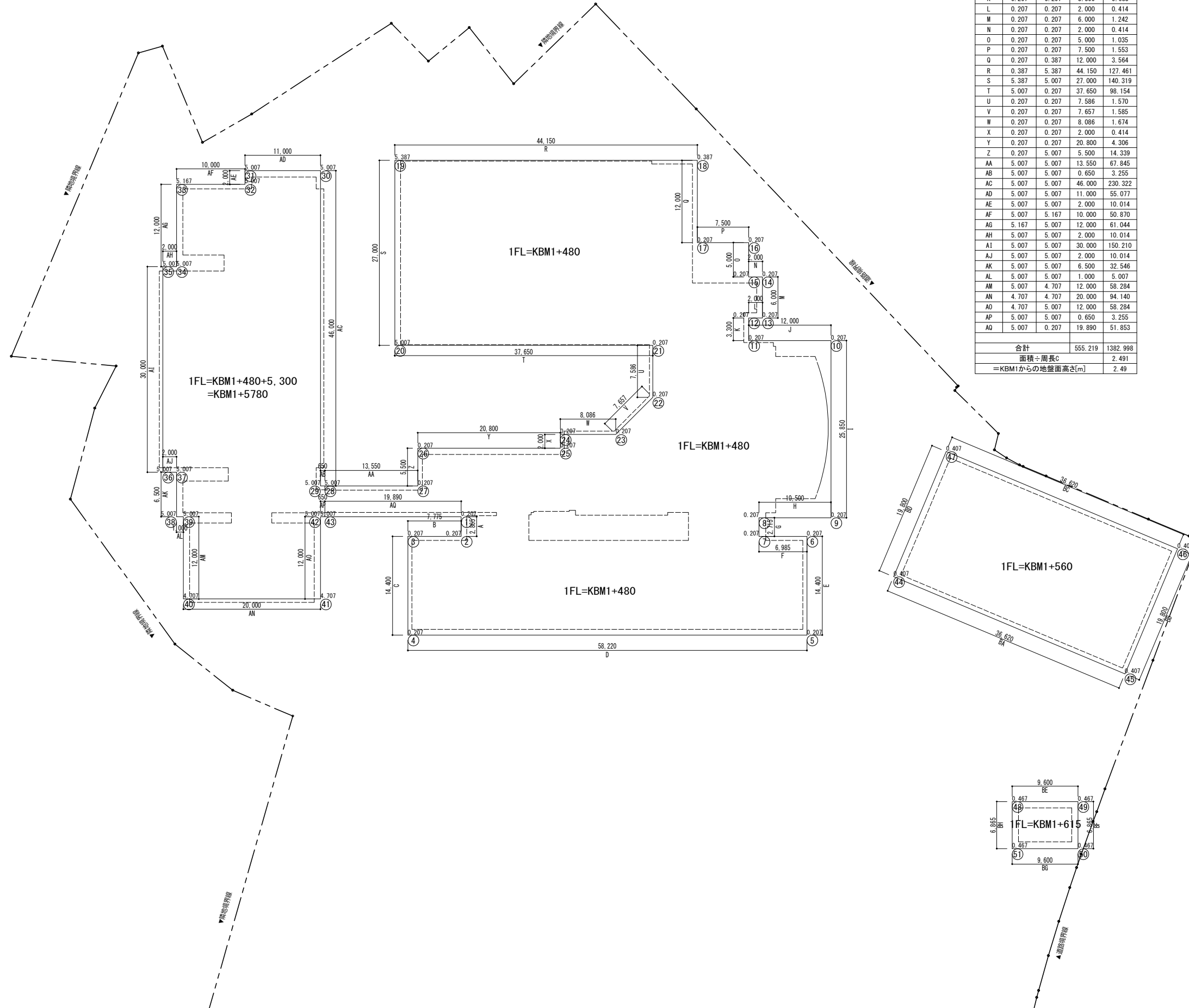
縮尺 A1:1/300, A3:1/600

A-152

辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	周長c [m]	面積 (a+b) ×c/2 [㎡]
A	0.207	0.207	2.865	0.593
B	0.207	0.207	7.775	1.609
C	0.207	0.207	14.400	2.981
D	0.207	0.207	58.220	12.052
E	0.207	0.207	14.440	2.989
F	0.207	0.207	6.985	1.446
G	0.207	0.207	2.715	0.562
H	0.207	0.207	10.500	2.174
I	0.207	0.207	25.850	5.351
J	0.207	0.207	12.000	2.484
K	0.207	0.207	3.300	0.683
L	0.207	0.207	2.000	0.414
M	0.207	0.207	6.000	1.242
N	0.207	0.207	2.000	0.414
O	0.207	0.207	5.000	1.035
P	0.207	0.207	7.500	1.553
Q	0.207	0.387	12.000	3.564
R	0.387	5.387	44.150	127.461
S	5.387	5.007	27.000	140.319
T	5.007	0.207	37.650	98.154
U	0.207	0.207	7.586	1.570
V	0.207	0.207	7.657	1.585
W	0.207	0.207	8.086	1.674
X	0.207	0.207	2.000	0.414
Y	0.207	0.207	20.800	4.306
Z	0.207	5.007	5.500	14.339
AA	5.007	5.007	13.550	67.845
AB	5.007	5.007	0.650	3.255
AC	5.007	5.007	46.000	230.322
AD	5.007	5.007	11.000	55.077
AE	5.007	5.007	2.000	10.014
AF	5.007	5.167	10.000	50.870
AG	5.167	5.007	12.000	61.044
AH	5.007	5.007	2.000	10.014
AI	5.007	5.007	30.000	150.210
AJ	5.007	5.007	2.000	10.014
AK	5.007	5.007	6.500	32.546
AL	5.007	5.007	1.000	5.007
AM	5.007	4.707	12.000	58.284
AN	4.707	4.707	20.000	94.140
AO	4.707	5.007	12.000	58.284
AP	5.007	5.007	0.650	3.255
AQ	5.007	0.207	19.890	51.853
合計			555.219	1382.998
面積÷周長C				2.491
=KBM1からの地盤面高さ[m]				2.49

辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	周長c [m]	面積 (a+b) ×c/2 [㎡]
BA	0.407	0.407	36.620	14.904
BB	0.407	0.407	19.800	8.059
BC	0.407	0.407	36.620	14.904
BD	0.407	0.407	19.800	8.059
合計			112.840	45.926
面積÷周長C				0.407
=KBM1からの地盤面高さ[m]				0.41

辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	周長c [m]	面積 (a+b) ×c/2 [㎡]
BE	0.467	0.467	9.600	4.483
BF	0.467	0.467	6.865	3.206
BG	0.467	0.467	9.600	4.483
BH	0.467	0.467	6.865	3.206
合計			32.930	15.378
面積÷周長C				0.467
=KBM1からの地盤面高さ[m]				0.47



代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司

担当 浜大氣

担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

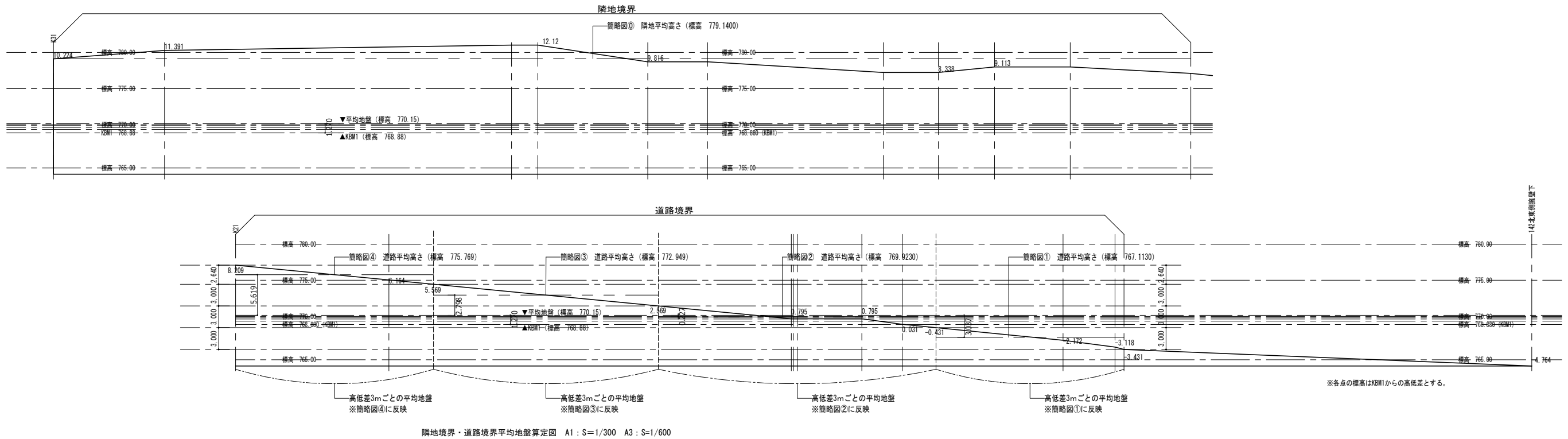
発行日 2026.03.31
図面名称

日影図 (3)

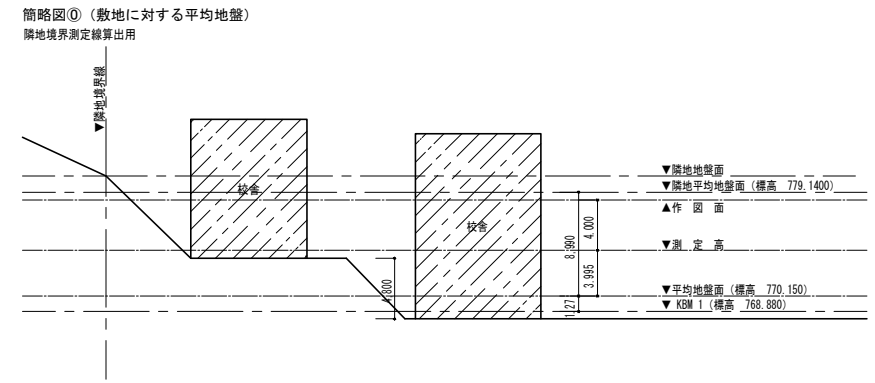
縮尺 A1:1/150,A3:1/300

A-153

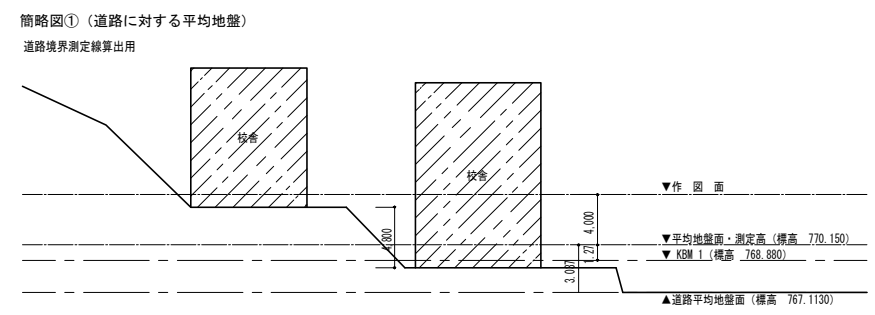
最終図
2026.03.31



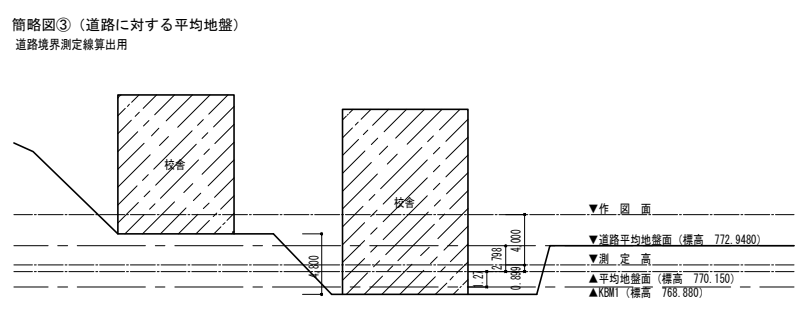
第一種住居地域
平均地盤からの測定高さ 4m



隣地平均地盤面=779.1400m
平均地盤面=770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 779.1400-770.150 = 8.990m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
 $h = (H-1)/2 = (8.990m - 1) / 2 = 3.995m$
よって、地盤面は平均地盤面より3.995m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+3.995m=5.265m高い位置にあるとする

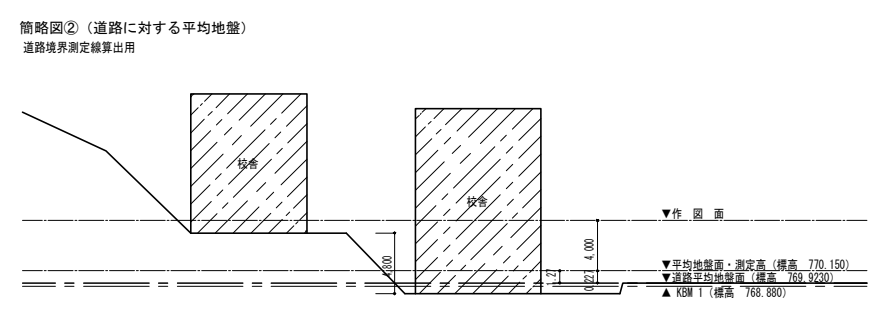


道路平均地盤面=767.1130m
平均地盤面=770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(道路平均地盤面-平均地盤面) = 767.1130-770.150 = -3.037m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
適応無し
よって、地盤面は平均地盤面からの計測となる。

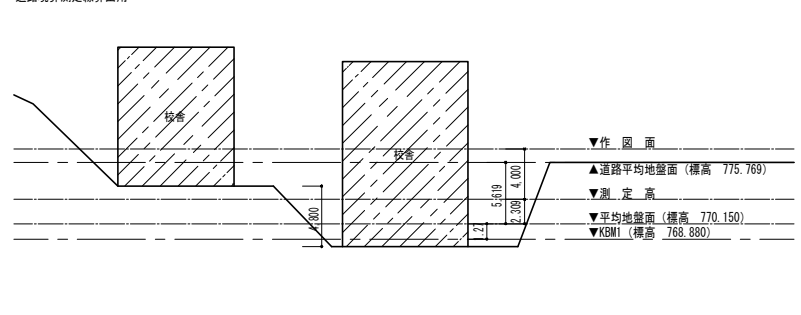


簡略図③ (道路に対する平均地盤)
道路境界測定線算出用

道路平均地盤面=772.949m
平均地盤面=770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 772.949-770.150 = 2.798m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
 $h = (H-1)/2 = (2.798m - 1) / 2 = 0.899m$
よって、地盤面は平均地盤面より0.899m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+0.899m=2.169m高い位置にあるとする



道路平均地盤面=769.9230m
平均地盤面=770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(道路平均地盤面-平均地盤面) = 769.9230-770.150 = -0.227m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
適応無し
よって、地盤面は平均地盤面からの計測となる。



道路平均地盤面=775.769m
平均地盤面=770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 775.769-770.150 = 5.619m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
 $h = (H-1)/2 = (5.619m - 1) / 2 = 2.3095m$
よって、地盤面は平均地盤面より2.3095m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+2.3095m=3.5795m高い位置にあるとする

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務
一級建築士登録
第 294614 号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司
担当 浜大氣
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備 第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事
発行日 2026.03.31
図面名称

日影図 (4)
縮尺 A1:1/300,A3:1/600

	室名	床面積	採光							換気							排煙										
			割合	必要	建具	有効	数量	補正	合計	判定	必要(1/20)	建具	有効	数量	合計	判定	必要(1/50)	建具	有効	数量	合計	判定					
1階	0-1歳児保育室	90.52	5	18.1040	AW-7	4.4460	2	3	26.6760	OK	4.5260	AW-7	2.2230	2	4.4460	OK	1.8104	AW-7	1.0260	2	2.0520	OK					
				AW-10	1.4300	1	3	4.2900					AW-10	0.7150	1			0.7150			AW-10		0.3300	1	0.3300		
				合計			30.9660					合計			5.1610					合計			2.3820				
	保育室(1)	28.18	5	5.6360	AW-5	6.7257	1	3	20.1771	OK	1.4090	AW-5	3.9057	1	3.9057	OK	0.5636	AW-5	1.0857	1	1.0857	OK					
	保育室(2)	28.18	5	5.6360	AW-5	6.7257	1	3	20.1771	OK	1.4090	AW-5	3.9057	1	3.9057	OK	0.5636	AW-5	1.0857	1	1.0857	OK					
	保育室(3)	36.40	5	7.2800	AW-7	4.4460	1	3	13.3380	OK	1.8200	AW-7	2.2230	1	2.2230	OK	0.7280	AW-7	1.0260	1	1.0260	OK					
	保育室(4)	36.40	5	7.2800	AW-7	4.4460	1	3	13.3380	OK	1.8200	AW-7	2.2230	1	2.2230	OK	0.7280	AW-7	1.0260	1	1.0260	OK					
	保育室(5)	49.35	5	9.8700	AW-7	4.4460	1	3	13.3380	OK	機械換気設備							0.9870	AW-7	1.0260	1	1.0260	OK				
	保育室(6)	49.14	5	9.8280	AW-4	8.1567	1	3	24.4701	OK	2.4570	AW-4	4.7367	1	4.7367	OK	0.9828	AW-4	1.3167	1	1.3167	OK					
						AW-7	4.4460	1	3			13.3380			AW-7			2.2230	1	2.2230				AW-7	1.0260	1	1.0260
					合計			37.8081	合計			6.9597	合計					2.3427									
	事務室 医務	56.54	7	8.0772	AW-6	4.0545	1	3	12.1635	OK	2.827	AW-6	2.3545	1	2.3545	OK	1.1308	AW-6	0.6545	1	0.6545	OK					
						AW-9	2.2100	1	3			6.6300			AW-9			1.1050	1	1.1050				AW-9	0.5100	1	0.5100
合計					18.7935	合計			4.1745			合計			1.4945												
応接室	13.43	7	1.9186	AW-8	2.8860	1	3	8.6580	OK	0.6715	AW-8	1.4430	1	1.4430	OK	0.2686	AW-8	0.6660	1	0.6660	OK						
調理室	88.04	7	12.5772	AW-12	2.2200	2	3	13.3200	OK	機械換気設備							平成12年建告第1436号-4-へ(5)適用										
休憩室(1)	13.34	7	1.9058	AW-8	2.8860	1	3	8.6580	OK	0.6670	AW-8	1.4430	1	1.4430	OK	0.2668	AW-8	0.6660	1	0.6660	OK						
女子更衣室	11.04	非居室							非居室							0.2208	AW-11	0.3800	1	0.3800	OK						
男子更衣室	5.67	非居室							非居室							0.1134	AW-11	0.3800	1	0.3800	OK						
ホール(吹抜) 廊下(2)	141.15	非居室							非居室							2.8230	ACW-1	3.7016	1	3.7016	OK						
廊下(2) WC(2)	83.06	非居室							非居室							1.6612	AW-4	1.3167	3	3.9501	OK						
2階	パンダ	47.25	5	9.4500	AW-4	8.1567	1	3	24.4701	OK	2.3625	AW-4	4.7367	1	4.7367	OK	0.9450	AW-4	1.3167	1	1.3167	OK					
						AW-7	4.4460	1	3			13.3380			AW-7			2.2230	1	2.2230				AW-7	1.0260	1	1.0260
					合計			37.8081	合計			6.9597	合計					2.3427									
	一時預かり	30.48	5	6.0960	AW-6	4.0545	1	3	12.1635	OK	1.5240	AW-6	2.3545	1	2.3545	OK	0.6096	AW-6	0.6545	1	0.6545	OK					
						AW-9	2.2100	1	3			6.6300			AW-9			1.1050	1	1.1050				AW-9	0.5100	1	0.5100
					合計			18.7935	合計			3.4595	合計					1.1645									
	保育室(7)	51.10	5	10.2200	AW-7	4.4460	1	3	13.3380	OK	機械換気設備							1.0220	AW-7	1.0260	1	1.0260	OK				
	保育室(8)	51.98	5	10.3960	AW-4	8.1567	1	3	24.4701	OK	2.5990	AW-4	4.7367	1	4.7367	OK	1.0396	AW-4	1.3167	1	1.3167	OK					
						AW-7	4.4460	1	3			13.3380			AW-7			2.2230	1	2.2230				AW-7	1.0260	1	1.0260
					合計			37.8081	合計			6.9597	合計					2.3427									
	休憩室(2)	16.83	7	2.4043	AW-9	2.2100	1	3	6.6300	OK	0.8415	AW-9	1.1050	1	1.1050	OK	0.3366	AW-9	0.5100	1	0.5100	OK					
	リズム室 ステージ	248.09	7	35.4415	AW-1	1.3500	6	3	24.3000	OK	機械換気設備							AW-1	0.3000	6	1.8000	OK					
						AW-2	1.0925	5	3		16.3875			AW-2	0.6425	5	3.2125			AW-2	0.6425		5	3.2125			
合計					40.6875	合計			5.0125		合計			5.0125													
WC(4)	12.90	非居室							非居室							0.2580	AW-11	0.3800	1	0.3800	OK						
廊下(4) WC(5)	130.01	非居室							非居室							2.6002	AW-4	1.3167	2	2.6334	OK						
合計			合計			合計			合計			合計			合計			合計			合計						

下記各室(非居室)の排煙設備について
平成12年建告第1436号-4-へ(2)適用
(防煙壁による区画)にて設置免除
(各室床面積=100㎡未満、天井高さ=2,500mm以上、
出入口寸法内法高さ=2,000mmにて
防煙垂れ壁H=500以上確保O.K.)

- 調乳室(1) (湯沸室同様 非居室)
- おむつ室(WC同様 非居室)
- おむつ室WC
- WC(1)
- 廊下(1)
- 収納(1)
- 教材庫(1)
- HWC
- ワゴンプール
- 検品検収・下処理室
- 食品庫
- 消毒室
- 前室
- 廊下(3)
- WC(3)
- 脱衣室
- ゴミ庫(1)
- ゴミ庫(2)
- 教材庫(2)
- 収納(2)
- 調乳室(2) (湯沸室同様 非居室)
- 洗濯室
- 教材庫(3)
- 倉庫
- WC(6)
- エレベーターホール



代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第77312号
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司
設計者
一級建築士登録
第307544号 海瀬務
一級建築士登録
第294614号 矢崎和夫

検査者 湯本桂司
担当 浜大気
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事
発行日 2026.03.31
図面名称

採光・換気・排煙 判定表

Copyright (C)株式会社エーシーエー設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

構造設計特記仕様 (1)

修正箇所は下線を引くこと。
適用は ■ 印を記入する。

1. 本仕様の適用範囲

(1) 本仕様の適用範囲
本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が 18N/mm²以上 60N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295、SD345、SD390 および SD490 の鉄筋コンクリート用鋼棒を用いる高さが60m以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計及び工事に適用する。

(2) 仕様書等の優先順位

- 設計図書および仕様書の優先順位は以下による。
- ① 特記仕様
 - ② 設計図 (伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など)
 - ③ 標準図 (鉄筋コンクリート構造配筋標準図など)
 - ④ 建築工事標準仕様書・同解説 (日本建築学会) 等

2. 建築物の構造内容

(1) 建築場所
長野県岡谷市川岸中一丁目1番1号・2号

(2) 工事種別
■新築 □増築 □改築 □増改築

(3) 構造設計一級建築士の関与 ■必要 □必要としない
■法第20条第2号 (□RC造高さ2.0m超 S造4階建以上 □木造高さ1.3m超 ■その他) □

(4) 階数
(棟名) 幼保連携型認定こども園 地下 階 地上 2階 塔屋 階

構造種別	該当階等	架構特徴等
■鉄筋コンクリート造 (RC造)	基礎階	□免震建物
□鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)	階 ~ 階	□制振建物
■鉄骨造 (S造)	1階 ~ 2階	□塔状建物
□		□
□		□
□		□

(6) 主要用途
□事務所 □共同住宅 □病院 □店舗 □倉庫 ■保育園 □

(7) 屋上付属物
□キュービクル kN □高架水槽 kN □広告塔 kN □煙突 m
■太陽光発電設備 □ □

(8) 設計荷重
(a) 主な積載荷重 【学】は「文部科学省建築構造設計指針・同解説」による。(N/m)

室名	床・小梁用	架構用	地震用	備考
保育室	2,900	2,100	1,100	【学】
事務室	2,900	1,800	800	
リズム室	3,500	3,200	2,100	【学】
廊下	3,500	3,200	2,100	
非歩行屋根	1,000	600	400	【学】

(b) 一次設計用地震力
C₀ = 0.2 Z = 1.0 R₁ = 1.0 K (地下) =

(c) 風荷重
地表面粗度区分 III 基準風速 V₀ = 30 m/sec

「国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 建築構造設計基準及び参考資料」による耐風に関する性能分類【II類】、風圧力の割り増し1.15

(d) 雪荷重
■垂直積雪量 74~75 cm ■設計用雪荷重 1500 kN/m² □
(e) 特殊の荷重及び仕上げ材
■エレベーター kN 基 □受水槽 kN □エスカレーター □ □

(9) 構造計算ルート
X方向ルート 3 Y方向ルート 3

「国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 建築構造設計基準及び参考資料」による耐震安全性の分類II類、重要係数I = 1.25

(10) 一次設計時層間変形角
X方向 1/200 rad Y方向 1/200 rad

「国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 建築構造設計基準及び参考資料」による大地震動時の創刊変位計画の制限値、層間変形角1/100

(11) 付帯工事
□門扉 □塀 □駐輪場 □機械式駐輪場 □

(12) 特定天井
□有 ■無

(13) 屋根、床、壁

材種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構造
□ALC (JIS A 5416)	厚 100	□壁 □床版	□スライド □ボルト止め
■押出し成形セメント板	厚 65	■壁 □床版	□ロッキング□
□ハーフPca版 □Pca版	厚	□壁 □床版	□
□折板	H= 厚	□屋根 □	□
■合成デッキプレート	型式 h=50 t=1.2	■屋根 ■床版 ■QLデッキ	

3. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

階	適用箇所	設計基準強度 F _c = N/mm ²	品質基準強度 F _q = N/mm ²	スランプ cm (スランプフロー)	比重 γ = kN/m ³	備考
R	□柱 □壁 □	24	24	18	23	
	□梁 □床版 □					
2	□柱 □梁 □壁 □床版 □	24	24	18	23	
	■デッキ床 □					
1	■床版 □ □	24	24	15	23	
	■基礎 ■地中梁 □ □					
	■土間コンクリート ■ 21	21	15	23	*本仕様特記外	
	■捨てコンクリート ■ 18	18	15	23	*本仕様特記外	
	セメントの種類	□普通ポルトランドセメント □中熱ポルトランドセメント				
	細骨材の種類	□砂 □山砂 □砕砂 □				適宜
	粗骨材の種類	□砂利 □砕石 □				適宜
	水の区分	□水道水 □地下水 □工業用水 □				適宜
	構造体コンクリート強度を 保証する材齢	材齢 (■ 28日 □ 56日 □ 91日 □) 養生 (■ 標準 □ 現場水中 □ 現場封かん □)				
	単位水量	■ 185kg/m ³ 以下 □ 175kg/m ³ 以下 □				
	単位セメント量	■ 270kg/m ³ 以上 □				
	混和剤	■ A E減水剤 □ 高性能減水剤 □				適宜
	空気量	□ 4.5%以下 □ 3.0%以下 □				
	塩化物量	■ 0.3kg/m ³ 以下 □				
	水セメント比	■ 65%以下 □ 50%以下 □				

(2) コンクリートブロック (□ JIS A 5406)
□ A種 □ B種 □ C種 厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190 使用箇所 (□ □)

(3) 鉄筋

鉄筋	種類	使用径 mm	使用箇所	備考
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■SD295	D16 以下	図示	■重ね継手
	■SD345	D19 ~ D25	図示	■ガス圧継手
	□SD390			□溶接継手
	□SD490			□機械式継手
高強度せん断補強筋	□ 685			□ 大匠認定番号 MSRB -
	□ 785			
	□ 1275			
溶接金網 (JIS G 3551)	□ 150x150			

注1) SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
注2) 各継手の使用詳細については本仕様書の2の9、(2)鉄筋の項の鉄筋継手の図にて表示すること。

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
■SS400 □SM400 ■SN400A,B,C	梁	□有 ■無	JIS G 3101 JIS G 3106 JIS G 3136
■SN490B ■SN490C	ダイヤフラム	□有 ■無	JIS G 3136
□STKR400 □STKR490		□有 ■無	JIS G 3466
■BCR295 □BCP235 □BCP325	柱	□有 ■無	大匠認定品 認定番号BCR-MSTL-0377
■SSC400	母屋、胴縁	□有 ■無	JIS G 3350 BCP-MSTL-0107
□STK400 □STK490 □STKN490B	柱	□有 ■無	JIS G 3444
□		□	
溶接材料			JIS Z 3312
□		□	

(5) ボルト等

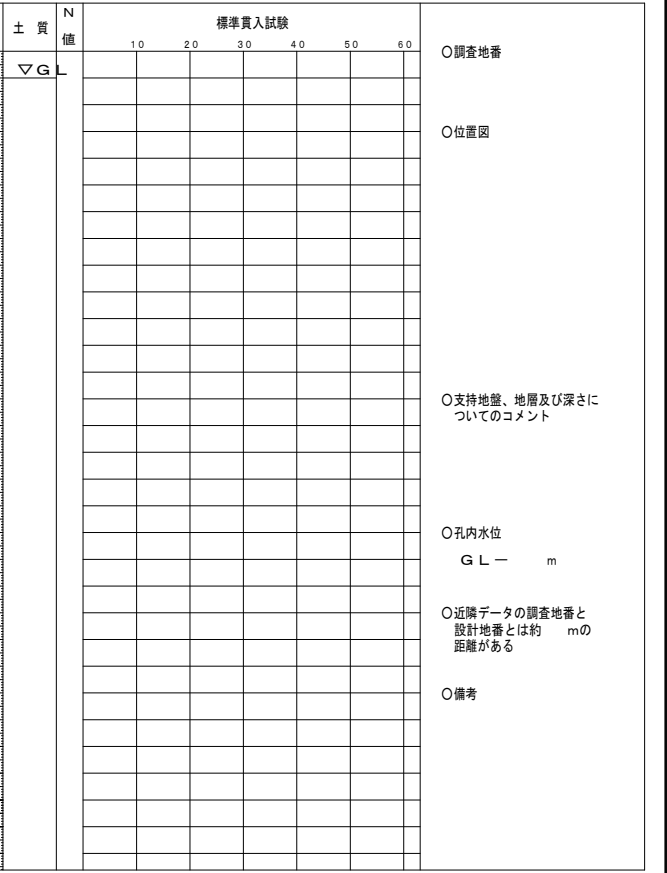
■高力ボルト
■F10T (JIS B1186) ■S10T 大匠認定番号 (MBLT-0125) (■M16、■M20、■M22、□M24)
□溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大匠認定番号 (MBLT-0050) (□M16、□M20、□M22、□M24)
■ボルト (JIS B 1180) M M ■4.8(4T) □
■アンカーボルト (構造用アンカーボルト)
■SS400 M 16, 20 L= 400, 500 mm ナット (□シングル ■ダブル)
■ABR400 M 16, 20 L= 400, 500 mm ナット (□シングル ■ダブル) (JIS B 1220)
■認定露出柱脚 (詳細は別記)
■頭付スタッド (JIS B 1198)
φ= 16 L= 80 mm 使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)
φ= L= mm 使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)

4. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験	○		物理検査		
試験地 (支持層の確認)			平板載荷試験			液状化判定		
スウェーデン式サウンディング			現場透水試験			PS換層		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。
(2) ボーリング標準貫入値、土質構成基礎・杭の位置を確認すること
■地盤図は別紙 (S-12) による。



注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

5. 地業工事

(1) 直接基礎 □べた基礎 □布基礎 ■独立基礎 試験地帯 □有 □無
深さ 1F L-2.2m 支持層- 砂れき層 長期許容応力度 250 kN/m² 荷重試験 □有 ■無
(改良後の基礎下支持力度)

(2) 地盤改良 □浅層混合処理法 ■深層混合処理法 □
スラリ系機械攪拌式ブロック地盤改良工法

注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針: 日本建築センター2002」を参考とする。

(3) 杭基礎 支持層- 砂れき層

杭種	材料	施工法	備考
□場所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c スランプセメント量 単位水量	□オールケーシング □リバーササーキュレーション □アースドリル	認定 第 号 年 月 日
		□ 拡底杭 □ 杭頭、拡底杭 □ 鋼管補強杭 □ 深礎 □ 手掘 □ 機械掘	

既設杭・杭種	種類	材料	施工法	備考
□PRC □PHC □鋼管 □SC	□I種 □II種 □III種 □A種 □B種 □C種 □	鋼材 □ 鋼材 □ コンクリート □FC85 コンクリート □FC105	□埋め込み □打ち込み	認定 第 号 年 月 日

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試験杭 (□有 □無) (□打ち込み・ □載荷・ □孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN) 杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項
000	000 (長期)	設計GL-	0

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■(社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■鉄骨製作管理技術者登録機構「実合せ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承諾を必要とするもの
■製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書
■認定または登録工事 (大匠認定 S H (M) R J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク)
■材料規格証明書※、または試験成績書

■鋼材 ■高力ボルト □特殊ボルト ■頭付スタッド
※(社)日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■社内検査表 □

(3) 工事監理者が行う検査項目
(■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
■現寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 □

(4) 接合部の溶接は下記によること
■平成12年度建設省告示第1464号第2号 イ、ロ
□鉄骨造等の建築物の工事に係る東京都取扱要綱
■日本建築学会「溶接工作規程、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
■日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
■溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	
■完全溶込み溶接部 (実合せ溶接)	外観検査 (※) 超音波探傷検査	100 %	30 %	%	※平成12年建設省告示第1464号第2号による (目視及び計測)
□内質検査 (注) マクロ試験・その他	□硬さ試験 □赤温塗料塗布	100 %	30 %	%	
■隅肉溶接部	外観検査 (※)	100 %	30 %	%	(注) 東京都の要綱に基づき必要となる建築第三者検査機関名 (都知事登録 号) の場合に実施する。

注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
■高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)
軸力導入試験 □要 ■否 高力ボルトすり係数試験 □要 ■否
■一時締め後にマーキングを行い、二次締めの後そのずれを見て、共回り等の異常がないことを確認する。
■トルシア形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンチールが破断を確認する。

(6) 防錆塗装
■防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで覆われる以外の部分とする。錆止めペイントは、□JIS K 5621、■JIS K 5674、□ (フオスター F☆☆☆) を使用し、2回塗り標準とするが、実状に応じて決定すること。
■現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。
■下部部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、接合部高力ボルトはF8Tとする。
□外部階段 塗り受け支柱・ブラケット、ササナ桁、段板及び上記部材取付プレート、ボルト
□ルーバー受け材 ルーバー受け支柱、支柱なご材、ストリンガー受け鋼線、軸ブレース及び上記部材取付プレート、ボルト
□滑り台受けプレート、ボルト
□既成受け材 (溝形鋼)

(7) 耐火被覆の材料
□吹付けロックウール

7. 設備関係

■建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとし、緊結部分は構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
□屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く。)) は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全な構造とすること。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く。)) は、建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部に配管スリーブを設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。又、特記以外の梁貫通孔は原則として設けないこと。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く。)) は、管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く。)) は、管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□法第20条第1号から第3号までの建築物に設ける屋上水槽等については、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
■給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全な構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震時に対して安全な構造とすること。平成12年建設省告示第1389号第5号に規定する構造方法によること。
■設備機器の梁台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□エレベーター・エスカレーターの支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
□エレベーター・エスカレーターは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。また、地震時の層間変形角に追従すること。
□エレベーター・エスカレーターの荷重は、建築物全体へ考慮すること。エレベーター・エスカレーターの受材が直接取り付く小梁等は安全なものとする。
■特記以外の梁貫通孔は原則として設けないこと。
■床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。



エーシーエーサイト 建築設計

代表: 株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野)第 77312号

管理建築士 一級建築士登録
第 222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第 222108号
構造設計一級建築士登録 第 1975号

小林好樹
一級建築士登録 第 204011号
構造設計一級建築士登録 第 4602号

白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備第3期
(幼保連携型認定こども園) 建築主体工事

発行日 2026.03.31

図面名称

構造設計特記仕様 (1)

縮尺

s-001

最終図
2026.03.31

構造設計特記仕様 (2)

修正箇所は下線を引くこと。
適用は 印を記入する。

8. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5による

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS 5 に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9. 1に示す様に設計基準強度が 36N/mm² 以下のコンクリートについては JASS 5 の3節~11節を適用し、36N/mm² を超えるコンクリートについては JASS 5 の17節 (高強度コンクリート) を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正值から定める調合管理強度以上とし、発注するレディミクストコンクリートの呼び強度が表9. 2に示す JIS規格外となる場合は、法第37条の大匠認定を受けた製品を用いる必要がある。軽量コンクリートについては JASS 5 の14節によること。

設計基準強度 F _c	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5 での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

調合管理強度 (N/mm ²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
呼び強度 (JIS規格品)	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※

※印は規格外

(b) 品質と施工

- 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記がない場合は標準とする。
 - 短期 標準 長期 超長期
- コンクリートは JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) に適合する JIS 認証工場の製品とする。
- 設計基準強度が 36N/mm² を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
- レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
- 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調査・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの流動性は、スラブまたはスラブフローで表し、設計基準強度が 36N/mm² 以下 33N/mm² 以上の場合スラブ 21cm 以下、33N/mm² 未満の場合スラブ 18cm 以下とし設計基準強度が 36N/mm² 超 45N/mm² 未満の場合はスラブ 21cm 以下またはスラブフロー 50cm 以下、設計基準強度が 45N/mm² 以上の場合はスラブ 23cm 以下またはスラブフロー 60cm 以下とし、特記による。
- コンクリートに含まれる塩化量は、塩化物イオン量として 0.3kg/m³ 以下とする。
- コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分 (外気温が25℃を超える場合は90分) を限度とする。
- コンクリートの打込み時の自由落下の高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
- 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて5日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

- i) 高強度コンクリート
 - 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は、28日とする。
 - 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は、91日とする。
 - 構造体コンクリート強度は、次の ① または ② を満足するものとする。
 - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
 - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3N/mm を加えた値以上とする。
 - 調合管理強度は、以下による。
$$F_m = F_c + m_s \quad (N/mm^2)$$
$$F_m$$
 : 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
$$F_c$$
 : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
$$m_s$$
 : 高強度コンクリートの構造体強度補正值で JASS 5 による。
 - 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。
$$F \geq F_m + 1.73 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F \geq 0.85 F_m + 3 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F$$
 : 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
$$\sigma$$
 : 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) でレディーミクストとする。(円ナリ台工場の実績による。実績がない場合は 0.1 (F_c + m_s)) とする。

ii) 普通コンクリート

- 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として28日とする。
- 構造体コンクリート強度は表9. 3を満足すれば合格とする。

供試体の養生方法	試験材齢 ⁽¹⁾	判定基準
標準養生 ⁽²⁾	28日	X ≥ F _m
コア	91日	X ≥ F _c

ただし、X：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)

F_m：コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

F_c：コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1) 早い材齢において試験を行い、合判定基準を満たした場合は、合格とする。
(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当たらない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

- ※ 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3N/mm² を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。
- ※ コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3N/mm² を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

- 調合管理強度は以下による。
$$F_m = F_c + m_s \quad (N/mm^2)$$
$$F_m$$
 : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
$$F_c$$
 : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
$$m_s$$
 : 標準養生した供試体の材齢m日における圧縮強度と構造体コンクリートのn日における圧縮強度の差による構造体強度補正值 (N/mm²)
- 調合強度は標準養生した供試体の材齢m日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢m日は、原則として28日とする。
$$F \geq F_m + 1.73 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F \geq 0.85 F_m + 3 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F$$
 : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
$$\sigma$$
 : 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、2.5N/mm²、または、0.1 F_m の大きい方の値とする。

(d) 検査

- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事記録で (一財) 国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- スラブの許容差は、普通コンクリートの場合、スラブが18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm (呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm) とする。高強度コンクリートの場合は、スラブが18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとしスラブフローの許容差は、目標スラブフローが50cm以下の時は、±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢28日で行い、1回の試験は打込み区ごと、打込み日ごと、かつ、150m³ またはその端数ごとに3個の供試体を用いて行う。3回の試験で1検査ロットを構成する。高強度コンクリートでは、打込み日かつ300m³ ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は3回とする。検査は適当な間隔をあげた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³ またはその端数ごとに1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた3台の運搬車から1個ずつ採取した合計3個の供試体を用いる。高強度コンクリートでは、打込み日、打込み区かつ300m³ ごとに行う。検査には適当な間隔をあげた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS 5 による。構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c) 調合および構造体コンクリート強度による。
- コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名	(都知事登録 号)
代行業者名	(登録番号 号)

代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(2) 鉄筋

(a) 施工

- 鉄筋は JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551 (溶接金網および鉄筋格子) に適合するものを用いる。
- 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
- 鉄筋の加工方法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)~(3)」による。
- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9. 4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級			鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張り最小部位	(2) (1) 以外の部位			
	A級	B級	SA級		
■ 重ね継手	標準図による			■ D (16) 以下	
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■ D (19) 以上	
<input type="checkbox"/> 溶接継手	<input type="checkbox"/> 告示1463号第3項各号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D () 以上	
<input type="checkbox"/> 機械式継手	<input type="checkbox"/> 告示1463号第4項各号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> D () 以上	

[注] (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準 (建築物の構造関係技術基準解説書2007)」によって検査した部材の条件・仕様によること。

- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は (公社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
- ガス圧接の施工は、強風時または降雨時に原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
- 圧接技量資格者は、(公社) 日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
- 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

継手部の検査方法
各継手工法ごとの検査は平12建造1463号による他、具体的な検査方法は、(公社) 日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9. 5 継手の検査

	継手方法	外観検査	引張試験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	■ 有 100%00 % <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 % 個	■ 有 <input type="checkbox"/> 無 1ロットにつき30ヶ所	■ 有 <input type="checkbox"/> 無 1ロットにつき30ヶ所
2	溶接	<input type="checkbox"/> 有 % <input type="checkbox"/> 有 ■ 無 % 個	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 % 個	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 % 個
3	機械式	<input type="checkbox"/> 有 %	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 % 個	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 % 個

ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は5本以上とする。(1ロットは同一作業班が同一作業中に作業した圧接箇所で、200箇所程度とする。)

鉄筋に継手の試験・検査は「要綱」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関で行うこと。

試験・検査機関名 (都知事登録 号)

(3) かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、表9. 6に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
- 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9. 6以上の値とする。

表9. 6 設計かぶり厚さ (単位: mm)

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋 内	屋 外 ⁽²⁾	屋 内	屋 外 ⁽²⁾
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁・床および基礎の立上り部分、擁壁の壁部分		50			
基礎、擁壁の基礎・底盤		70			

[注] (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保を行う部材では、維持保の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準、長期、及び超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを10mm減じることができる。

- 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型枠

■ 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建造第1655号に基づき下表による。

表9. 7 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号 (昭和63年改正建設省告示1655号)

種類 部位	せき板				支 柱			
	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下、梁下	スラブ上	梁下	スラブ上	梁下		
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント		
	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	普通ポルトランドセメント		
	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種		
コンクリートの平均気温	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
コンクリートの材令 (日)	5~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	18	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0N/mm ²	設計基準強度の50%		下記(1)参照		下記(2)参照		

(1) 圧縮強度が設計基準強度 (F_c) の85%以上又は12¹ N/mm² 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。
(2) 圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

- ※ JASS 5 では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては 5.0N/mm² 以上、長期及び超長期の場合は 10N/mm² 以上、また高強度コンクリートの場合は 10N/mm² 以上。
- 注1 片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
- 注2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
- 注3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注4 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材またはこれに代わるものを書く。
- 注5 支柱の盛替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えしてはならない。
- 注6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛替えを行わないこと。
- 注7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。



エーシーエーサイト
設計特記仕様

代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野)M第 77312号

管理建築士 一級建築士登録
第 222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第 222108号
構造設計一級建築士登録 第 1975号
小林好樹
一級建築士登録 第 204011号
構造設計一級建築士登録 第 4602号
白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

構造設計特記仕様 (2)

縮尺

s-002 | 最終図
2026.03.31

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 D…部材の成、又は鉄筋内法直径
 @…間隔 r…半径 CL…中心線 l…部材間の内法距離 h…部材間の内法高さ
 ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S. HOOP…補強帯筋

2. 鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

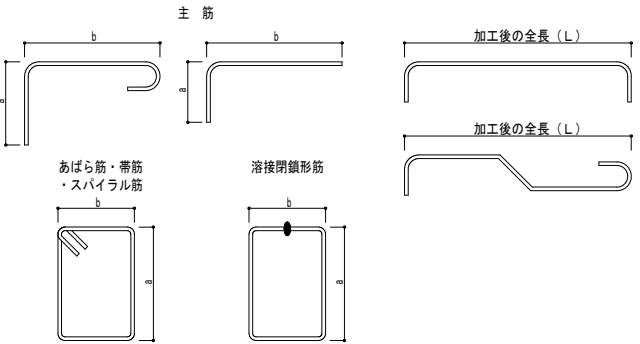
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295	D16以下	3d以上
	135°	SD345	D19~D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	5d以上
	90°	SD490	D29~D41	6d以上

- [注](1) dは呼び名に用いた数値とする。
 (2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
 (3) 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
 (4) スラブ筋、壁筋には、溶接鋼網を除いて丸鋼を使用しない。
 (5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。
 (6) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。

(2) 加工寸法の許容差

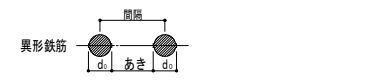
項	目	符号	許容差
各加工寸法 ⁽¹⁾	主筋	D25以下	a, b ±1.5
		D29以上D41以下	a, b ±2.0
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a, b	±5
	加工後の全長	L	±2.0

[注](1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



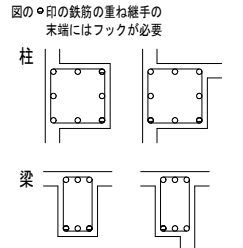
(3) 鉄筋のあき

異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5d以上、粗骨材の最大寸法の 1.25倍以上かつ2.5mmのうち最も大きい値



(4) 鉄筋のフック

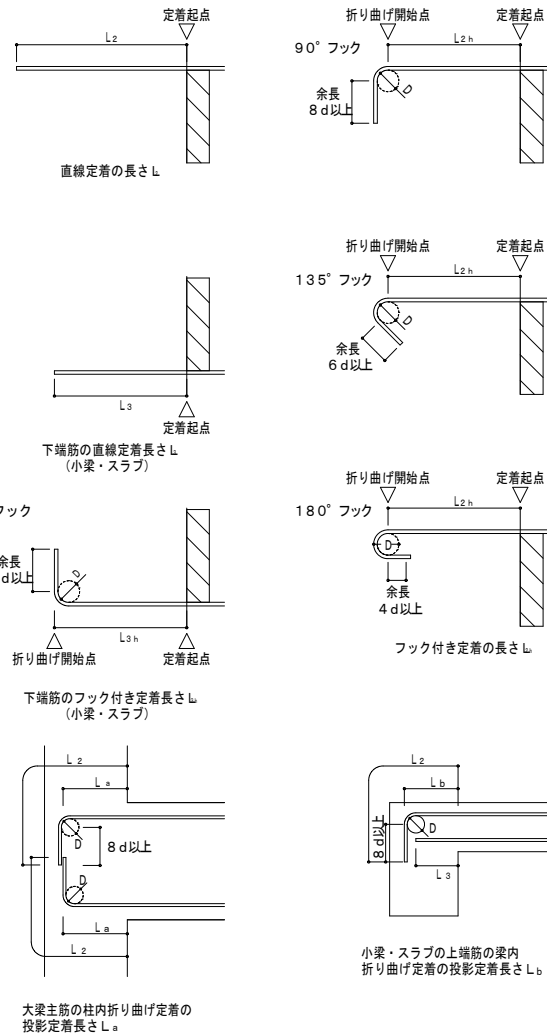
- a~eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
 a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
 b. 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
 c. 柱、梁(基礎梁を除く)の出す部分および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
 d. 単純梁の下端筋
 e. その他、本配筋標準に記載する箇所



(5) 定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	定着の長さ						
		一般			小梁下端筋		スラブ下端筋	
		L ₂ (フックなし)	L _{2h} (フックあり)	L _a ⁽³⁾	L _b	L ₃ (フックなし)	L _{3h} (フックあり)	L ₃ (フックなし)
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24~27	30d	20d	15d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	20d	20d			
	24~27	35d	25d	20d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	30d	20d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d かつ 150以上
	24~27	40d	30d	20d	20d			
	30~36	35d	25d	20d	15d			
	39~45	35d	25d	15d	15d			
	48~60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24~27	45d	35d	25d	—	—	—	—
	30~36	40d	30d	25d	—			
	39~45	40d	30d	20d	—			
	48~60	35d	25d	—	—			
	—	—	—	—	—			

- [注](1) フック付き鉄筋の定着長さL_{2h}は、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
 (2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
 (3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さL_{3h}確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長さL₃以上とするともに、水平投影長さL_a以上とし、余長を8d以上とする。尚、L_aの値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする。
 (4) 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着L₃とする。



(6) 継手

目 重ね継手

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ	
		L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24~27	35d	25d
	30~36	35d	25d
	39~45	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24~27	40d	30d
	30~36	35d	25d
	39~45	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24~27	45d	35d
	30~36	40d	30d
	39~45	40d	30d
	48~60	35d	25d
SD490	24~27	55d	40d
	30~36	50d	35d
	39~45	45d	35d
	48~60	40d	30d
	—	—	—

- [注](1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
 (2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
 (3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

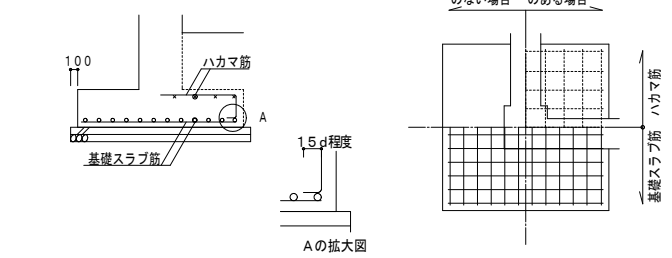
目 継手に関する注意

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
 - D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
 - 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
 - ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。
- ・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)
 ・圧接継手
 ・重ね継手(下図のいずれかとする)

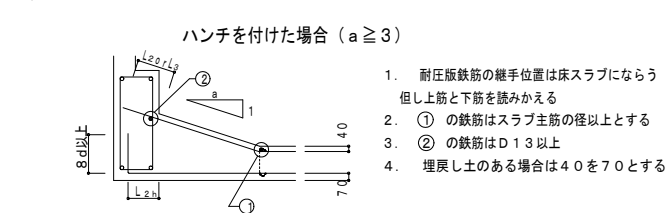
3. 杭・基礎 (配筋については地震力等の水平力を考慮して別途検討すること)

(1) 直接基礎

① 独立基礎



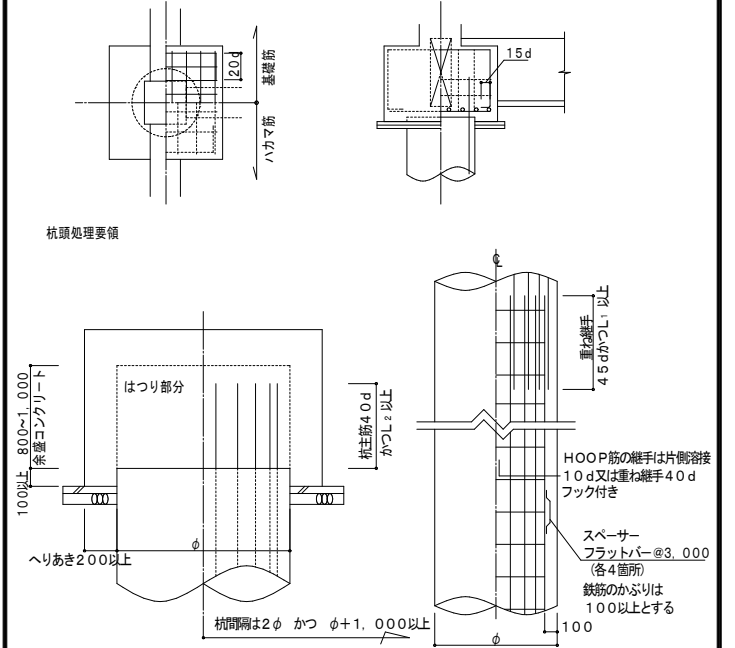
② べた基礎



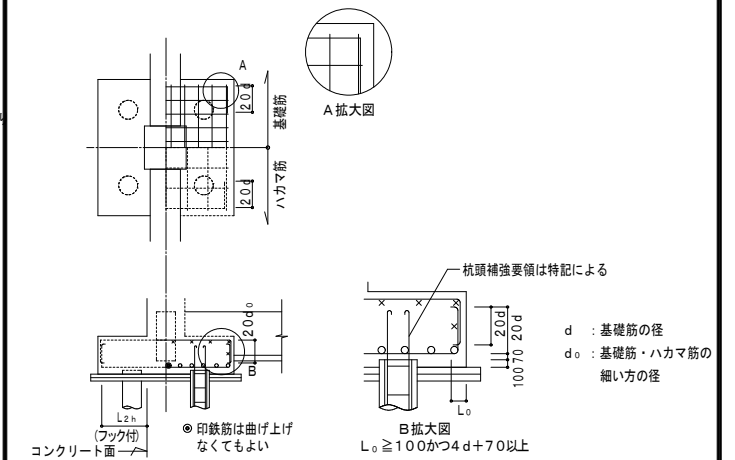
- ハンチを付けた場合(a ≥ 3)
- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を替かえる
 - ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
 - ②の鉄筋はD13以上
 - 埋戻し土のある場合は40を70とする

(2) 杭基礎

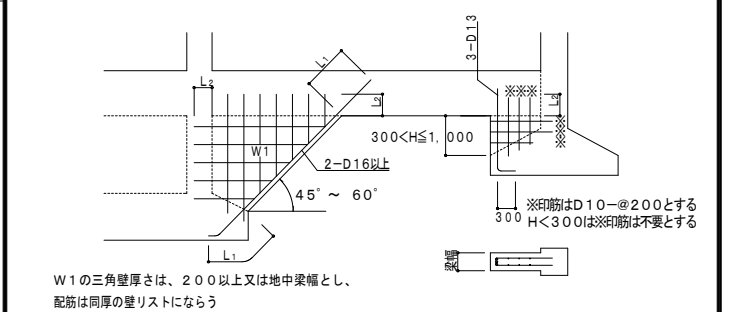
① 場所打ち杭



② PHC杭



(3) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう



代表: 株式会社アーシーエー設計
 一級建築士事務所登録
 (長野)野77312号
 管理建築士 一級建築士登録
 第222107号 湯本桂司

設計者
 一級建築士登録 第222108号
 構造設計一級建築士登録 第1975号
 小林好樹

一級建築士登録 第204011号
 構造設計一級建築士登録 第4602号
 白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078
 工事名

岡谷市川岸学園整備第3期
 (幼保連携型認定こども園建設)
 建築主体工事

発行日 2026.03.31
 図面名称

鉄筋コンクリート構造
 配筋標準図(1)

縮尺

s-003

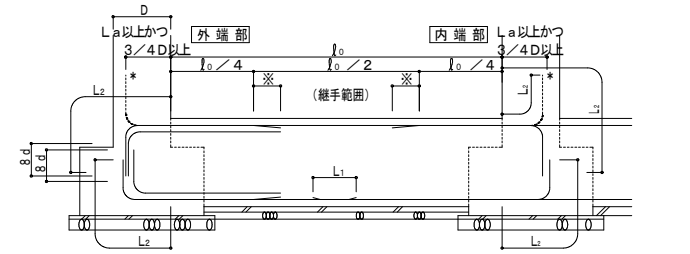
最終図
 2026.03.31

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと

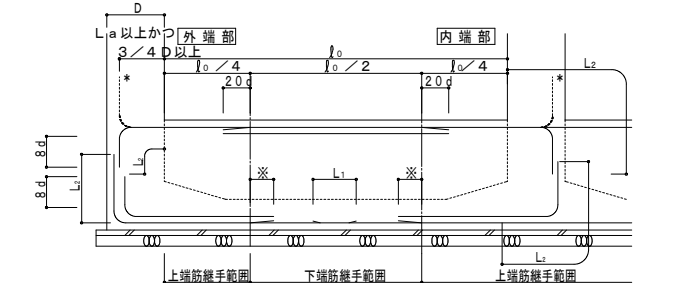
4. 基礎梁

- (1) 定着、継手
- 独立基礎、杭基礎の場合
 - 長期荷重が支配的な場合の継手は6. (2) 大梁継手位置とする



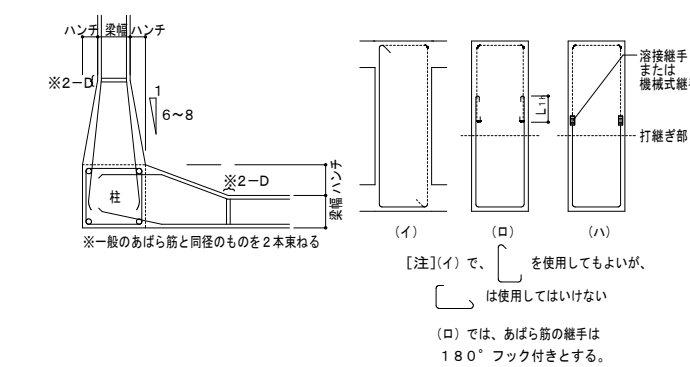
※主筋のカットオフ長さは $l_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による

- 布基礎、べた基礎の場合

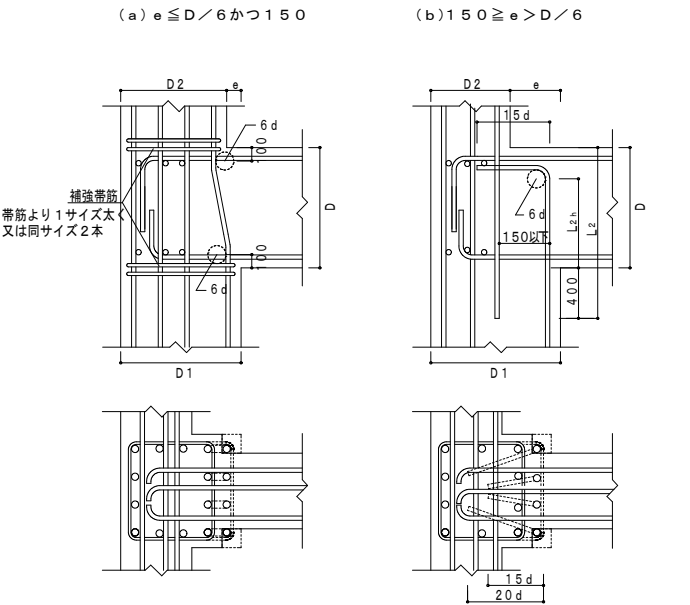


※主筋のカットオフ長さは $l_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による

- (2) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (3) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

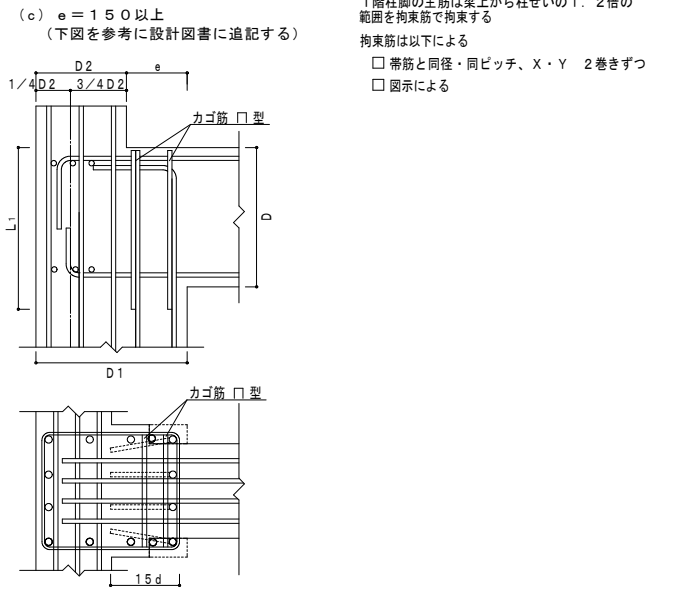
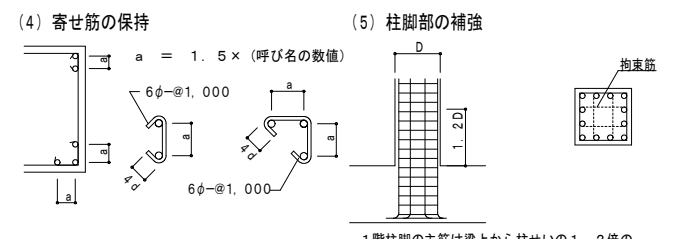
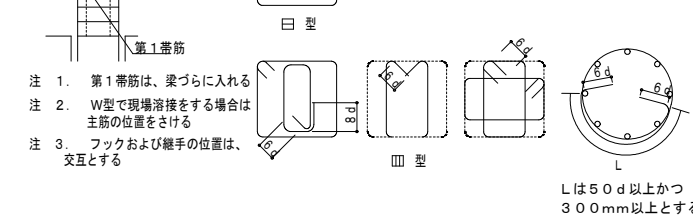
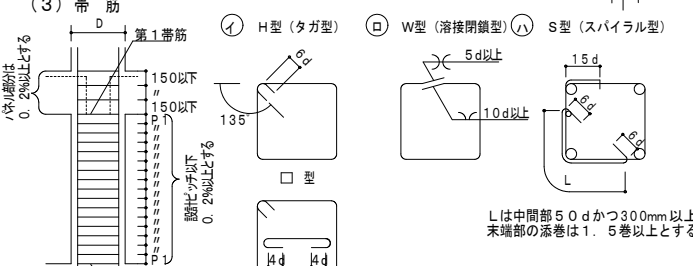
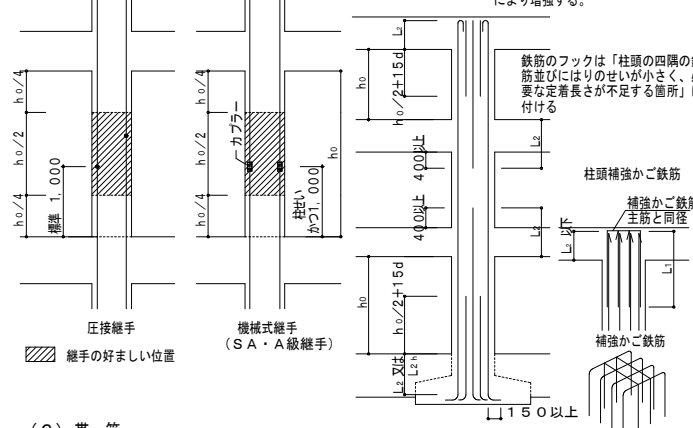


(6) 絞り



5. 柱

- (1) 柱主筋の継手位置 (2) 柱主筋の定着



6. 大梁

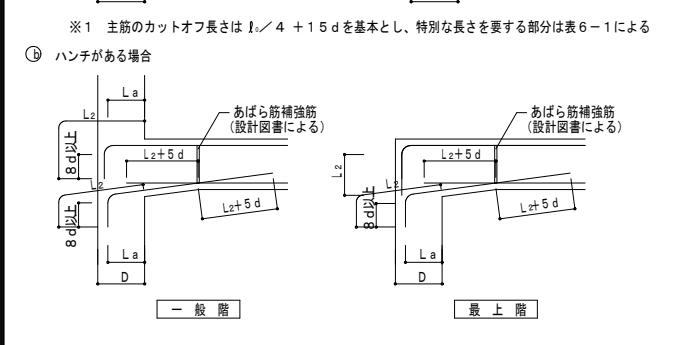
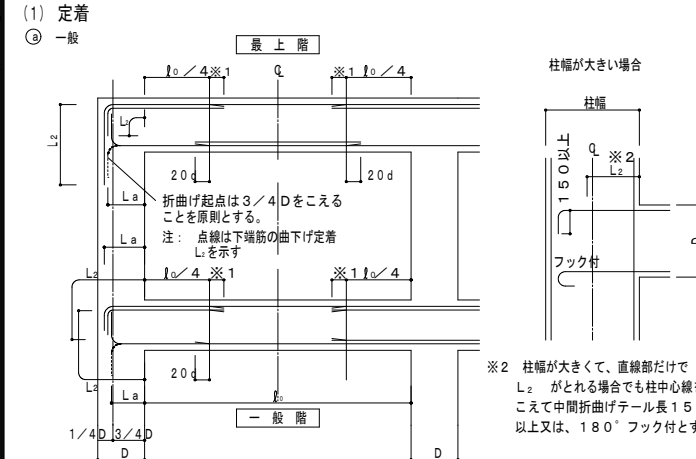
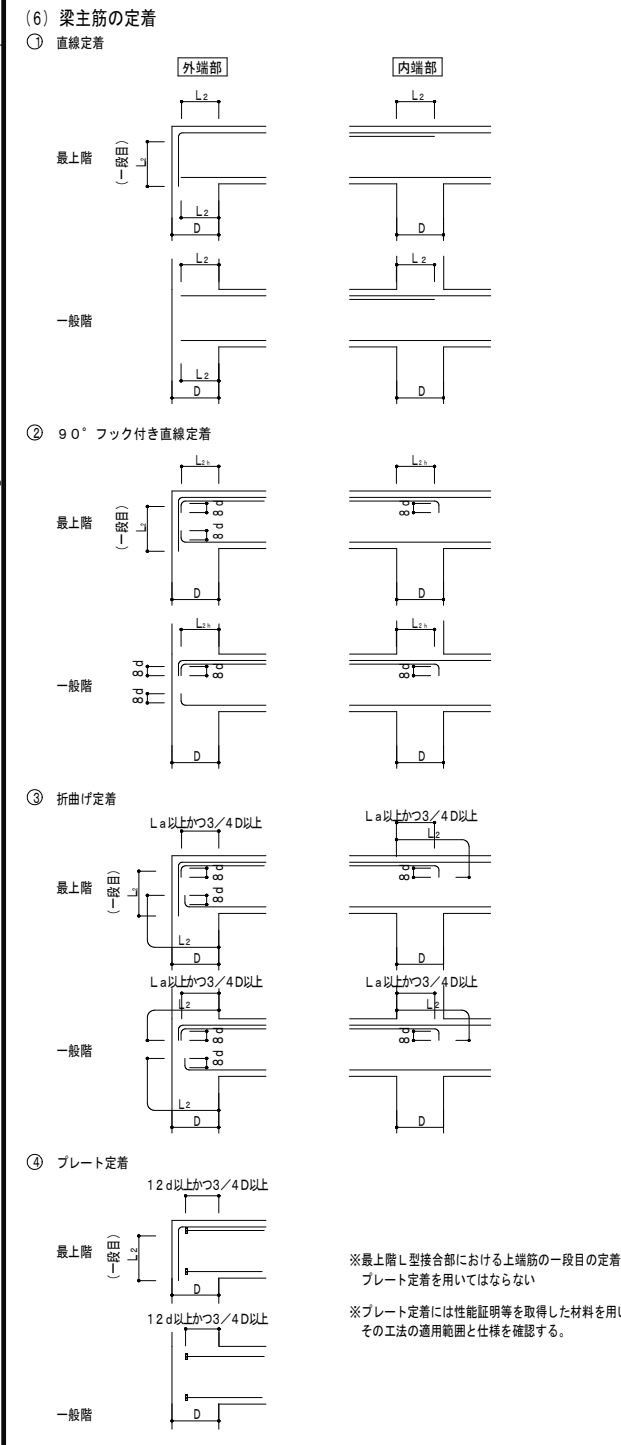
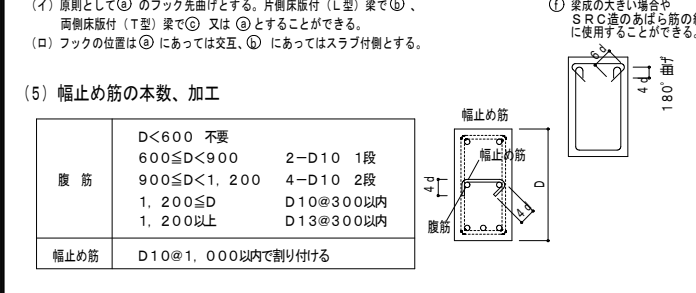
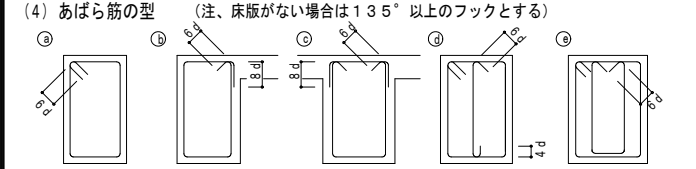
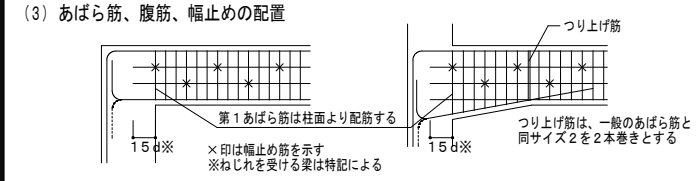
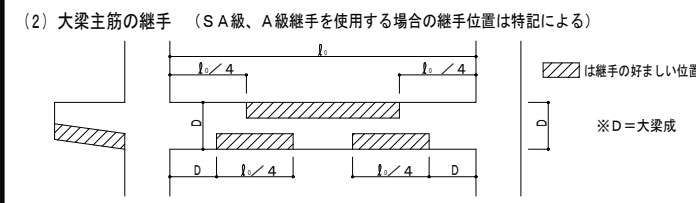


表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部材名	$l_o/4$ に加える長さ	部材名	$l_o/4$ に加える長さ



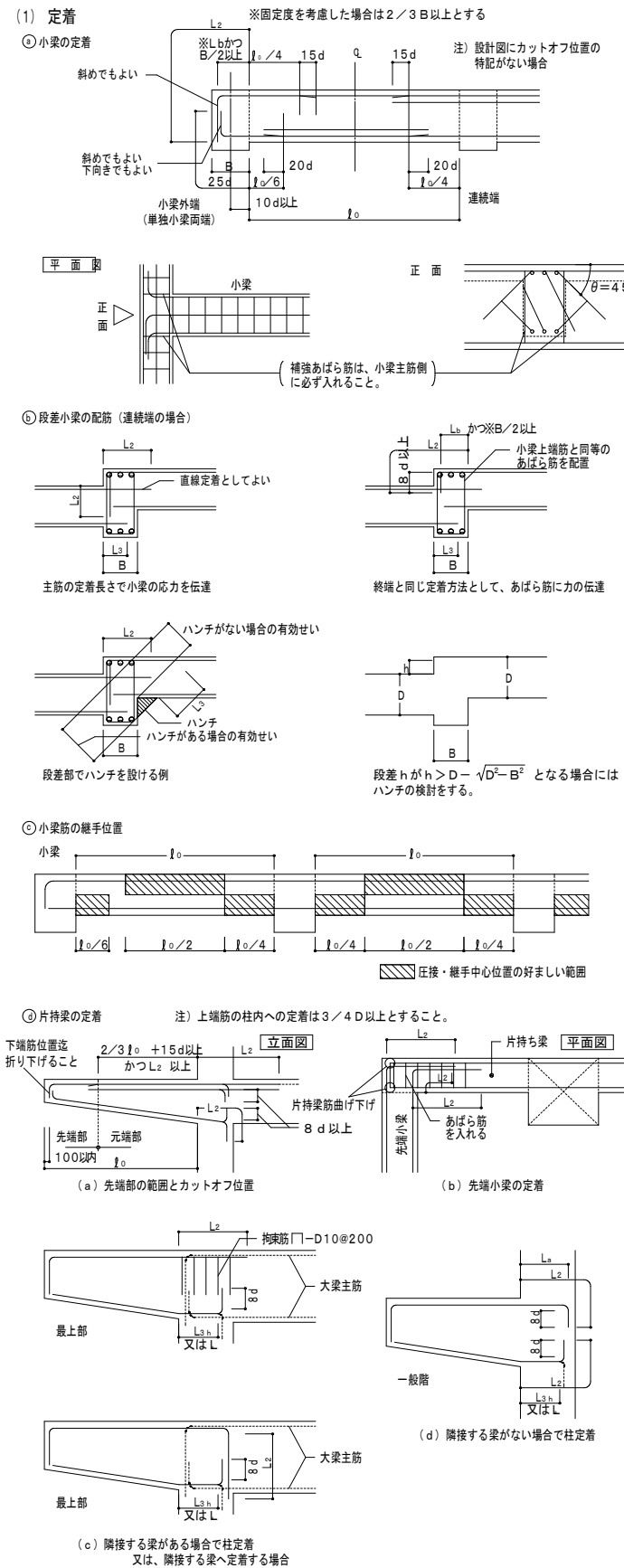
代表：株式会社エーシーエ設計
 一級建築士事務所登録
 (長野)M第77312号
 管理建築士 一級建築士登録
 第222107号 湯本桂司
 設計者
 一級建築士登録 第222108号
 構造設計一級建築士登録 第1975号
 小林好樹
 一級建築士登録 第204011号
 構造設計一級建築士登録 第4602号
 白鳥太一
 検査者 湯本桂司

担当
 担当
 Job No. 24078
 工事名
 岡谷市川岸学園整備第3期
 (幼保連携型認定こども園建設)
 建築主体工事
 発行日 2026.03.31
 図面名称
 鉄筋コンクリート構造
 配筋標準図(2)
 縮尺
 s-004
 最終図
 2026.03.31

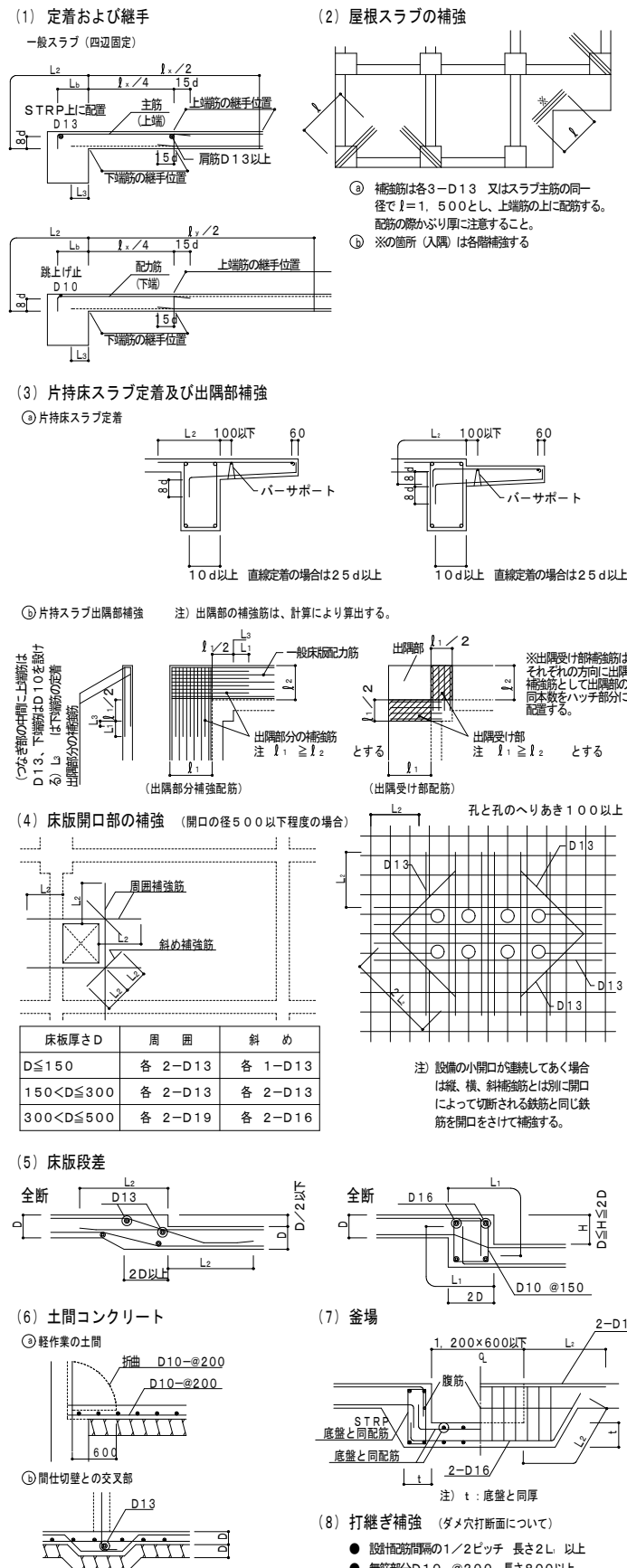
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)

※修正箇所は下線を引くこと

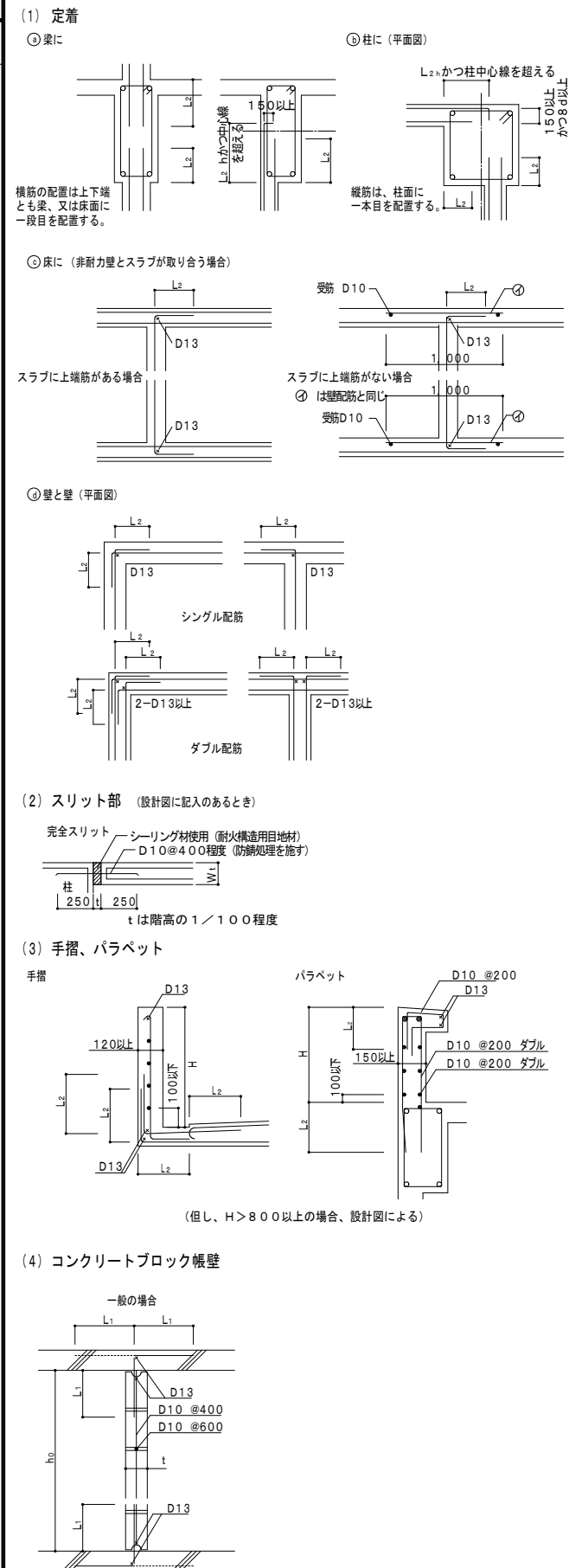
7. 小梁、片持梁



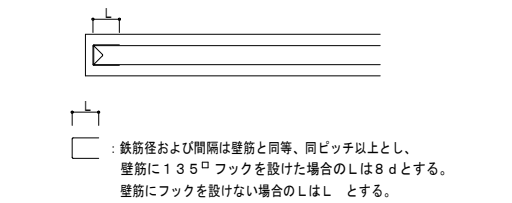
8. 床版



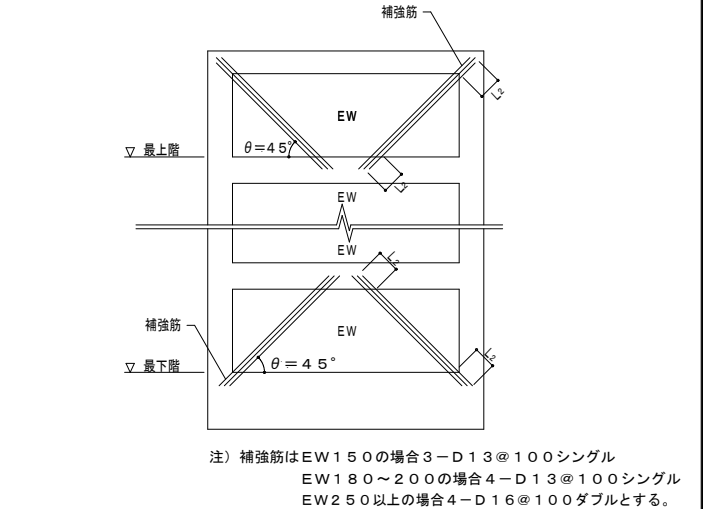
9. 壁



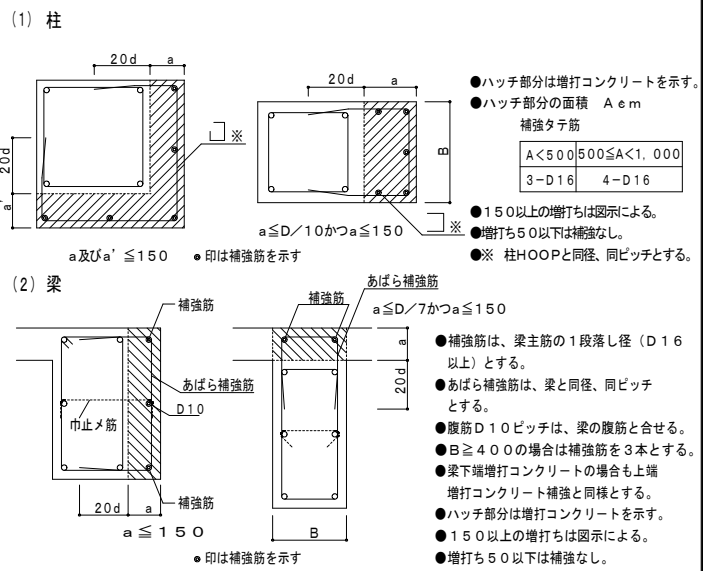
(5) 耐震壁端部の納まり



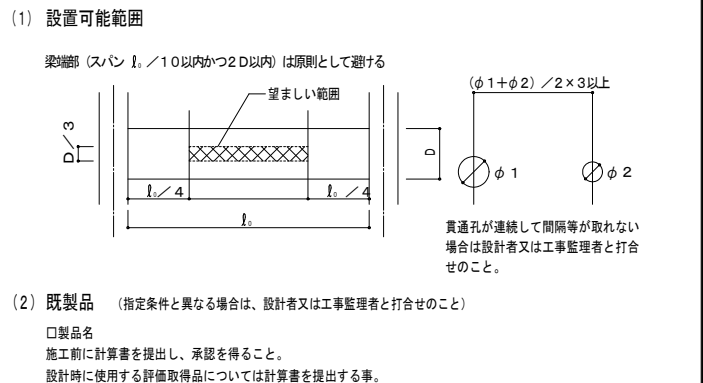
(6) 連層耐震壁乾燥収縮の補強筋



10 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)



11 梁貫通孔補強 (開口補強については計算により確認すること)



代表: 株式会社アーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野)M第77312号
管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第222108号
構造設計一級建築士登録 第1975号
小林好樹
一級建築士登録 第204011号
構造設計一級建築士登録 第4602号
白鳥大一
検査者 湯本桂司
担当

Job No. 24078
工事名
岡谷市川岸学園整備第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事
発行日 2026.03.31
図面名称

鉄筋コンクリート構造
配筋標準図(3)

縮尺
s-005
最終図
2026.03.31

鉄骨構造標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと。

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計特記仕様書の1による。
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする。但し、ベースプレートの厚さは除く。
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する。
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る。
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
 - (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締め使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
 - (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面粗さが $50\mu\text{m Rz}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。但し、ベースプレートの厚さは除く。
 - (c) 高力ボルトの締め付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締め付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
 - (b) 溶接技能者
 - 溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする。
 - (c) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ロ) アークエアガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 - (d) 溶接方法
 - アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 - セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AAG)
 - (e) 溶接姿勢
 - 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
 - (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
 - (イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
 - (g) 溶接施工
 - (イ) エンドタブ
 - 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 - エンドタブの材質は母材と同質とする。
 - エンドタブの長さは、MC:35mm 以上 NGC, GC:40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し、35mm以上かつ2t 切断して、グラインダー仕上げとする。
 - (ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確保できれば監督者の承認を得て変更することができる。
 - (ハ) スクラップ半径は30~35mmと10mmのダブルアークとする。但し梁成がD=150mm未満の場合のスクラップは $r=20\text{mm}$ とする。
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体する設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図

(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

(1) 隅肉溶接

t	7以下	8~10	11~13	14~16
S	6	7	10	12

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所) に注意

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

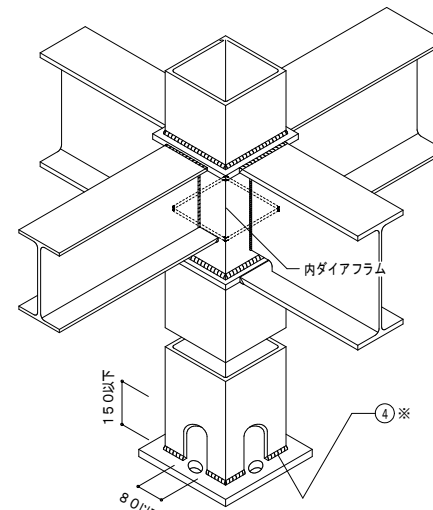
(4) フレアー溶接

K形の場合

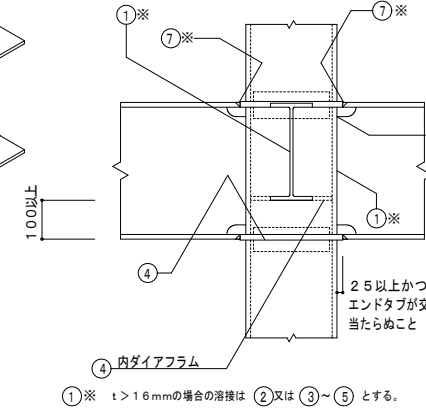
寸法 (mm)	
φ	B S
9	7 4
13	8 4.5
16	9 5
19	10 6
22	11 7
25	12 8

※溶接記号番号を○ 中に記入のこと

● B O X 型 (通しダイアフラムの場合)

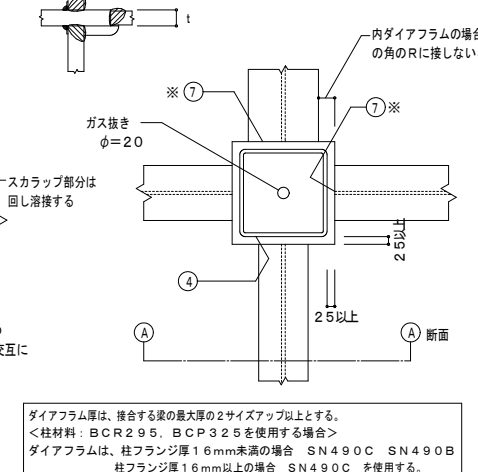


● A-A 断面図



⑦※ 梁フランジは、通しダイアフラムの厚み(t)の内部で溶接する事。

平面詳細

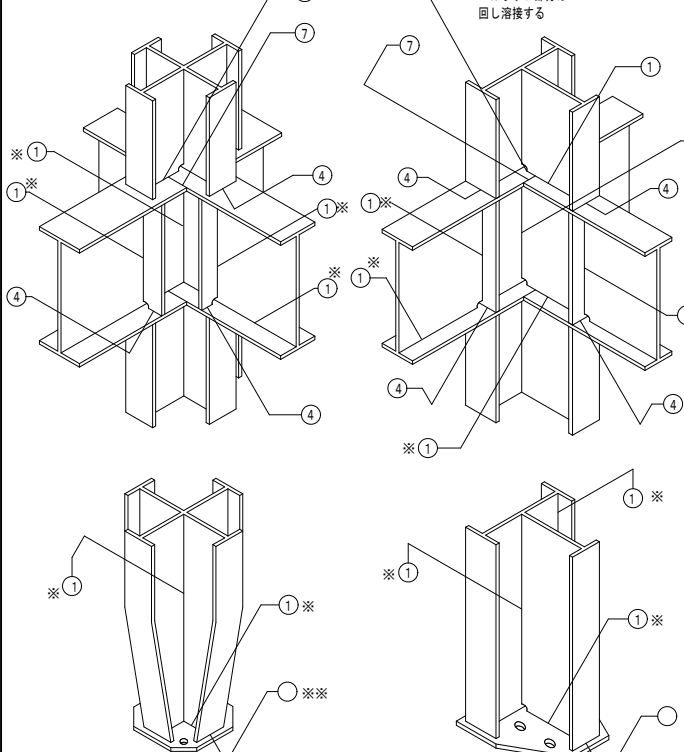


● 鋼材種別による溶接条件

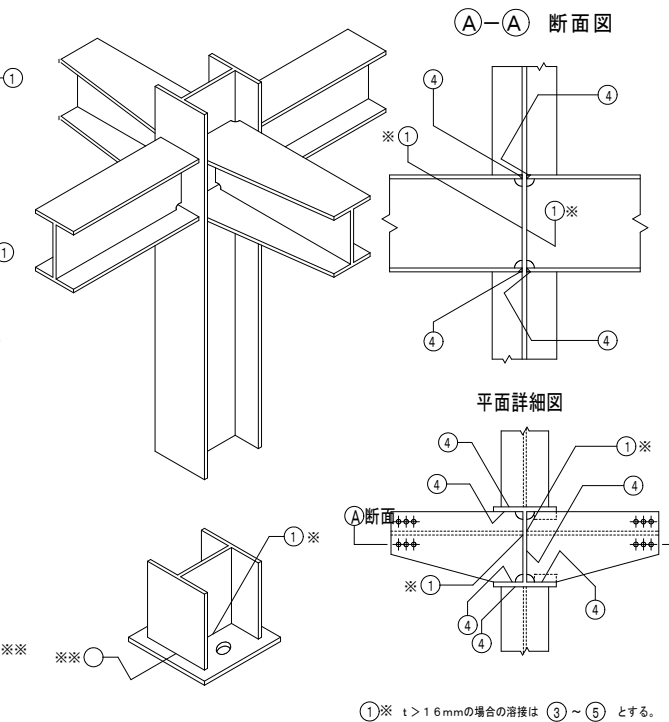
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	ガス温度 (°C)
400N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40以下	350以下
	YGW-11.15		
	YGW-18.19		
	JIS Z 3315		
490N/mm ² 級鋼	YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212		
	YGW-11.15		
	YGW-18.19		
JIS Z 3315	40以下	350以下	
YGA-50W, 50P	40以下	350以下	

(注) STKR, BCR, BCP材は、JIS Z 3312 のみ使用可
「構造設計特記仕様書」の1.6. 鉄骨工事 (2) 認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件事項による

● H, H 型



● B.H. 方式



エーシーエーサイト 建築事務所

代表: 株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野)M第7312号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録 第222108号
構造設計一級建築士登録 第1975号
小林好樹
一級建築士登録 第204011号
構造設計一級建築士登録 第4602号
白鳥太一

検査者 湯本桂司

担当

担当

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備第3期
(幼保連携型認定こども園建設)
建築主体工事

発行日 2026.03.31
図面名称

鉄骨構造標準図 (1)

縮尺

s-006

ハイベースNEO工法施工標準図

ハイベースNEO工法設計施工標準 (ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用)

大臣認定 MSSL-0404.0180 (Gタイプ用ベースプレート)
 MBLT-0042-0046 (アンカー用ボルトセット)
 BCJ評定-ST0058 (Gタイプ)
 BCJ評定-ST0059 (Eコタイプ)

2021/8
2023/12 更新

本工法の設計・施工は、鋼構設計規程、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書(ASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブック)に準拠する。

設計

1. 材質

(1) ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ (EB型式、EM型式、EH型式)

規格	ベースプレート	アンカーボルト	エコナット	ナット	座金	定着板
JIS G3136	TMC ^{※4}	HAB (大臣認定取得材)	大臣認定取得材	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B 板厚4mm以下	SN490相当 降伏比70%以下	—	強度区分	SM490A	SS400

エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ (GB型式、GM型式、GH型式)

規格	ベースプレート	アンカーボルト	ナット	座金	定着板
JIS G3136	HAB (大臣認定取得材)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材)	—
ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B同等	降伏比70%以下	—	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定 (MSSL-0404.0180) ※2 国土交通大臣認定 (MBLT0042-0046)
 ※3 M72は細目ねじ ※4 建築基準法第9条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

(2) ベースプレート下面のモルタル

ハイベースNEO工法無収縮モルタルN×2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮モルタル ※センクシアが供給するものに限る

中心塗部分モルタル

○無収縮モルタルパッド用は普通モルタル (N×2000及びクイック3は使用不可。)
 ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

(3) 基礎・基礎ばり

○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート
 ○設計基準強度は、 $f_c = 18 \sim 36 \text{ N/mm}^2$

鉄筋 JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼

柱 形 ヘリあき量は、ベースプレート外形寸法の0.1倍以上確保しなければならない。

Gタイプ用アンカーボルト部品

軸径φd、全長L、定着長さa、高径φD、二面幅B、対角距離C、厚さt、内径φD1、外径φD2

ねじの呼び	軸径φd	全長L	定着長さa	高径φD	二面幅B	対角距離C	厚さt	内径φD1	外径φD2
M24	24	105	10	48	45	29	19	36	42
M30	30	130	13	60	57	35	24	46	53
M36	36	155	15	72	69	41	29	55	64
M42	42	185	18	84	81	49	34	65	75
M48	48	215	21	96	93	57	38	75	87
M56	56	245	24	108	105	65	45	85	98
M64	64	275	27	120	117	73	51	95	110
M72	72	305	30	132	129	81	58	105	122

※1 t₂はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって異なります。
 ※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
 ※3 上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

注意: Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。(一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。)

ベースプレートのアンカーボルト孔径

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	—	—	—	—
Gタイプ孔径	—	38	45	53	61	70	79	87

定着板 (エコタイプ、Gタイプ共通)

ねじの呼び	4本タイプ用	8本タイプ用	12本タイプ用
厚さ	19	24	29
長さ	10	15	20
幅	40	50	60
内径	—	—	—

定着板 (4本タイプ用) 定着板 (8本タイプ用) 定着板 (12本タイプ用)

3. ベースプレート下面モルタルの標準寸法

各部名称: モルタル、柱、ベースプレート、基礎柱形

各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ (t _m)	標準寸法 t _m =50mm	許容範囲 30 ≤ t _m ≤ 70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅 (e _m)	e _m ≥ 30mm	許容範囲 e _m ≥ 25mm

4. 基礎柱形主筋の定着長さ (最小値)

基礎柱形主筋の定着長さ (l₁) は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

1. 溶接材料

被覆アーク溶接 低水素系 490N/mm² 級高強度鋼用 (JIS Z3211、旧JIS Z3212) 相当以上

ガスシールドアーク溶接 軟鋼及び490N/mm² 級高強度鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ (JIS Z3312) 相当以上

※高強度柱材を用いる場合、JASS5等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

2. ベースプレートの鉄骨柱への取付け (柱端部に開先を設ける)

※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
 開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる ※開先形状は参考

ベースプレート形状

角形鋼管柱用 (GB型式) 円形鋼管柱用 (GM型式)

開先形状

柱とベースプレートのフラット面に取り付けてください。アンカーボルト孔周辺に凹加工してある面はベースプレート表面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

注意: 柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。アンカーボルト孔周辺に凹加工してある面はベースプレート表面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

3. 組立溶接

角形鋼管 円形鋼管 H形

4. 本溶接の手順

角形鋼管 円形鋼管 H形

対辺ごとに溶接を行う。(自動ロボット溶接の場合はこれによらない)

1パスごとに全周溶接を行う。

※ウェーブの発生する肉溶接部は、完全溶込み溶接とする

※開先部の溶接

現場施工

1. 捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

2. 墨出し

3. アンカーボルト搬入 (#)

4. アンカーボルト据付 (#)

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。

アンカーボルト設置精度の目標値

項目	目標値
基準高さよりの誤差 h	-3mm ≤ h ≤ 10mm
平面 (形板芯にて検査)	e ≤ 3mm

5. 鉄筋配筋・型枠の立込み

6. 基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7. 中心塗り部分モルタル施工

ハイベースNEO工法無収縮モルタルN×2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮モルタル ※センクシアが供給するものに限る

注入方法はヘッド圧工法による。

※センクシアが供給するものに限る

(イ) □250以下、φ267.4以下、H250以下の場合 100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法D以下

(ロ) □300以上φ700以下、φ300以上φ711.2以下およびH250以上の場合 150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法D以下

(ハ) □750~□1200、φ750~φ1016の場合 300mm ≤ a ≤ 500mm

中心塗り部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
 基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

8. 鉄骨建方

アンカーボルト締付
 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。

9. モルタル注入枠設置 (#)

後詰めモルタル充填 (#)

10. アンカーボルト締付 (#)

予備締め
 マーキング
 アンカーボルト締付確認 (#)
 ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。

予備締め
 ナット回転法による本締め
 (30°回転、許容差 ±10°)

11. モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。

2. アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ用アンカーボルト部品

ねじの呼び	軸径φd	全長L	定着長さa	高径φD	二面幅B	対角距離C	厚さt	内径φD1	外径φD2
M24	24	105	10	48	45	29	19	36	42
M30	30	130	13	60	57	35	24	46	53
M36	36	155	15	72	69	41	29	55	64
M42	42	185	18	84	81	49	34	65	75
M48	48	215	21	96	93	57	38	75	87
M56	56	245	24	108	105	65	45	85	98
M64	64	275	27	120	117	73	51	95	110
M72	72	305	30	132	129	81	58	105	122

※1 t₂はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって異なります。
 ※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
 ※3 上段はGB型式及びGM型式のアンカーボルト4本タイプ、下段はそれ以外のエコタイプの場合の寸法です。

注意: エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。この場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

センクシア株式会社

本社 TEL 03-4214-1932 関東 TEL 027-322-9411 関西 TEL 06-6395-2133
 札幌 TEL 011-708-1177 中部 TEL 052-582-3356 中四国 TEL 082-240-1630
 東北 TEL 022-213-5595 北陸 TEL 076-233-5260 九州 TEL 092-452-0341

URL <https://www.senqcia.co.jp/>

5. 溶接施工一般

予熱 鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。

余盛 溶接余盛はベースプレート側点から柱側5点へ向かってなめらかになるように施工する。余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはT継手余盛り高さに準拠する (Gタイプ)。

H形柱の溶接 エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接

注意: 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱によって曲がる場合があります。

6. 検査

方法 溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。探傷は柱フランジ側から行う。

不良溶接部の補正 (1) 有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。(2) 溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

注意: アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。(日本建築センターの評定で義務付けられています。)

- アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
- 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
- 建て入れ直しのワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
- 本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

(#): センクシアの担当範囲

代表: 株式会社エーシーエー設計
 一級建築士事務所登録 (長野)M第77312号
 管理建築士 一級建築士登録 第222107号 湯本桂司

設計者
 一級建築士登録 第222108号 小林好樹
 構造設計一級建築士登録 第1975号
 一級建築士登録 第204011号 構造設計一級建築士登録 第4602号 白鳥大一

検査者 湯本桂司

担当

Job No. 24078
 工事名 岡谷市川岸学園整備第3期 (幼保連携型認定こども園)建築 建築主体工事

発行日 2026.03.31
 図面名称 柱脚標準図-1

縮尺

ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計例

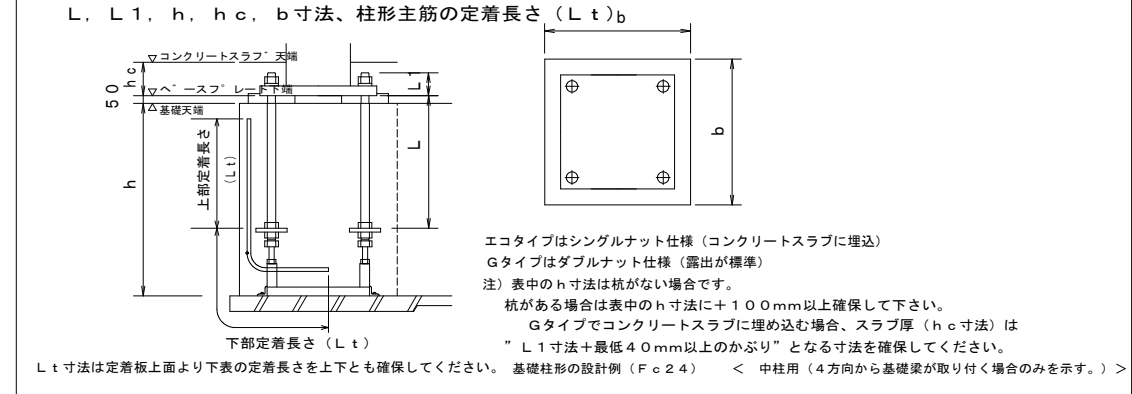
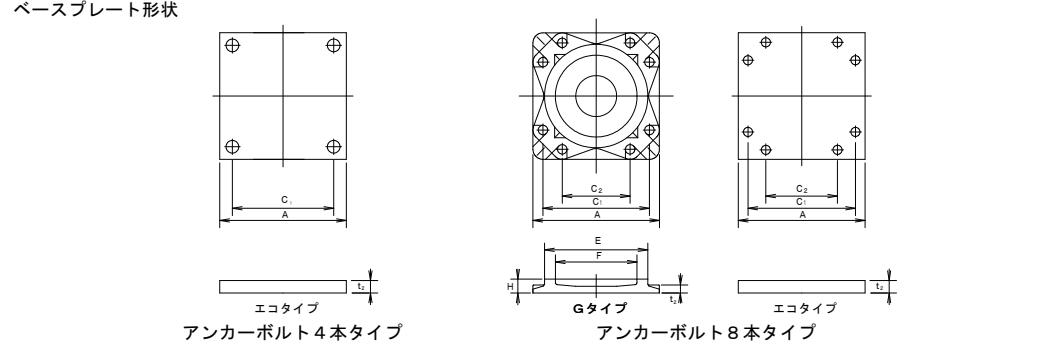
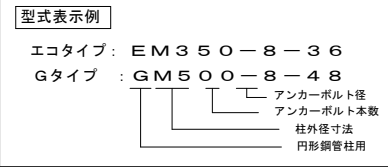
ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計例 (Fc24の場合)
〈円形鋼管柱用 φ190.7~φ1016〉

(ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用)
(ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用)

大臣認定
BCJ評定

MSTL-0566, 0404, 0180 (Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042~0046 (アンカーボルト)
BCJ評定-ST0058 (Gタイプ)
BCJ評定-ST0059 (エコタイプ)

2024/10
本工法の設計・施工は、鋼構造設計規程、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説JASS5鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。



・ハイベースNEO工法 (円形鋼管柱用φ190.7~φ1016)

採用	適用柱	ハイベースNEO型式		アンカーボルト	回転バネ定数 x10 ⁴ kN・m/rad	寸法 (mm)											質量 (kg)											基礎柱形の設計例 (Fc24) < 側・隅柱用 >										
		エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	E	F	H	t ₂	ベースプレート	部品	セット質量	L (mm)	L1 (mm)	Iゾーン			Iゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)	Iゾーン			Iゾーン			鉄筋の定着長さ Lt (mm)							
																		柱形 (mm)	b	主筋量	帯筋	柱形 (mm)	b		主筋量	帯筋	柱形 (mm)	b	主筋量	帯筋		柱形 (mm)	b	主筋量	帯筋			
	φ190.7	8.2	EM190-4-24	4-M24	13.8	290	210	-	-	-	-	32	22	14	36	400	87	600以上	130	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210					
	φ216.3	12.7	EM216-4-24	4-M24	19.9	310	230	-	-	-	-	32	25	14	39	400	87	600以上	130	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	200	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	200					
CD	2	φ267.4	16	EM250-4-24	4-M24	28.4	370	290	-	-	-	32	35	14	49	400	87	600以上	130	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190					
	φ300	16	EM300-4-30	4-M30	38.3	420	340	-	-	-	-	32	45	15	60	400	87	600以上	130	620	8-D19	D13@150	620	12-D19	D13@150	190	620	8-D19	D13@150	620	12-D19	D13@150	190					
CB	4	φ318.5	19	EM350-4-30	4-M30	61.0	430	340	-	-	-	40	59	23	82	400	110	600以上	150	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280					
	φ350	19	EM350-4-30	4-M30	65.1	420	330	-	-	-	-	32	45	23	68	400	102	600以上	150	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280					
CA, CC	6	φ355.6	22	EM350-8-30	8-M30	86.3	500	410	240	-	-	40	79	50	129	600	110	800以上	150	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490					
	φ400	22	EM400-8-36	8-M30	119	540	450	280	-	-	-	40	92	51	143	600	110	800以上	150	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	12-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470					
	φ406.4	22	EM400-8-42	8-M36	148	560	470	270	-	-	-	48	119	81	200	720	125	900以上	170	770	16-D25	D13@150	800	24-D25	D13@150	550	770	12-D25	D13@150	800	24-D25	D13@150	550					
	φ450	22	EM450-8-36	8-M42	194	610	500	280	-	-	-	60	176	127	303	840	150	1100以上	190	810	20-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700	810	20-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700					
	φ457.2	22	EM450-8-42	8-M30	146	580	490	320	-	-	-	40	106	51	157	600	110	800以上	150	780	16-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450	780	12-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450					
	φ500	25	EM500-8-36	8-M36	182	600	510	310	-	-	-	48	136	81	217	720	125	900以上	170	810	16-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550	810	12-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550					
	φ508	25	EM500-8-42	8-M42	249	650	540	320	-	-	-	60	199	127	326	840	150	1100以上	190	850	20-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700	850	16-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700					
	φ550	40	EM550-8-36	8-M36	231	640	550	350	-	-	-	48	155	82	237	720	125	900以上	170	850	16-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530	850	12-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530					
	φ558.8	40	EM550-8-42	8-M42	301	700	590	370	-	-	-	60	231	128	359	840	150	1100以上	190	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670					
	φ600	40	GM500-8-36	8-M48	405	710	580	330	518	390	90	57	229	207	436	960	164	1200以上	-	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	20-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730					
	φ609.6	40	GM500-8-42	8-M56	470	740	600	320	518	390	100	69	282	308	590	1120	192	1350以上	-	950	32-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	950	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940					
	φ650	40	EM550-8-36	8-M36	269	680	590	390	-	-	-	48	175	82	257	720	125	900以上	170	900	20-D25	D13@100	900	24-D25	D13@100	520	900	16-D25	D13@100	900	24-D25	D13@100	520					
	φ650.4	40	EM550-8-42	8-M42	350	740	630	410	-	-	-	60	258	128	386	840	150	1100以上	190	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660					
	φ700	40	GM600-8-36	8-M48	488	740	610	360	568	430	85	54	244	208	452	960	161	1200以上	-	950	28-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730					
	φ711.2	40	GM600-8-42	8-M56	543	770	630	350	568	430	100	65	301	310	611	1120	188	1350以上	-	1000	32-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	1000	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940					
	φ750	40	GM650-8-36	8-M36	421	700	610	410	620	480	70	36	192	85	277	720	116	900以上	-	950	20-D25	D16@100	950	24-D25	D16@100	450	950	16-D25	D16@100	950	24-D25	D16@100	450					
	φ762	40	GM650-8-42	8-M48	563	780	650	400	620	480	85	52	273	210	483	960	159	1200以上	-	1000	28-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720	1000	24-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720					
	φ800	40	GM700-8-36	8-M48	747	850	690	390	720	570	110	75	408	449	857	1280	217	1600以上	-	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120					
	φ812.8	40	GM700-8-42	8-M56	861	820	690	440	720	570	90	52	316	211	527	960	159	1200以上	-	1050	28-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720	1050	24-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720					
	φ850	40	GM750-8-36	8-M48	865	890	760	510	770	620	110	71	432	451	883	1280	213	1600以上	-	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120					
	φ900	40	GM800-8-36	8-M48	961	920	790	540	820	660	90	45	426	215	641	960	152	1300以上	-	1150	24-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720	1150	20-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720					
	φ914.4	40	GM800-8-42	8-M64	1240	990	830	530	820	660	100	66	550	456	1006	1280	208	1600以上	-	1200	32-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110	1200	28-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110					
	φ950	40	GM850-8-64	8-M64	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075	1280	207	1600以上	-	1250	32-D29	D16@100	1300	48-D29	D16@80	1090	1250	28-D29	D16@100	1300	48-D29	D16@80	1090					
	φ1000	40	GM900-8-64	8-M64	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196	1280	212	1600以上	-	1350	36-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070	1350	32-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070					
	φ1016	40	GM1000-8-64	8-M64	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197	1280	203	1600以上	-	1350	36-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070	1350	32-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070					
	φ1016	40	GM1000-8-64	8-M64	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292	1280	201	1600以上	-	1400	36-D29	D16@100	1400	48-D29	D16@100	1120	1400	32-D29	D16@100	1400	48-D29	D16@100	1120					

鉄筋はD13, D16はSD295, D19, D22, D25はSD345, 表の値は設計耐力を考慮した値であり、現場での施工に留意して下さい。
注